

Schaerer Coffee SOUL 10/12

取扱説明書

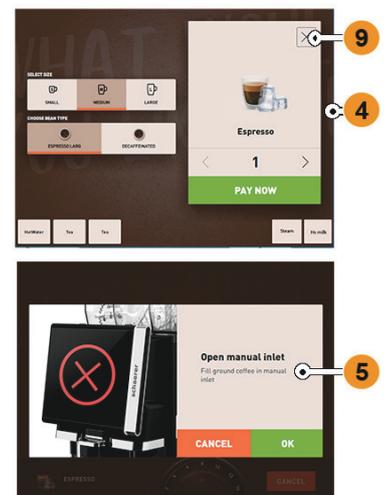
V01 / 11.2020



- 1 コントロールパネルのタッチスクリーン 10インチ/12インチ
- 2 マシンのオン / オフボタン
- 3 USBポート
- 4 飲料注出口
- 5 熱湯の注出 (オプション)
- 6 スチームノズル (オプション)
- 7 マシンの掬受け
- 8 中央コーヒー豆ホッパー (標準)
- 9 右コーヒー豆ホッパー
- 10 左パウダーホッパー (オプション)
- 11 コントロールパネルのロック装置
- 12 コーヒー豆ホッパー/パウダーホッパーの非常ロック解除レバー



- 1 1つの飲料選択に3つのユーザーインターフェイス
- 2 エキスパート用ユーザーインターフェイス
- 3 飲料グループの選択があるユーザーインターフェイス
- 4 飲料オプションの選択
- 5 エラーメッセージまたはアクション要求
- 6 マーク付きまたはテキストのみの飲料ボタン
- 7 アクセスサービスマニュー
- 8 飲料選択内のスクロール
- 9 一般フィールド [X] 戻る / キャンセル
- 10 外部熱湯およびまたはスチームの飲料注出



Schaerer Coffee SOUL 10/12

取扱説明書

V01 / 11.2020

出版者

Schaerer Ltd., P.O. Box 336, Allmendweg 8, CH-4528 Zuchwil

版

バージョン 01 | 11.2020

ソフトウェア

4.22.4

コンセプトおよび編集

Schaerer Ltd., P.O. Box 336, Allmendweg 8, CH-4528 Zuchwil

Copyright ©

Schaerer Ltd., P.O. Box 336, Allmendweg 8, CH-4528 Zuchwil

本書は著作権で保護されています。無断複写・転載を禁じます。Schaerer Ltd.の書面による事前の許可なくして、本書の内容を複写、配布、電子的に転送することや、多言語に翻訳することは禁じられています。これは本書の全部または一部に対して適用します。本書の内容は、印刷時に利用可能な最新データによるものです。Schaerer Ltd. は事前の予告なしに変更を行う権利を有します。本書中のすべての図、図解や表示メッセージは例です！幅広いオプションにより、お使いの機械が本書に示された機械と異なる可能性があります。Schaerer AG の責任は、ドイツ語版の原文に限るものとします。

目次

1 はじめに	7	5.3.2 周辺機器 Cup & Cool / カップウォーマーの操作要素	47
1.1 序文	7	5.3.3 下付け冷却ユニットの制御要素	48
1.2 記号とマーク	7	5.3.4 カウンター下冷却ユニットの制御要素	48
2 一般的な安全に関する注意事項	9	5.3.5 周辺機器 Flavour Point (シロップモジュール)	49
3 製品の説明	14	5.4 スイッチを入れる前の点検	49
3.1 適切な用途	14	5.5 スイッチを入れます	49
3.2 梱包内容とアクセサリ	14	5.5.1 コーヒーマシンのスイッチを入れる	49
3.3 オプションおよび周辺機器	15	5.5.2 個別冷却ユニットのスイッチを入れる(オプション) ..	50
3.4 テクニカルデータ	23	5.5.3 Cup & Cool / カップウォーマーのスイ ッチを入れる(オプション)	50
3.5 定格銘板	24	5.5.4 下付け冷却ユニットのスイッチを入れ ます(オプション)	51
3.5.1 タイプおよびモデルの指定	24	5.5.5 カウンター下冷却ユニットのスイッチを入 れます(オプション)	52
3.6 飲料の種類と性能	24	5.5.6 Flavour Point (シロップモジュール) をオン にする(オプション)	52
3.7 EC適合宣言	26	5.6 メイン画面のタッチスクリーン	53
3.7.1 製造者住所	26	5.6.1 ユーザーインターフェイスの概要	53
3.7.2 適用規格	26	5.6.2 タッチスクリーンコントロールパネルの概要	56
4 取付けと試運転	28	5.6.3 プロフィール [ログイン/ログアウト]	64
4.1 設置	28	5.6.4 サービスメニューの概要	66
4.1.1 使用場所	28	5.6.5 サービスメニュー 機能範囲	67
4.1.2 気候	28	5.7 充填と接続	71
4.2 電源供給	29	5.7.1 コーヒー豆	72
4.2.1 条件 (エネルギー)	29	5.7.2 水	72
4.2.2 電源ケーブル接続マシン	29	5.7.3 マシン用パウダー(オプション)	73
4.2.3 電気接続値	29	5.7.4 ミルクシステム Best Foam™(オプション)	74
4.3 給排水管接続および廃水出口	30	5.7.5 Flavour Point (シロップモジュール) を充填するか、 ボトルの交換をする(オプション)	75
4.3.1 条件 (固定水)	30	5.8 飲料注出口およびコーヒーカップの配置	76
4.3.2 水接続値	31	5.8.1 飲料注出口の配置 (手動の飲料注出口の場合)	76
4.3.3 飲料水および廃水外部タンク(オプション)	31	5.8.2 カップ位置決めツール	77
4.4 取付け	31	5.9 飲料の選択	79
4.4.1 マシンの開梱	31	5.9.1 飲料選択の概要	79
4.4.2 電受けの取り付け	32	5.9.2 飲料選択のステップシーケンス	81
4.4.3 ピンチバルブ ミルク接続	32	5.9.3 手動投入によるコーヒー飲料	85
4.4.4 コーヒーマシンの接続	33	5.10 空にする	86
4.4.5 ディスプレイガイドによる試運転	34	5.10.1 カス受け	86
4.5 周辺機器を接続します	34	5.10.2 廃水	87
4.5.1 周辺機器を接続します(オプション)	35	5.11 輸送条件	88
4.5.2 左側へのミルクホースガイド	36	5.12 スイッチを切る	89
4.5.3 Flavour Point 4倍 UC (シロップモジュール) の接続(オプション)	39	5.12.1 作業の終了	89
4.6 解体と廃棄	40	5.12.2 長時間にわたる使用停止 (1 週間以上)	90
5 操作	41	5.12.3 周辺機器の電源を切る	90
5.1 操作パネル	42	6 クリーニング	91
5.1.1 コントロールパネルを開く	42	6.1 クリーニング間隔	91
5.1.2 コントロールパネルを閉じます	42	6.2 有効なクリーニングプラン	92
5.2 マシン上の制御要素	43	6.2.1 「Schaerer Default」クリーニングプラン	92
5.2.1 制御要素 マシン 外側	43	6.2.2 クリーニングスケジュール「手動」	93
5.2.2 マシンの制御要素	45	6.3 クリーニングレベル	93
5.3 周辺機器の制御要素(オプション)	47	6.4 クリーニング要求	94
5.3.1 冷却ユニットの制御要素	47		

6.5 強制クリーニング	95	8.4.1 プロフィール認証の概要	130
6.6 洗剤	96	8.5 管理担当者プロフィール	131
6.6.1 クリーニング剤 (コーヒーシステム)	96	8.5.1 システム (管理担当者)	132
6.6.2 「Milkpure powder Box」ミルクシステム用のク リーニングパウダー	97	8.5.2 設定 (管理担当者)	136
6.6.3 洗浄剤の再注文	97	8.5.3 サービス (管理担当者)	137
6.7 すすぎの間隔	97	8.5.4 情報 (管理担当者)	143
6.7.1 自動スイッチオン/オフのすすぎ	97	8.6 会計担当者プロフィール	148
6.7.2 手動すすぎ (サービスメニュー)	98	8.6.1 設定 (会計担当者および会計担当者(縮小版))	149
6.7.3 設定済みのすすぎ	98	8.6.2 情報「会計担当者」および 「会計担当者(縮小版)」	153
6.8 毎回の充填前	98	8.7 設備管理人プロフィール	156
6.8.1 外部飲料水タンク(オプション)	98	8.7.1 設定 (設備管理人)	157
6.9 毎日のマシニング	98	8.7.2 情報 (設備管理人)	161
6.9.1 ディスプレイガイド付きクリーニングプログラム	98	8.8 品質管理マネージャープロフィール	165
6.9.2 カス受けを洗浄します	106	8.8.1 設定 (品質管理マネージャー)	166
6.9.3 抽出チャンバーのクリーニング	106	8.8.2 情報 (品質管理マネージャー)	167
6.9.4 粟受けとドリップグリッドを清掃します	106	8.9 マシン担当者プロフィール	168
6.9.5 ミルクコンテナを洗浄する(オプション)	107	8.9.1 設定 (マシン担当者)	168
6.9.6 冷却ユニットの洗浄(オプション)	107	8.9.2 情報 (マシン担当者)	169
6.9.7 タッチスクリーンのクリーニング	107		
6.9.8 スチームノズルの洗浄(オプション)	108	9 障害の除去	170
6.9.9 外部の飲料水タンクをクリーニングする (オプション)	109	9.1 通知モード	170
6.9.10 外部の廃水タンクをクリーニングする (オプション)	109	9.1.1 エラーメッセージの説明	170
6.9.11 周辺機器のクリーニング(オプション)	109	9.2 故障	170
6.10 週に一度の手入れ	110	9.2.1 メッセージが保留中の操作準備	170
6.10.1 コーヒー豆ホッパーの洗浄	110	9.2.2 サービスメニューの保留中のエラーメッセージ	171
6.11 必要に応じて	111	9.3 表示されるテキスト	171
6.11.1 下部 飲料注出口の洗浄	111	9.4 メッセージのない障害	176
6.11.2 パウダーホッパーの洗浄(オプション)	111		
6.11.3 ディスプレイガイド付きクリーニング Flavour Point(オプション)	112	10 予防措置	177
6.11.4 冷却ユニットを解凍します	114	10.1 洗剤	177
6.11.5 外側のクリーニング	115	10.1.1 用途	177
6.12 HACCP洗浄計画	115	10.1.2 保管	177
6.12.1 クリーニング規則および条件	115	10.1.3 廃棄	177
		10.1.4 緊急連絡先	177
7 サービスおよびメンテナンス	116	10.2 衛生規則	178
7.1 カルキ抜き	116	10.2.1 水	178
7.1.1 カルキ抜き「稼働時間!」	116	10.2.2 ミルク	179
7.1.2 カルキ抜きカートリッジ	117	10.2.3 マシン用パウダー	179
7.1.3 カルキ抜きの準備	117	10.2.4 シロップ フレーバー (Flavour Point)	179
7.1.4 カルキ抜きプログラムを開始する	118		
7.1.5 カルキ抜きプログラムのステップシーケンス	119	11 保証	180
7.1.6 カルキ抜きカートリッジの廃棄	124	11.1 使用会社の義務	180
7.2 外部フィルター(オプション)	124	11.1.1 用途	180
7.3 コーヒーマシンのメンテナンス	124	11.2 保証および損害賠償請求	180
7.3.1 メンテナンスルーチン	124		
8 プログラミング	125		
8.1 概要	125		
8.2 解説	126		
8.3 USB 接続口	130		
8.4 プロフィールと承認	130		

1 はじめに

1.1 序文

このマシンにより、次世代のコーヒーマシンをお客様にお届けいたします。当社のコアコンピタンスと数十年の経験が設計に反映されています。取扱説明書には、製品の説明、使用方法、そしてコーヒーマシンのクリーニングについて記載されています。マシンを本書の指示通りに使用しない場合、損傷が生じた場合には保証の対象からは一切外れるためご注意ください。ただ、本取扱説明書はすべての用途に対処しているわけではありません！詳細については、カスタマーサービスにお問い合わせください。コーヒーマシンの性能は、適切な使用とメンテナンスに依存します。初めてご使用になる前に取扱説明書をよくお読みになり、大切に保管してください。私たちは新しいコーヒーマシンでのすべての成功をお祈りしています！

1.2 記号とマーク



「一般的な安全に関する注意事項」。の章を参照。



⚠ 危険



感電による死亡事故や重傷を負うおそれのある非常に危険な状況を示しています。

危険回避のため、記載された指示に必ず従ってください。



⚠ 警告



重傷を負う可能性がある一般的に危険な状況。

危険回避のため、記載された指示に必ず従ってください。



⚠ 警告



中毒の危険。中毒による怪我につながる可能性のある危険な状況。以下ではマークのみで表示されます。

危険回避のため、記載された指示に必ず従ってください。



⚠ 注意

軽傷を負う可能性のある一般的に危険な状況。

危険回避のため、記載された指示に必ず従ってください。



⚠ 注意

熱い液体。火傷による怪我につながるおそれのある危険な状況を示します。商品の引渡し場所にてこの危険があります。以下ではマークのみで表示されます。

危険回避のため、記載された指示に必ず従ってください。



⚠ 注意

高温のスチームに注意。火傷による怪我につながるおそれのある危険な状況を示します。商品の引渡し場所にてこの危険があります。以下ではマークのみで表示されます。

危険回避のため、記載された指示に必ず従ってください。



⚠ 注意



熱い表面。火傷による怪我につながるおそれのある危険な状況を示します。商品の引渡し場所およびカップの加熱場所 (オプション) にてこの危険があります。以下ではマークのみで表示されます。

危険回避のため、記載された指示に必ず従ってください。



注意



圧碎の危険。圧迫による怪我につながるおそれのある危険な状況を示します。以下ではマークのみで表示されます。

危険回避のため、記載された指示に必ず従ってください。



指示

マシンへの物的損傷につながるおそれのある状況を示しています。

危険回避のため、記載された指示に必ず従ってください。

2 一般的な安全に関する注意事項

シエーラー社の製品は最高の安全性を特徴としています。ただ、怪我や健康への被害を防ぐための以下の章が守られた場合のみ、安全装置の効果が現れます。



安全に関する注意事項はシエーラー社に要求するか、またはMediaPoolのウェブページ (<http://www.schaerer.com/member>) から直接ダウンロードすることができます。

2.1 使用者への危険



⚠ 注意

コーヒーマシンを不適切に取り扱うことで、軽傷を負うおそれがあります。

以下の項目を厳守してください:

- ▶ 使用前には取扱説明書にしっかりと目を通してください。
- ▶ マシンのサービスエリアへのアクセスは、資格のあるサービス技術者にのみ許可されています。
- ▶ マシンが正常に作動しない場合や、損傷がある場合には、コーヒーマシンを使用しないでください。
- ▶ 取り付けられた安全装置は、どんなことがあっても絶対に変更しないでください。
- ▶ 高温のマシンパーツには決して触れないでください。
- ▶ この装置は、8歳以上の子供や、身体的、感覚的または精神的能力が低下した人、または経験や知識が不足している人でも使用できますが、その場合、監督するか、または装置の安全な使用を指導し、その結果生じる危険を理解させる必要があります。子供たちがマシンで遊ばないようにしてください。クリーニングとユーザーによるメンテナンスは、監督なしに子供に行わせることはできません。これは、特に安全および衛生に関して、知識と機器の実務経験を持つ人のみが行うことができます。
- ▶ 手入れやメンテナンスに支障をきたさない用にコーヒーマシンを設置してください。
- ▶ セルフサービスモードおよびオペレーターサービスモードでは、正しく手入れが行われたことを確認するため、さらに使用に関する質問にスタッフが答えられるよう、訓練を受けたスタッフがマシンに注意を払う必要があります。
- ▶ コーヒー豆ケースにはコーヒー豆のみ、パウダーケースにはマシン用パウダーのみ、そして手動挿入口には挽かれたコーヒー(クリーニング中はクリーニングタブレット)のみを入れてください。



⚠ 危険



感電の危険。電気機器を不適切に取り扱くと、感電のおそれがあります。

以下の項目を厳守してください:

- ▶ 電気機器での作業は必ず電気の専門家によって行ってください。
- ▶ マシンは必ず保護回路に接続してください (当社では漏電遮断器を介した接続を推奨)。
- ▶ 該当の低電圧指針および/もしくは各国、または現地の安全規則および規定に注意してください。
- ▶ 必ず規定通りアース接続を行い、感電防止のためにヒューズを取り付けてください。
- ▶ 電圧は必ずマシンの定格銘板に記載されたものと一致しなければなりません。
- ▶ 電圧の流れているパーツには絶対に触らないでください。
- ▶ メンテナンス作業を実行する前には、必ずメインスイッチを切るかマシンを電源から外してください。
- ▶ マシンは、すべての極で主電源から切断できる必要があります。切断された接続は、デバイスの場所から常に見える必要があります。そうでない場合は、ロックによって切断を確保する必要があります。
- ▶ 電源ケーブル交換は必ず資格を有するサービス技術者に依頼してください。



⚠ 注意

添加物またはその残りが飲料にあると、アレルギーを引き起こす可能性があります。

以下の項目を厳守してください:

- ▶ セルフサービスで使用する場合は、マシンに取り付けられた表示ラベルで、アレルギーを引き起こす可能性のある使用された添加物についての情報を知らせます。
- ▶ サービス付きの場合は、訓練を受けたスタッフが、アレルギーを引き起こす可能性のある使用された添加物についての情報を知らせます。

**警告**

洗剤を体内に取り込むことにより、中毒を起こす危険があります。

以下の項目を厳守してください:

- ▶ 洗剤は子供や関係者以外の人物の手の届かない場所に置いてください。
- ▶ 洗剤を飲み込まないでください。
- ▶ 洗剤は決してその他の化学物質や酸と混合しないでください。
- ▶ ミルクコンテナには決して洗剤を使用しないでください。
- ▶ 飲料水タンク (内部/外部) には決して洗剤を使用しないでください。
- ▶ 洗剤およびカルキ抜きはそれぞれ指定の用途にのみ使用してください (ラベルを参照)。
- ▶ 洗剤使用中は飲食を行わないでください。
- ▶ 洗剤使用中はしっかりと換気が行われていることに注意してください。
- ▶ 洗剤使用中は保護手袋を着用してください。
- ▶ カルキ除去剤を使用するときは、保護ゴーグルを着用してください。
- ▶ 洗剤使用後はすぐに丁寧に手を洗ってください。



洗剤使用前には、パッケージの情報に注意深く目を通してください。安全データシートが添付されていない場合、販売会社 (洗剤のパッケージを参照) にこれを請求することができます。

**注意**

熱い液体。飲料、熱湯およびスチームが出る箇所では火傷のおそれがあります。

これらが出ている間、またはクリーニング中は商品の注出場所に手を触れないでください。

**注意**

熱い表面。商品の注出場所と抽出ユニットは高温になるおそれがあります。

以下の項目を厳守してください:

- ▶ 飲料の注出には必ず対応のグリップを使用してください。
- ▶ 抽出ユニットのクリーニングは必ずマシンを冷ました状態で行ってください。

**注意**

圧碎の危険。すべての可動コンポーネントを取り扱う際には挫傷を負うおそれがあります。

以下の項目を厳守してください:

- ▶ 飲料の注出には必ず対応のグリップを使用してください。
- ▶ コーヒーマシンのスイッチが入った状態では、絶対にコーヒー豆およびパウダーホッパー、または抽出ユニットの開口部に入れないでください。

2.2 機械への危険



指示

コーヒーマシンを不適切に取り扱うことで、損傷や汚れにつながるおそれがあります。

以下の項目を厳守してください:

- ▶ 炭酸塩硬度が 6°dKH 以上の水を使用する場合、手前にカルキフィルターを取り付けてください。これを怠るとカルキによってコーヒーマシンに損傷がおよぶおそれがあります。
- ▶ 保証規定より、閉店後はメイン水バルブ (給排水管接続付きコーヒーマシン) が閉まっているか、そしてメインスイッチが切られているか、または電源コンセントが抜かれていることを常に確認してください。
- ▶ 該当の低電圧指針および/もしくは各国、または現地の安全規則および規定に注意してください。
- ▶ 水の供給が遮断されている場合、マシンを使用しないでください。これを守らないとボイラーが充填されず、ポンプの空運転につながります。
- ▶ シェーラー社では、ホースが破損した場合の水による被害を防ぐため、給水止め弁 (現場) を介して水を供給するよう推奨しています。
- ▶ 長時間にわたって使用を停止した後 (休業期間など) には、再びマシンを使用する前にクリーニングを行ってください。
- ▶ マシンが天候の影響 (霜、湿気など) から保護してください。
- ▶ 障害は必ず資格を有するサービス技術者によって取り除いてください。
- ▶ 必ずシェーラー社のオリジナル交換パーツのみを使用してください。
- ▶ 目に見える損傷や漏れは直ちにサービスパートナーに報告し、交換もしくは修理を依頼してください。
- ▶ マシンには水を吹きかけたり、スチームクリーナーでクリーニングを行わないでください。
- ▶ 噴射水がかかる可能性がある場所に機器を設置しないでください。
- ▶ キャラメル風味のコーヒー (フレーバーコーヒー) を使用する場合、抽出ユニットは日に 2 回クリーニングしてください。



指示

コーヒーマシンを不適切に取り扱うことで、損傷や汚れにつながるおそれがあります。

以下の項目を厳守してください:

- ▶ コーヒー豆ケースにはコーヒー豆のみ、パウダーケースにはマシン用パウダーのみ、そして手動挿入口には挽かれたコーヒー(クリーニング中はクリーニングタブレット)のみを入れてください。
- ▶ 絶対にフリーズドライされたコーヒーは使用しないでください。抽出ユニットのべとつきの元となります。
- ▶ コーヒーマシンおよび/もしくは補助機器が 10°C 未満で輸送される場合、コーヒーマシンおよび/もしくは補助機器を電源に接続してスイッチを入れる前に、コーヒーマシンおよび/もしくは補助機器を 3 時間室内温度に置いてください。これが守られない場合、凝縮水によるショートや電気コンポーネントの損傷を招くおそれがあります。
- ▶ マシンには常に新しい付属のホースセット (飲料水/廃水ホース) を使用してください。絶対に使用済みのホースセットは使用しないでください。

3 製品の説明

3.1 適切な用途

Schaerer ソウル 10/12 (SOUL) は、様々な種類および組み合わせのコーヒードリンク、温水、ミルクドリンクおよびパウダードリンク (トッピング、チョコレート) およびフレーバー (シロップ) を、コーヒーカップ、マグカップまたはピッチャーに注出するための装置です。

このマシンは、ホテル業界、飲食業界、または同様の場所での商用利用を目的としています。マシンはセルフサービスの場所に設置し、監視なしで操作できます。このマシンは、店舗、オフィス、または同様の作業環境、ホテル、モーテル、ペンションで使用でき、専門家ではない方やお客様でも操作することが可能です。

この装置は、8歳以上の子供や、身体的、感覚的または精神的能力が低下した人、または経験や知識が不足している人でも使用できますが、その場合、監督するか、または装置の安全な使用を指導し、その結果生じる危険を理解させる必要があります。子供たちがマシンで遊ばないようにしてください。クリーニングとユーザーによるメンテナンスは、監督なしに子供に行わせることはできません。これは、特に安全および衛生に関して、知識と機器の実務経験を持つ人のみが行うことができます。



マシンの使用には、Schaerer AGの「一般利用規約」およびこれらの操作手順も適用されます。本機を他の目的で、または指定以上の方法でご使用になった場合、不適切な使用が行われたものとみなされま

す。これが原因で発生した損害に関してはメーカーは責任を負いかねます。



指示

マシンに対する危険。コーヒーマシンの不適切な取り扱いは、損傷につながる可能性があります。

Schaerer ソウル (SOUL) は、いかなる状況においても、指定されたまたは冷たいミルク (低温殺菌、均質化、UHT) 以外の液体を加熱または注出するために使用することはできません。

3.2 梱包内容とアクセサリ

個数	名称	製品番号
ドキュメント		
1	取扱説明書 (BA)	**
1*	周辺機器の補足説明書 (カップウォーマー + Cup & Cool)	**
1*	個別冷却ユニットの取扱説明書	**
納入品目 クリーニング/メンテナンス		
1*	Milkpure Powder & Coffeepure tabs デリバリーセット	075350
1*	Coffeepure タブレット (ミルクを使用しない仕様)	065221
1	ブラシ 75-40 (抽出チャンバー)	067409
1	クリーニングブラシ (飲料注出口)	062951
納入品目 マシン		
1*	ソウル ショート 掬受け一式	060387
納入品目 一般		
1	計量スプーン	067111
パウダーシステム*		
	排出部カバー パウダーホッパー	079940
アクセサリ カルキ抜き***		
1	カルキ抜きカートリッジ	079293

* マシンの設計に応じて

** 言語に依存する品番

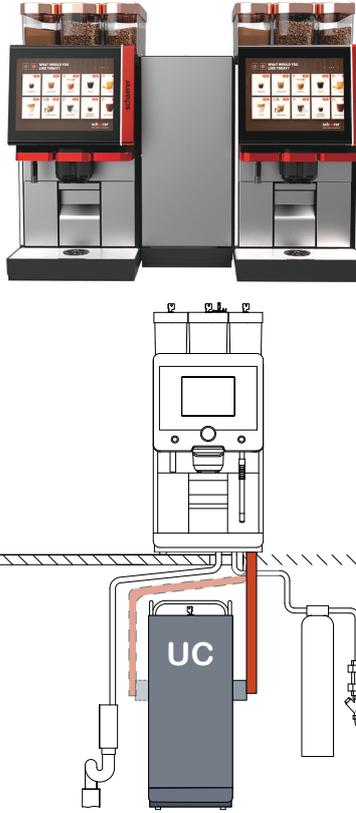
*** 納入品目に含まれていません

3.3 オプションおよび周辺機器

例	オプション	説明
	<p>Schaerer コーヒーソウル 10</p>	<p>標準仕様のSchaerer コーヒーソウル 10には、設定に応じたデコレーション要素が含まれているほか、10インチのタッチスクリーンが搭載されています。 注文時に様々な設定オプションを設定することができます。</p>
	<p>Schaerer コーヒーソウル 12</p>	<p>標準仕様のSchaerer コーヒーソウル 12には、クローム仕上げの前板要素、銅色のデコレーション要素が含まれているほか、12インチのタッチスクリーンが搭載されています。 注文時に様々な設定オプションを設定することができます。</p>
	<p>機能付きアンビエントライト*</p>	<p>ディスプレイの右側 [A] とマシンの左側全体 [B] のアンビエントライトはカラーコーディネートが可能で、マシンの動作状態に関する情報も提供します。</p>
	<p>自動調整式飲料注出口 (AHA)</p>	<p>「AHA」が装備されている場合、事前に選択された飲料に合わせて、飲料注出口の最適な高さが自動的に調整されます。 「AHA」オプションは後付けできません。</p>

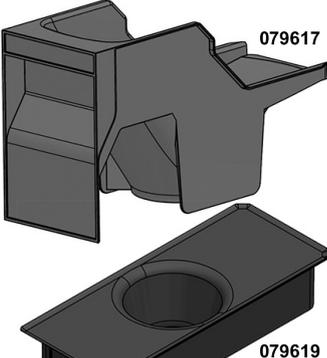
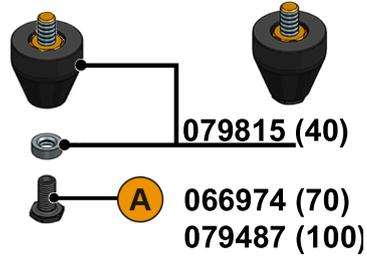
例	オプション	説明
	<p>スチームノズル (飲料注出口の右または左)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パワースチーム ・ オートスチーム* ・ スーパースチーム* 	<p>「パワースチーム」を搭載した外付けのスチームノズルは、ミルクの手動加熱およびバリスタスタイルのミルクフォーミングを別々に行うことができます。 「スチームノズル」オプションは後付けできません。</p>
	<p>熱湯 外部 右側または (飲料注出口の左側)</p>	<p>外部熱湯注出口は、飲料注出口の左側に個別の手動注出オプションを提供します。 「外部熱湯注出口」オプションは後付けできません。</p>
	<p>補助ウォーター 「アメリカン」の作り方</p>	<p>コーヒーを注出するために、個別の熱湯注出口から熱湯をコーヒーカップに注出することもできます。 コーヒーと熱湯の順番は、飲料設定で定義できます。 特に「アメリカン」を作るのに適しています 「水追加」オプションは後付けできません。</p>
	<p>ロック可能なコーヒー豆 ホッパー</p>	<p>コーヒー豆ホッパーは、ロックできるように設定したり、追加注文することができます。</p>

例	オプション	説明
 <p>WHAT WOULD YOU LIKE TODAY?</p>	<p>2基めのグラインダー 1200 g</p>	<p>中央の標準グラインダーの右側にある2基めのグラインダーでは、エスプレッソ豆やカフェインフリーのコーヒー豆も使用できます。</p> <p>「2基めのグラインダー」オプションは後付けできません。</p> <p>コーヒー豆ホッパーのバリエーション：</p> <ul style="list-style-type: none"> • コーヒー豆ホッパー 標準 1200 g • コーヒー豆ホッパー 拡張 2000 g • コーヒー豆ホッパー 短縮 1000 g
 <p>WHAT WOULD YOU LIKE TODAY?</p>	<p>パウダーシステム 2000 g (チョコレートまたはトッピング)</p>	<p>中央の標準グラインダーの左側にあるパウダーシステムは、チョコレートおよび/またはトッピング用のパウダーのニーズに応えます。</p> <p>「パウダーシステム」オプションは後付けできません。</p>
 <p>PS Twin</p>	<p>パウダーシステム ツイン</p>	<p>パウダーシステム ツインにより、2種類のパウダーを1つのコンテナに用意することができます。</p> <p>「ツインチョコレート」や「ツイントッピング」のパウダーホッパーは、真ん中で分かれていて、種類の違うパウダーを入れるために2つのコンパートメントがあります。</p> <p>「パウダーシステム ツイン」オプションは後付けできません。</p>
	<p>Flavour Point (シロップ飲料、フレーバー)</p>	<p>周辺機器「Flavour Point UC」は、4種類のフレーバーのシロップを装備することができます。</p> <p>コーヒーマシンの真下に設置して、カウンター下ソリューションとしてすぐに使用することができます。</p> <p>原料の設定では、18種類のフレーバーの中から4つの原料を選ぶことができます。</p> <p>飲料設定では、キャラメルやバニラなどのフレーバーを入れることも可能です。</p> <p>「FlavourPoint」オプションは後付けできません。</p>

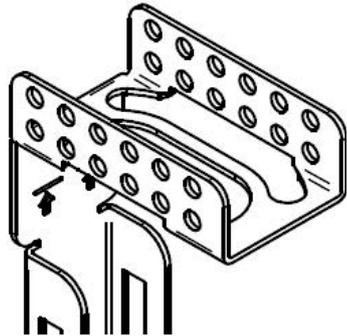
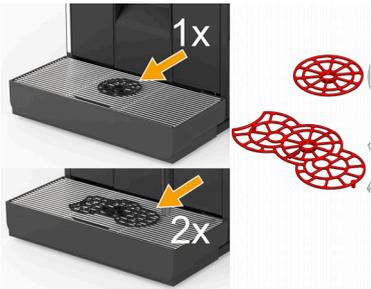
例	オプション	説明
	<p>個別冷却ユニット* 右/左</p>	<p>出荷時のコーヒーマシンには、標準ではミルク用の接続口が右側に付いています。右側の個別冷却ユニットには、それ以上の調整は必要ありません。</p> <p>冷却ユニットには、10 lのミルクコンテナと、取り外し可能なドリップグリッド付きの専用受けが付いています。</p> <p>個別冷却ユニットを左に配置する場合は、コーヒーマシンのミルクホースガイドの調整がさらに必要になります。</p> <p>マシンの右側以外に設置する場合は変更が必要です。変更の説明と必要なコンポーネントは、個別冷却ユニットに同封されています。</p>
	<p>センターミルク (CM) の個別冷却ユニット* カウンター下 (UC) として使用されている個別冷却ユニット</p>	<p>また、個別冷却ユニットは2台のマシンの間に設置することができ、センターミルク機能をサポートします。</p> <p>センターミルクを装備する個別冷却ユニットは、2台のマシンに同時にミルクを供給します。</p> <p>個別冷却ユニットはカウンター下 (UC) に設置することもできます。</p> <p>マシンの右側以外に設置する場合は変更が必要です。変更の説明と必要なコンポーネントは、個別冷却ユニットに同封されています。</p>
	<p>カウンター下冷却ユニット (UC)</p>	<p>カウンター下冷却ユニットはマシンの下に設置されます。</p> <p>冷却ユニットには、9.5 lのミルクコンテナが装備されています。</p> <p>センターミルクを装備するカウンター下冷却ユニットは、2台のマシンにミルクを供給します。</p> <p>カウンター下冷却ユニットの使用には変更が必要です。変更の説明と必要なコンポーネントは、個別冷却ユニットに同封されます。</p>

例	オプション	説明
	<p>カップウォーマー (細長/幅広) (左側または右側)</p>	<p>周辺機器カップウォーマーはコーヒーマシンの左側または右側に設置します。カップウォーマー (細長) には、コーヒーカップ約60~264個を収納できます。幅広タイプでは、88~320個のコーヒーカップを収納できます。</p>
	<p>Cup & Cool (細長) (左側)</p>	<p>周辺機器Cup & Cool (細長) は、コーヒーマシンの左側に設置します。冷却ユニットには、4 lのミルクコンテナおよびコーヒーカップを約45~198個収納できます。 <i>左側のCup & Cool (細長) の使用には変更が必要です。変更の説明と必要なコンポーネントは、周辺機器に同封されます。</i></p>
	<p>Cup & Cool (幅広) (左側)</p>	<p>周辺機器Cup & Cool (幅広) は、コーヒーマシンの左側に設置します。冷却ユニットには、9.5 lのミルクコンテナおよびコーヒーカップを約44~160個収納できます。 <i>左側のCup & Cool (幅広) の使用には変更が必要です。変更の説明と必要なコンポーネントは、周辺機器に同封されます。</i></p>
	<p>Cup & Cool CM (幅広) (右側)</p>	<p>周辺機器Cup & Cool CM (幅広) は、コーヒーマシンの右側に設置することもできます。冷却ユニットには、9.5 lのミルクコンテナおよびコーヒーカップを約44~160個収納できます。 <i>右側のCup & Cool (幅広) の使用には変更が必要です。変更の説明と必要なコンポーネントは、周辺機器に同封されます。</i></p>

例	オプション	説明
	<p>Cup & Cool CM (幅広) センターミルク</p>	<p>周辺機器Cup & Cool CMは2台のマシンの間に設置することができ、センターミルク機能を可能にします。 冷却ユニットには、9.5 lのミルクコンテナおよびコーヒーカップを約44～160個収納できます。 Cup & Cool CMの使用には変更が必要です。変更の説明と必要なコンポーネントは、周辺機器に同封されます。</p>
	<p>下受け冷却ユニット</p>	<p>下受け冷却ユニットは直接コーヒーマシンの下に設置することができます。出荷時のコーヒーマシンには、標準ではミルク用の接続口が右側に付いています。 下受け冷却ユニットの使用には変更が必要です。変更の説明と必要なコンポーネントは、下受け冷却ユニットに同封されます。冷却ユニットには、9.5 lのミルクコンテナが装備されています。</p>
	<p>デコレーション要素</p>	<p>デコレーション要素により、マシンを周囲に適合させることができます。銅色をはじめとするさまざまな色が選択できます(左図参照)。 「デコレーション要素」オプションは後付けできません。</p>
	<p>外部の廃水タンクおよび飲料水タンクのモニター</p>	<p>コーヒーマシンのモバイルでの使用要件は、外部の廃水タンクおよび飲料水タンクを備えたオプション装備によって可能になります。 両方のタンクはレベルモニターされており、ソフトウェアバージョンv2.0以降から後付けすることができます。</p>

例	オプション	説明
	<p>UC コーヒーかす入れ</p>	<p>カス受けとコーヒーマシンの底には開口部があり、ここからコーヒーかすがカウンタ下へと排出されます。コーヒーかすはカウンタ下の大きなコンテナに集められます。</p> <p>カウンタ下用コーヒーかす入れは、排出されたコーヒーケーキのコンテナ容量を増量させます。</p> <p>「UC コーヒーかす入れ」オプションは後付けできます。</p>
	<p>UC コーヒーかす入れ 後付け部品</p>	<p>カウンタ下の収集コンテナは付属していません。</p>
	<p>マシン脚部 高さ 40 mm 高さ 70 mm 高さ 100 mm</p>	<p>マシン脚部は、設置面までの距離を40/70/100 mmに延長します。</p> <p>UC 周辺機器を使用する際には一般的にマシン脚部が必要となります。</p> <div style="text-align: right;">  <p>079815 (40)</p> <p>A 066974 (70)</p> <p>079487 (100)</p> </div> <p>図: 40/70/100 mmの脚 (ねじ [A] は納入品目に含まれません)</p> <p>「マシン脚部」オプションは後付けできます。</p>
	<p>Schaerer コーヒーリンク (データ交換)</p>	<p>デジタルソリューション「Schaerer コーヒーリンク」は、品質保証のための包括的な情報を提供するだけでなく、個々のビジネスプロセスのモニターおよび最適化を行います。</p> <p>Schaererのウェブポータル「コーヒーリンク」により、コーヒーマシンから様々なデータを読み取ることができます。</p> <p>「Schaerer コーヒーリンク」オプションは後付けできます。</p>

例	オプション	説明
	<p>Best Foam™ (フレッシュミルクシステム)</p>	<p>「BestFoam™」機能により、内蔵されたミルクの自動加熱およびバリスタスタイルのミルクフォーミングを行うことができます。 冷たいミルクおよび冷たいミルクフォームの注出が可能です。 「BestFoam™」オプションは後付けできません。 「BestFoam™」機能には冷却ユニットが必要です。 「BestFoam」オプションは後付けできません。</p>
	<p>ホット&コールド (冷たい飲料)</p>	<p>「ホット&コールド」機能により、熱い飲料と冷たい飲料を交互に注出することができます。 「ホット&コールド」オプションは後付けできません。</p>
	<p>抽出アクセレレータ</p>	<p>抽出加速装置は、量の多い飲料 (例: アメリカン) をさらに効率的にクオリティーも改善して注出することができます。 追加量の熱湯が抽出ユニットの後にあるコーヒー注出口に供給されます。 「抽出加速装置」オプションは後付けできません。</p>
	<p>支払いシステム</p>	<p>MDB スタンダードによる市販の支払いシステムを接続することができます。 可能なインターフェース: <ul style="list-style-type: none"> • MDB-S • DIVA 2 • DIVA2 Max 供給装置および会計システムへの接続: <ul style="list-style-type: none"> • E プロトコル経由 • CSI プロトコル経由 硬貨およびチップセレクターまたは硬貨両替機は、マシンの左右に設置することができます。 「支払いシステム」オプションは後付けできません。</p>

例	オプション	説明
	廃水出口のホースホルダー —	排水を最適化し、廃水の逆流を防止します。 ホルダーは廃水出口の設置側に取り付けます。 廃水ホースの先端をホルダーに固定することで、最適な排水を行うことができます。 「ホースホルダー」オプションは後付けできます。
	カップ位置決めツール (コーヒーカップ/マグ カップ1つまたは2つの 位置決めツール)	カップ受けにカチッとはめるためのカップ 位置決めツール。 2カップ用のカップ位置決めツールが標準 で付属しています。 「カップ位置決めツール」オプションは後 付けできます。

* まだ発売されていないオプション (2020年末時点)

3.4 テクニカルデータ

定格出力* Schaefer コーヒーソウル	スチームボイラー	熱湯ボイラー
	3000 W	3000 W
使用温度	スチームボイラー	熱湯ボイラー
最低使用温度 (T min.)	10°C	10°C
最大使用温度 (T max.)	192°C	192°C
使用温度	140°C	95°C
過圧	スチームボイラー	熱湯ボイラー
作動過圧	2.5 bar	2.5 bar
最大許容使用圧力 (p max.)	12 bar	12 bar
テスト圧	24 bar	24 bar
容量		
飲料水容量	給排水管接続	
コーヒー豆ケースの容量	各 ± 1200 g	
カス受けの容量	コーヒーケーキ 60 ~ 70 個	
外寸		
周辺機器を除いた幅	330 mm	
冷却ユニットを含む幅	723 mm	
コーヒー豆ホッパーおよびキーを含む高さ	761 mm	
奥行	600 mm	

重量	
空重量	±55 kg

音圧	
連続音圧レベル	<70 dB (A)**

仕様は変更される場合があります。

* 特別仕様については定格銘板を参照してください。与えられた値は基本装備です

** オペレーターの作業場所でのA加重音圧レベル(遅い)とLpa(インパルス)は、すべての動作モードで70未満です dB (A)

3.5 定格銘板

3.5.1 タイプおよびモデルの指定

型式	モデル
Schaerer ソウル 10 (SOUL)	モデルバリエーションなし
Schaerer ソウル 12 (SOUL)	モデルバリエーションなし

定格銘板はマシンの前面の右カバーの裏にあります。

- ▶ カス引き出しをマシンから前方に引き出すと、アクセスしやすくなります。
- ▶ カス引き出しの右側にあるカバーを開きます。
- ▶ 障害が発生したり、保証の対象となる場合には、下記リストをご参照の上、定格銘板のデータをお伝えください。

推奨情報：

- マシンタイプ > (SCS > SOUL)
- 電力 > 例：2900 ~ 3400 W
- 電圧 > 例：220 ~ 240 V
- 電流 > 例：16 A
- シリアル番号 > [JJKW XXXXXXX] > 例：2001 XXXXXXX

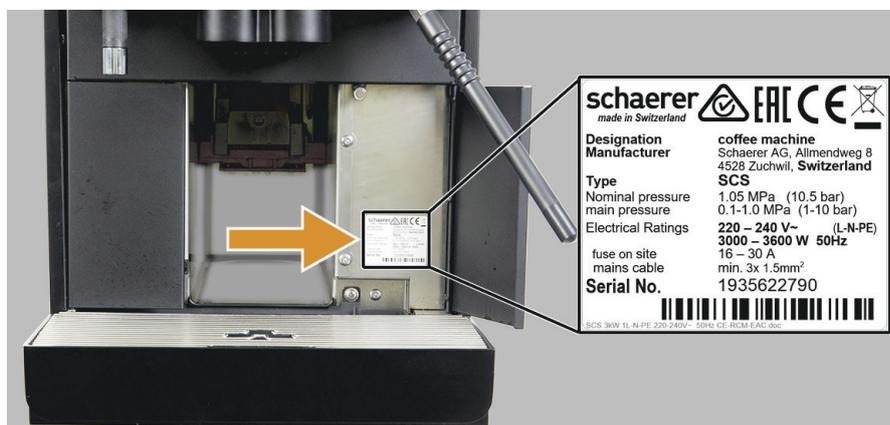


図: SCソウルの定格銘板は前面のカバーの裏にあります。



前面の銘板が見えなくなった場合は、下部カバープレートの裏側に2番目の銘板があります。

3.6 飲料の種類と性能



「操作」 - 「飲料の選択と注出」 - 「熱湯または外部スチーム」。の章を参照。

マシンの仕様とオプションにより、以下の飲料を準備することができます：

一時間毎の飲料供給量	
エスプレッソ 50 ~ 60 ml	±180 コーヒーカップ

一時間毎の飲料供給量		
コーヒー 120 ml		±180 コーヒーカップ
推奨される毎日の出力		
エスプレッソ 50 ~ 60 ml		±250 コーヒーカップ
コーヒー 120 ml		±250 コーヒーカップ
利用可能な飲料	標準	オプション
エスプレッソ	x	
コーヒー	x	
コーヒー/カフェクリーム	x	
ピッチャー (250 ml) ^{ZW}		x
ポット (500 ml) ^{ZW}		x
アメリカン ^{AC/ZW}		x
ホワイト アメリカン ^{**/AC/ZW}		x
ミルクコーヒー (カップ ライト/ダーク) ^{**}		x
カプチーノ ^{**}		x
ラテ マキアート ^{**}		x
エスプレッソ マキアート (アイス) ^{**}		x
カフェ モカ ^{***}		x
ホットチョコレート ^{***}		x
フラットホワイト [*]		x
ホット ミルク [*]		x
熱いミルク フォーム [*]		x
冷たいミルク [*]		x
冷たいミルクフォーム ^{**}		x
Best Foam™ ミルクフォーム [*]		x
熱湯 / 熱湯 外部	x	x
スチーム		x
パウダー飲料 / インスタントドリンク		x
蒸留酒 / コーヒー		x

推奨されるマシン設備:

* 新鮮なミルクで

** 新鮮なミルクおよび/または トッピング (ミルクパウダー)

*** チョコ付き

AC 抽出アクセレレータ

ZW補助ウォーター

3.7 EC適合宣言

3.7.1 製造者住所

製造者	ドキュメントの責任者
Schaerer AG P.O. Box 336 Allmendweg 8 CH-4528 Zuchwil Tel: +41 (0)32 681 62 00 Fax: +41 (0)32 681 64 04 info@schaerer.com www.schaerer.com	Schaerer AG 製品のケアおよび管理システム P.O. Box 336 Allmendweg 8 CH-4528 Zuchwil

3.7.2 適用規格

上記のメーカーは、このマシンが EC 指令に関連する全ての規定に適合していることを宣言します。申し合わせなく装置を改造した場合、この宣言は無効となります。次の整合規格が適用されています。要求事項を適切に処理するために、ISO 9001および14001に従ってビューロ-DEKRAによって認定された品質マネジメントシステムが適用されます。

本適合宣言の発行に対する責任は、メーカーのみが負います。上記の宣言の対象物は、2011年6月8日の欧州議会および欧州理事会による、電気・電子機器における危険物質の使用規制に関する指令 2011/65/EC の規定に準拠しています。

(CE)CE適合用	
(MD)MD 指令 2006/42/EG	(EMC)EMC 指令 20014/30/EU
<ul style="list-style-type: none"> EN 60335-1:2012 +A11 +A13 EN 60335-2-75:2004 +A1 +A11 +A12 +A2 EN 62233:2008 	<ul style="list-style-type: none"> EN 55014-1 : 2017 EN 55014-2:2015 EN 61000-3-2:2014 EN 61000-3-3:2013
(RoHS)RoHS-指令 2011/65/EU	

欧州規則を遵守するために	
規則 ^(EG/EU) EU	規則 ^(EG/EU) EC
No. 10/2011	<ul style="list-style-type: none"> No. 1935/2004 No. 2023/2006
(WEEE)WEEE 2012/19/EG/EU	
(REACH) 1907/2006/EC	

無線機器および受信機の承認指令に対して
指令 2014/53/EU ^(RED) RED
<ul style="list-style-type: none"> EN 301 489-1 V 2.1.1:2017 EN 301 489-7 2005 /-24:2010

欧州化学物質規制に対して
指令 2014/53/EU ^(RED) RED
<ul style="list-style-type: none"> EN 301 489-1 V 2.1.1:2017 EN 301 489-7 2005 /-24:2010

国際認証 ^(CB) CB	
安全性	(EMC)EMC
<ul style="list-style-type: none"> ^(IEC)IEC 60335 ^(IEC)IEC 60335-2-75 	<ul style="list-style-type: none"> CISPR 14-1 CISPR 14-2 IEC 61000-3-2 IEC 61000-3-3

(CE)欧州共同体の調和法の要件

(MD)機械指令 (欧州議会および理事会)

(EMC)電磁両立性
(RoHS)有害物質の制限
(CB)スキーム>試験報告書と証明書の相互承認の国際システム
(IEC)電気機器およびコンポーネントの国際適合性評価システム
(CISPR)電波干渉に関する国際特別委員会
(EG/EU)欧州共同体は、EC/CFSP/PJCCからなる欧州連合の一部である。
(WEEE)電気および電子機器の廃棄物 > 電気および電子機器からの廃棄物の回避と削減
(RED)無線機器および受信機（無線通信）の欧州承認指令
(REACH)化学物質の登録、評価、認可、制限に関する欧州化学物質規制

4 取付けと試運転



マシンは現行の連邦政府、国または自治体の電気設備および衛生に関する法規定に従って取り付けてください。これには十分な逆流保護も含まれています。



注意

切り傷や目の怪我! 鋭利な梱包材はケガの原因になります。ストラップを切ると、目の怪我をする可能性があります。

手袋と保護メガネを着用して、マシンを開梱してください。



注意

感染リスク! ミルクポンプの不純物は健康上の問題につながる可能性があります。

- ▶ 設置、試運転、または再試運転の後、クリーニングを実行する必要があります。
- ▶ 最初の飲料が注出される前に、ディスプレイガイド付きクリーニングプログラムを実行します。



「クリーニング」 - 「毎日のマシンクリーニング」 - 「ディスプレイガイド付きクリーニングプログラム」の章参照。

4.1 設置

4.1.1 使用場所



指示

マシンへの危険! マシンの使用場所に対しては、以下の条件が適用されます。これらの条件が満たされない場合、マシンに損傷がおよぼおそれがあります。

以下の条件を厳守してください。

- ▶ 設置面は、コーヒーマシンの重量で変形しないように、安定した水平および平坦な状態である必要があります。
- ▶ 高温の表面や熱源の近くに設置しないでください。
- ▶ 訓練を受けたスタッフによる監視が常に可能なよう、マシンを設置してください。
- ▶ 現地の設備図に従い、必要な電源供給口がマシンの設置場所まで 1 m のところまで来るようにします。
- ▶ 現地における現行の調理場規則を守ってください。

メンテナンスおよび操作のためのスペースを確保してください:

- ▶ コーヒー豆またはパウダーを入れるため、上方向に十分なスペースを空けてください (20 cm が推奨されます)。
- ▶ マシン背面から壁までは少なくとも 5 cm の間隔を空けてください (空気循環のため)。

4.1.2 気候



指示

マシンへの危険! マシンの使用場所に対しては、以下の気候条件が適用されます。これらの条件が満たされない場合、マシンに損傷がおよぼおそれがあります。

以下の条件を厳守してください。

- ▶ 周辺温度が +10°C ~ +40°C (50°F ~ 104°F)。
- ▶ 相対湿度が最大 80% rF。
- ▶ 本マシンは室内での使用のみを対象として設計されています。屋外や天候の影響 (雨、雪、霜) を受ける場所では絶対に使用しないでください!

4.2 電源供給

4.2.1 条件 (エネルギー)

電気接続は必ず各国の規定に従って行ってください。定格銘板に記載された電圧と機器設置場所の電源電圧が一致するようにしてください。電源ソケットと電源スイッチは、設置場所のオペレーターが簡単にアクセスできる必要があります。



! 危険

感電のおそれあり! 感電による死亡事故や重傷を負うおそれのある非常に危険な状況を示しています。

必ず以下の項目を厳守してください。

- ▶ 位相は必ず定格銘板に記載されたアンペア値を守ってください!
- ▶ マシンは、すべての極で主電源から切断できる必要があります。
- ▶ 現場の電気システムは、IEC 364 (DIN VDE 0100) に従って設計する必要があります。安全性を高めるために、公称残留電流が30mAのFI回路ブレーカー (EN 61008) をデバイスの上流に接続する必要があります。(タイプBの残留電流回路ブレーカーは、滑らかなDC残留電流でも応答を保証します。これにより、高レベルの安全性が実現されます)。
- ▶ 電源ケーブルが損傷しているデバイスは絶対に使用しないでください。損傷した電源ケーブルもしくはプラグは直ちにサービス技術者に依頼して交換してください。
- ▶ シェーラー社は延長ケーブルの使用を推奨していません! それでも延長ケーブル(最小断面積: 1.5 mm²)を使用する場合には、ケーブルメーカーの資料 (取扱説明書) および現地において有効な規定に従ってください。
- ▶ 電源ケーブルは人が踏かないように敷設してください。ケーブルは端や尖った角上に敷設したり、挟んだり、室内に吊り下げたりしないでください。また、ケーブルは高温の物体上に載せないようにし、油や攻撃性のある洗剤から保護してください。
- ▶ 電源ケーブルでデバイスを持ち上げたり引っ張ったりしないでください。電源ケーブルのプラグを決してコンセントから引き抜かないでください。ケーブルもしくはプラグには決して濡れた手で触らないでください! 決して濡れたプラグをコンセントに差し込まないでください!

4.2.2 電源ケーブル接続マシン



! 危険

ユーザーや建物への危険! 故障した、または非純正の電源接続ケーブルを使用した場合、感電および火災の危険があります! 純正の電源接続ケーブルを使用してください。

この危険を防止するために、以下に記載された指示に必ず従ってください。

- ▶ 国別仕様の純正電源接続ケーブルはサービスパートナーを通して入手可能です。
- ▶ 両側着脱式の電源接続ケーブルは交換可能です。
- ▶ 固定接続された電源ケーブルはサービス技術者が交換してください。

4.2.3 電気接続値

電源	電源仕様	保護現場	接続ケーブル 導体断面積
1L、N、PE	220 ~ 240 V AC 50/60 Hz	1)2000 ~ 2400 W	10 ~ 30 A 3 x 1 mm ² 3 x 17 AWG
1L、N、PE	220 ~ 240 V AC 50/60 Hz	2)3000 ~ 3600 W	16 ~ 30 A 3 x 1.5 mm ² 3 x 15 AWG
1L、N、PE	220 ~ 240 V AC 50/60 Hz	3)6000 ~ 7000 W	30 A 3 x 4 mm ² 3 x 11 AWG
2L、PE	220 V AC 60 Hz	1)2000 W	10 ~ 30 A 3 x 1 mm ² 3 x 17 AWG
2L、PE	220 V AC 60 Hz	2)3000 W	16 ~ 30 A 3 x 1.5 mm ² 3 x 15 AWG
2L、PE	220 V AC 60 Hz	3)6000 W	30 A 3 x 4 mm ² 3 x 11 AWG

電源	電源仕様			保護現場	接続ケーブル 導体断面積
2L、PE	208 ~ 240 V AC	60 Hz	¹⁾ 1900 ~ 2400 W	10 ~ 30 A	3 x 1 mm ² 3 x 17 AWG
2L、PE	208 ~ 240 V AC	60 Hz	²⁾ 2800 ~ 3600 W	15 ~ 30 A	3 x 1.5 mm ² 3 x 15 AWG
2L、PE	208 ~ 240 V AC	60 Hz	³⁾ 5100 ~ 7000 W	30 A	3 x 4 mm ² 3 x 11 AWG
2L、PE	200 V AC	50/60 Hz	¹⁾ 1800 W	15 ~ 25 A	3 x 2 mm ² 3 x 14 AWG
2L、PE	200 V AC	50/60 Hz	²⁾ 2600 W	15 ~ 25 A	3 x 2 mm ² 3 x 14 AWG
3L、PE	220 V AC	60 Hz	⁴⁾ 5700 ~ 8700 W	25 ~ 30 A	4 x 2.5 mm ² 3 x 13 AWG
3L、PE	208 ~ 240 V AC	60 Hz	³⁾ 5100 ~ 6400 W	25 ~ 30 A	4 x 2.5 mm ² 3 x 13 AWG
3L、PE	208 ~ 240 V AC	60 Hz	⁴⁾ 7700 ~ 10300 W	25 ~ 30 A	4 x 2.5 mm ² 3 x 13 AWG
3L、PE	200 V AC	50/60 Hz	³⁾ 4700 W	25 A	4 x 2.5 mm ² 3 x 13 AWG
3L、PE	200 V AC	50/60 Hz	⁴⁾ 6900 W	25 A	4 x 2.5 mm ² 3 x 13 AWG
3L、N、PE	380 ~ 415 V AC	50/60 Hz	³⁾ 5700 ~ 6400 W	16 ~ 30 A	5 x 1.5 mm ² 3 x 15 AWG
3L、N、PE	380 ~ 415 V AC	50/60 Hz	⁴⁾ 8700 ~ 10300 W	16 ~ 30 A	5 x 1.5 mm ² 3 x 15 AWG

- 1) 装置 1または2 ボイラーと2 kW (シリアル)
- 2) 装置 1または2 ボイラーと3 kW (シリアル)
- 3) 装置 2 ボイラーと3 kW (同時)
- 4) 装置 3 ボイラーと3 kW (同時)



このコーヒーマシンは、50 Hzの電源でも60 Hzの電源でも使用可能です。

4.3 給排水管接続および廃水出口

4.3.1 条件 (固定水)



指示

水質! 悪質な素材および不適切な水値によってマシンに損傷がおよぶおそれがあります。推奨される水質を確認し、必要に応じて最適化します。

この危険を防止するために、以下に記載された指示に必ず従ってください。

- ▶ 水には汚れがなく、塩素含有量は1リットルあたり50 mgを超えないでください。
- ▶ マシンを純粋な浸透水または他の侵略的な水に接続しないでください。
- ▶ 炭酸塩の硬度は、4~6°dKH (ドイツ炭酸硬度) (ドイツの炭酸塩の硬度) または 8~12°fKH (フランス炭酸硬度) (フランスの炭酸塩の硬度) を超えてはならず、合計硬度の値は常に炭酸塩の硬度よりも高くする必要があります。
- ▶ 最小炭酸塩の硬度は 4°dKH (ドイツ炭酸硬度) または 8°fKH (フランス炭酸硬度) です。pH 値は 6.5 ~ 7 の間でなければなりません。
- ▶ マシンには常に新しい付属のホースセット (水/廃水ホース) を使用してください。

水の供給は必ず現行の規定および各国の規定に従って行ってください。新しく設置した水道管にマシンを接続する場合、汚れがマシンに入らないように、管と注入ホースを完全にすすぐ必要があります。マシンは必ず遮断弁の付いた飲料水供給口に接続してください。取り付けられた圧力ホースと、給水栓に取り付けられた減圧装置のG 3/8" ネジ接続を使用して取り付けられます (0.3 MPa (3 bar) に設定)。

マシンには廃水出口が必要です。付属の温度安定性のある廃水ホースは、設置側のサイフォンに接続されています。廃水ホースは、サイフォン効果を回避するために、接続に対して傾斜している必要があります。外部飲料水または廃水タンクを備えたマシンは直接接続されています。対応するレベル監視が利用可能です。



「水質に関する追加の説明 - N°022960」には、水の値を記録するための情報とフィルター技術の使用が含まれています。追加の手順は、Schaerer AGにリクエストするか、MediaPoolのWebサイト (<http://www.schaerer.com/member>) から直接ダウンロードできます。

4.3.2 水接続値

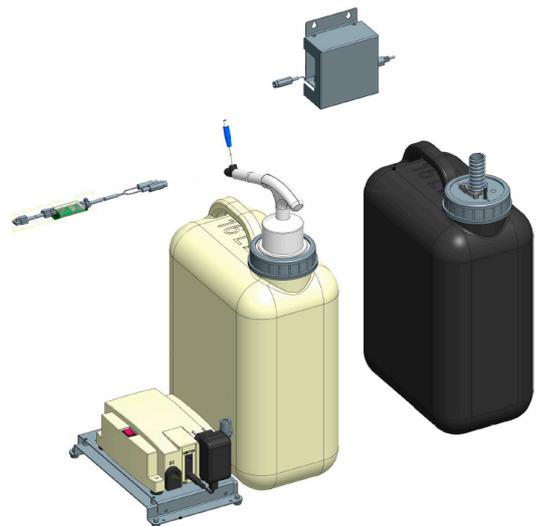
水圧	推奨:	0.1 ~ 0.6 MPa (1 ~ 6 bar)
	最大:	1.0 MPa (10 bar)
入口の水温	最小:	10°C
	最大:	30°C

4.3.3 飲料水および廃水外部タンク(オプション)

コーヒーマシンSCソウルは、オプションで外部の飲料水タンクおよび廃水タンクを監視しながら稼動することができます。



変更手順「飲料水および廃水タンクモニターSCソウル」には、外部の飲料水および廃水タンクのセットアップと接続に関する情報が含まれています。変更手順は、Schaerer AGにリクエストするか、MediaPoolのWebサイト (<http://www.schaerer.com/member>) から直接ダウンロードできます。



4.4 取付け

4.4.1 マシンの開梱



取付け前には「設置」および「電源供給」の章にしっかりと目を通してください!

- ▶ マシンをパッケージから取り出します。
- ▶ パッケージの残りに付属のアクセサリが含まれているか点検します。
- ▶ 付属のアクセサリをカス受けおよびアクセサリボックスから取り外します。



「製品の説明」 - 「納入品目およびアクセサリ」。の章を参照。

- ▶ 返品の可能性に備え、オリジナルのパッケージを保管します。

4.4.2 雫受けの取り付け

コーヒーマシンを輸送する場合は、雫受けを取り外します。雫受けは付属品として別の段ボール箱で納品されます。

雫受けには以下のアイテムが同梱されています：

- [A] 取扱説明書および適合宣言書の添付シート
- [B] 洗浄剤 (マシン装備に応じて)
- [C] 手動投入用コーヒー粉スプーン
- [D] コーヒーカップの位置決めツール シングル
- [E] コーヒーカップの位置決めツール ダブル
- [F] カス受けの内部洗浄用ブラシ
- [G] 廃水ホースが取り付けられた雫受け
- [H] 左側へのミルクホースガイド
- [I] クリーニングブラシ (小)

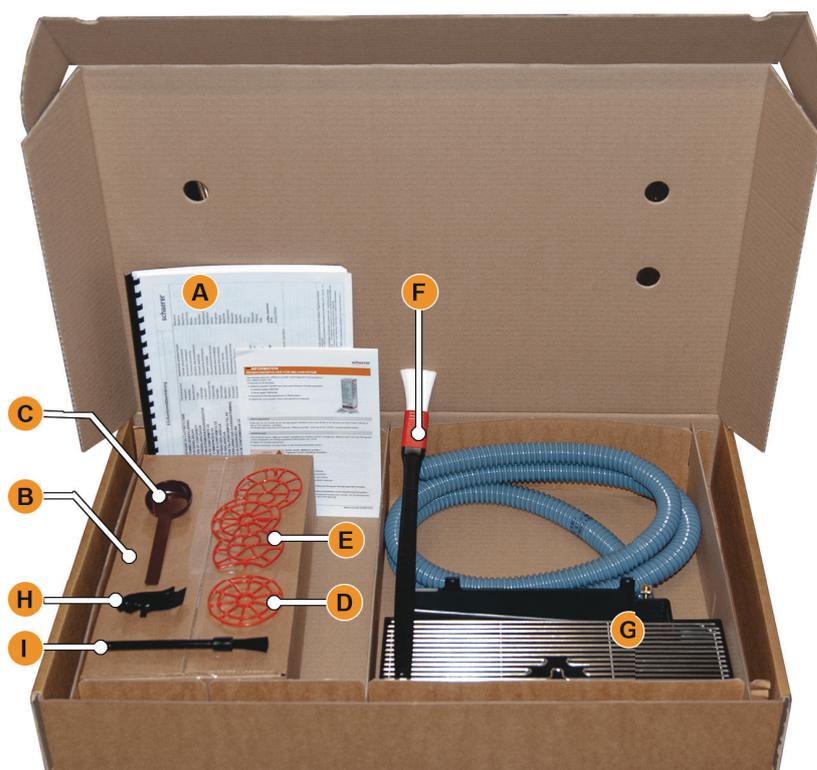


図: ソウル納入品目アクセサリ



雫受けを取り付け、固定します

- ▶ 両方のフロントフラップ [A] および [B] を開きます。
 - ☑ 取り付け穴 [D] が見えます。
- ▶ 雫受けの廃水ホースを後ろからマシン内を通します。
- ▶ 雫受け [G] を取り付け、マシンに押し込みます。必要に応じて、同時にトレイ [E] を少しだけ持ち上げます。
- ▶ 雫受けを2本のネジ [D] で固定します。

4.4.3 ピンチバルブ ミルク接続



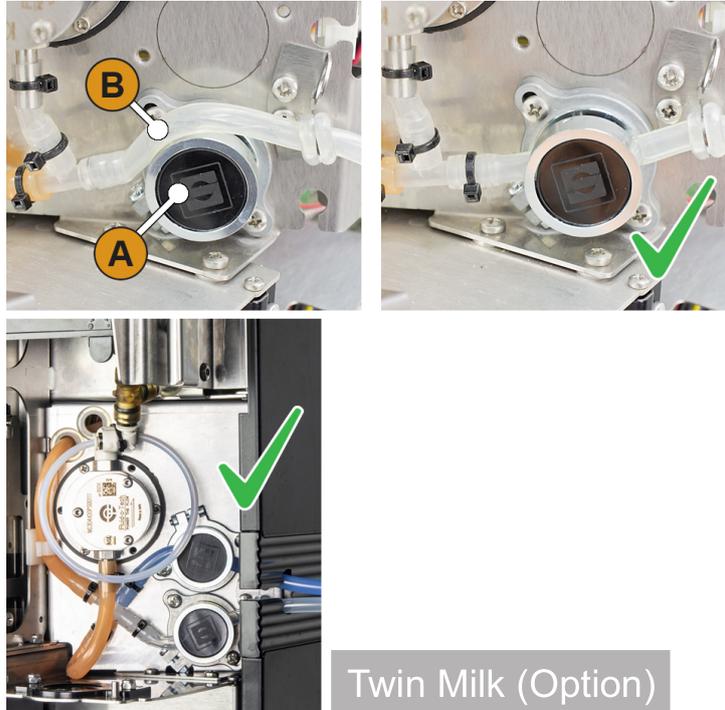
輸送時には、オプションのミルクホースをピンチバルブから取り外します。コーヒーマシンを使用する前に、ミルクホースをピンチバルブに正しく取り付ける必要があります (下図参照)。

- ▶ コントロールパネルを持ち上げます。



「操作」 - 「コントロールパネル」 - 「コントロールパネルを開く」。の章参照。

- ▶ 右側の黒いカバーをツールを使わずに前に引き抜きます。
 - ☑ ミルクポンプとピンチバルブ [A] にアクセスできるようになります。
 - ▶ 図に示してあるように、ミルクホース [B] をピンチバルブ [A] に挿入します。
- 情報: 「Twin Milk」 オプションでは、ピンチバルブが2つ取り付けられています。



Twin Milk (Option)

4.4.4 コーヒーマシンの接続



アクセスしやすくするために、マシン裏側約5 cmをサポートプレートの上に置きます。

以下の現場での接続が必要になります。

[A] 電源プラグのコンセント (230 V ACまたは400 V AC) またはメインスイッチ付き固定ポート

- 定格銘板には、必要な最高ヒューズについて記載されています。
- 定格銘板には、絶対に必要な最低 導体断面積について記載されています

[B] コーヒーメーカーと周辺機器間の通信用オプションインターフェース

[C] 給排水管接続3/8インチまたは外部飲料水タンクへの接続 (オプション)

[D] 廃水出口ホース \varnothing 20mm用のサイフォンまたは外部廃水タンク

[E] 国別の電源プラグ230 Vを備えた主電源ケーブル用オプションコンセント (周辺機器)

情報: マシン側のすべての接続は、納品時にすぐに使用できる状態になっています。現場では、上記のような接続を準備する必要があります。



「設置と試運転」 - 「電気接続値」。の章を参照。

- ▶ その国で使用されている電源プラグの取り付けによる電源接続 [A]。
- ▶ (オプション) CAN制御ケーブル [B] 6ピンDINプラグを*周辺機器に接続します。
- ▶ 給排水管接続 [C] を給水栓により現場の衛生設備に接続します。
- ▶ 廃水ホース [D] を、現場のサイフォンまたは外部廃水タンク (オプション) につなげます。
- ▶ マシンを作業用プレート上に正しく設置します。



図: コーヒーマシンと個別冷却ユニットの接続

- * 個別冷却ユニット、Cup & CoolまたはFlavour Pointなどのオプション周辺機器。



マシンの電源を初めてオンにした場合、ディスプレイを使用してマシンの設定が自動的に設定されません。

4.4.5 ディスプレイガイドによる試運転



初めてスイッチを入れた場合、試運転プログラムが自動的にスタートします。ここで取付けに関するすべての項目が説明されます。サービス技術者は、いつでも手動で試運転プログラムをトリガーできます。



「操作」-コーヒーマシンの電源を入れる方法の説明については、「スイッチを入れてください」。の章を参照。

4.5 周辺機器を接続します



指示

保管および輸送措置。輸送の際には、ミルクホースをマシンのピンチバルブから取り外します。

ミルクホースを接続する際には、すべての接続部が正しく接続され、取り付けられていることを確認してください。



指示



ミルクホースガイド。周辺機器は、コーヒーマシンの左右に設置できるほか、カウンター下 (UC) にも設置できます。標準ではミルクホースガイドは、一般的にマシンから右側へ出ています。

周辺機器を左側またはカウンターの下に設置する場合は、ミルクホースガイドを変更する必要があります。

ミルクホースガイドの可能なバリエーションを記載した個別の変更指示書は、周辺機器に同梱されています。

4.5.1 周辺機器を接続します(オプション)



冷却ユニットを内蔵した周辺機器やフィードポンプを搭載した周辺機器は、すべてコーヒーマシンとの通信接続 (CANバス) が必要です。接続は常にシリアルで行われます。

オプションで次のバリエーションがあります。

- すべての周辺機器には、電源接続（コンセント）230 V ACが必要です
- CAN接続 6ピン制御ケーブルDIN プラグ

接続バリエーション

[A] [B]、または [C]、または [D]、および [E] に基づいたコーヒーマシン

[B] Cup & Cool 細長/幅広

[C] Cup & Cool 細長/幅広 センターミルク

[D] 下受け冷却ユニット

[E] Flavour Point (シロップUC)

予告: 組立式のテスト済み装置ケーブルにより電源接続230 V ACは行われます。

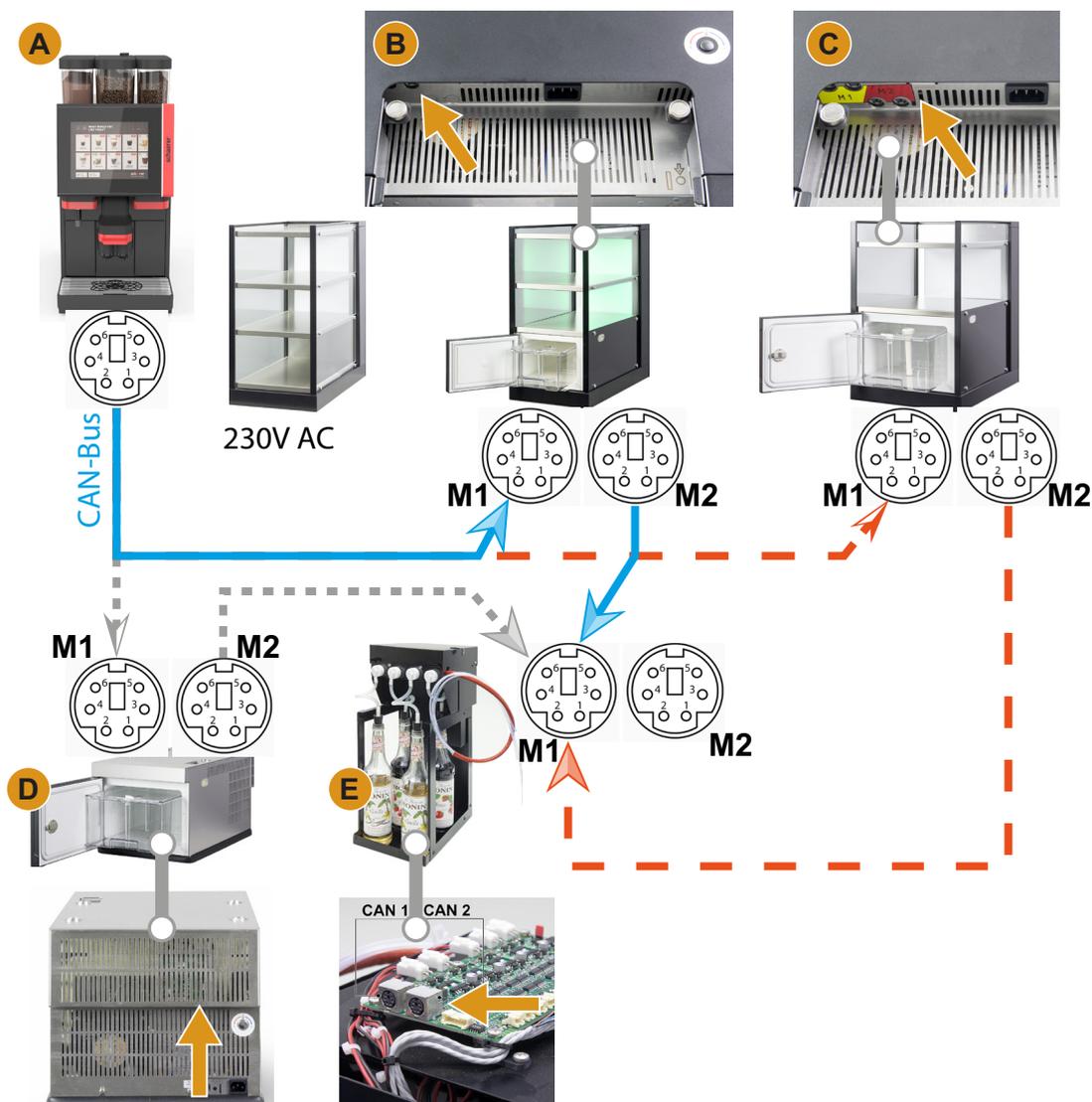


図: コーヒーマシン周辺機器のCANバス接続の概要

4.5.2 左側へのミルクホースガイド



個別冷却ユニット付きのコーヒーマシンでは、ミルクホースは常に右に配置されています。

- 個別冷却ユニットをマシンの左側に設置する場合は、ミルクホースをマシンの左側に取り回す必要があります。

納入品目の付属品

プラスチック製のホースガイド [A] (079880) が納入品目に含まれており、変更時に利用できるようになっています。

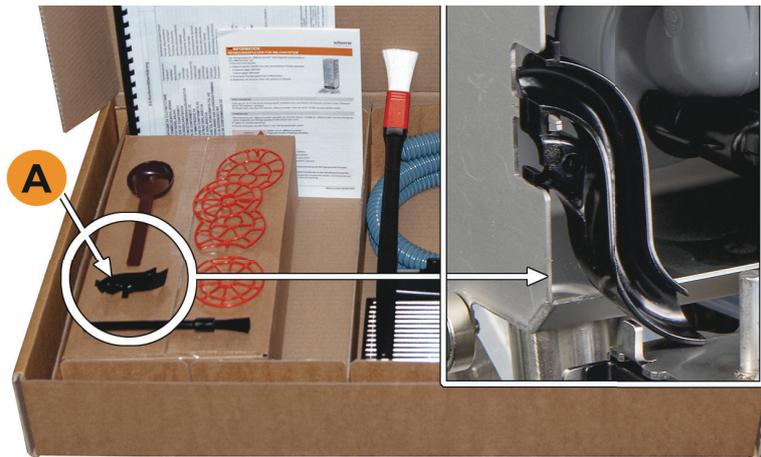


図: 納入品目 アクセサリ

必要なコンポーネントおよびツール

- プラスチック製ホースガイド 079880
- プラスドライバー PH1

変更の準備:

- コーヒー豆およびパウダーホッパーを取り外します
- 上、左および右のケーシングを取り外します
- コントロールパネルは上の位置で
- ピンチバルブカバー [B] を取り外します。(ツール不要)
- ▶ コントロールパネルの裏側にあるピンチバルブカバー [B] のつまみ (1、2、3の位置) を外して取り外します。
- ▶ カバー [D] を持ち上げて、取り外します。
- ☑ これでマシンの変更準備が整いました [C]。

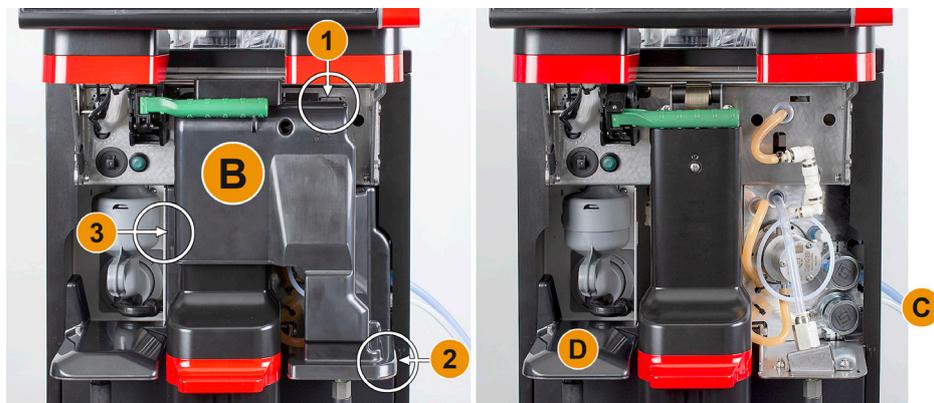


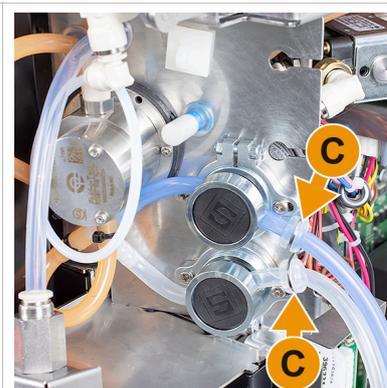
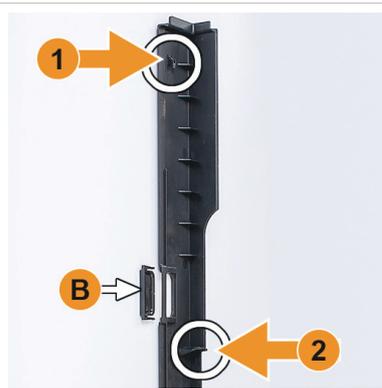
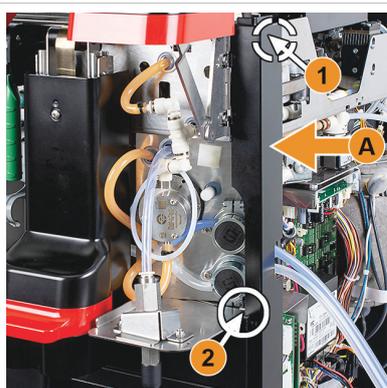
図: ピンチバルブカバーを取り外します。

サイドバー開口部を変更します

- サイドケーシングは取り外されています。
- ピンチバルブカバーは取り外されています

予告: 「Twin Milk」 付きのマシン装備には、ミルクホースが2本含まれています。

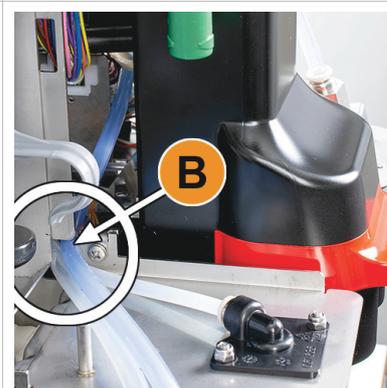
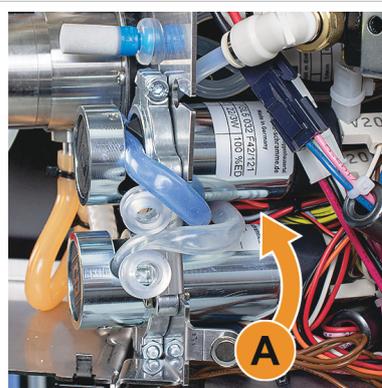
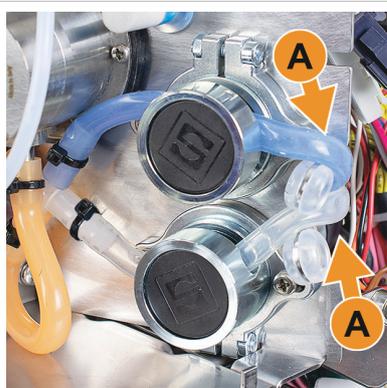
- | | | |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ▶ 左右のサイドバー [A] を上に押し上げ、固定部 [1] および [2] から外します。 ☑ 左右のサイドバーが取り外されました。 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 右のサイドバーからミルクホースを取り外します。 ▶ 左側のサイドバーからブラインドカバー [B] を取り外し、右側のバーに挿入します。 ☑ これで両サイドバーの再組み立ての準備が整いました。 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ ガイド [C] からミルクホースを取り外します。 ▶ ミルクホースを裏側に取り回します。 ☑ ミルクホースを裏側に取り回すことができます。 |
|--|---|---|



ミルクホースを左側に取り回します

- ガイド [C] のないミルクホース。
 - サイドバー開口部が変更されました
- 予告: 「Twin Milk」 付きのマシン装備には、ミルクホースが2本含まれています。
- ▶ 図 [A] のように、ミルクホースを裏側に取り回します。
 - ▶ ミルクホースを飲料注出口の裏側から左側へ取り回します。

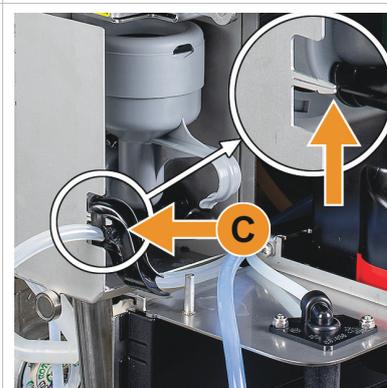
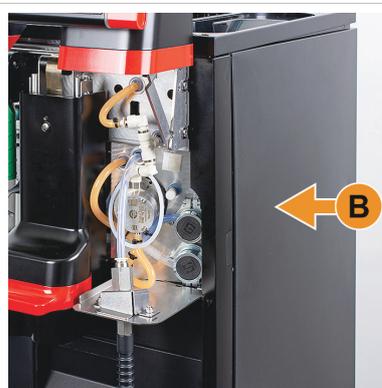
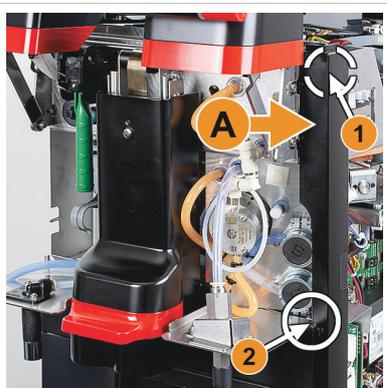
- ▶ ミルクホースをメタルプレートの開口部 [B] に通します。
- ミルクホースをマシンから左側へ取り回します。



右側にケーシングおよび左側にホースガイドを取り付けます

- 左側でミルクホースは準備ができました。
 - ホースガイド 079880 の準備をします
- 予告: 「Twin Milk」 付きのマシン装備には、ミルクホースが2本含まれています。
- ▶ 右側のサイドバー [A] を再度取り付けます。固定部 [1] および [2] を確認します。
 - ▶ 右側のサイドケーシング [B] を再度取り付けます。

- ▶ ミルクホースガイド 079880 をサイドプレート [C] にはめ込みます。
- ミルクホースガイドが配置されました。

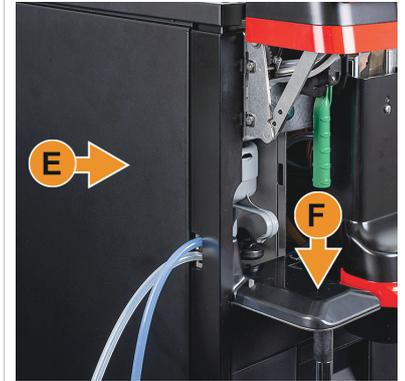
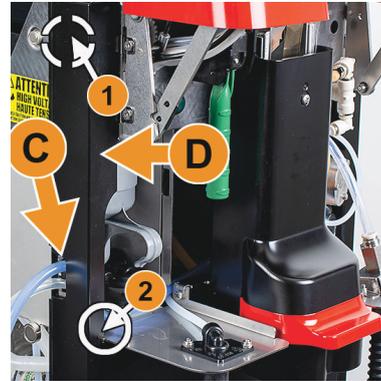
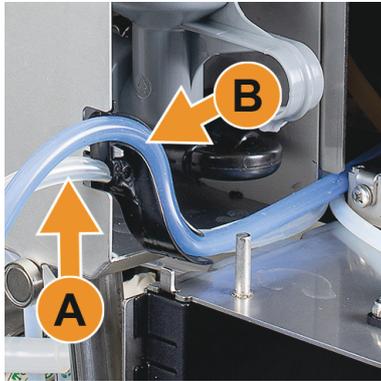


ミルクホースを左側に取り回します

- ホースガイド 079880 が配置されました。

予告: 「Twin Milk」付きのマシン装備には、ミルクホースが2本含まれています。

- | | | |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ▶ 裏側にあるミルクホース [A] をホースガイドに差し込みます。 ▶ 上部にあるミルクホース [B] をホースガイドに差し込みます。 ☑ ミルクホースをマシンから左側に取り回します。 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ ミルクホースを左側のサイドバー [C] に通します。 ▶ 左側のサイドバー [D] を再度取り付けます。固定部 [1] および [2] を確認します。 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ サイドケーシング [E] を取り付けます。 ▶ カバー [F] を取り付けます。 ▶ 上部ケーシングを取り付け、コンテナを再び取り付けます。 ☑ 左側へのミルクホースガイドが完了しました。 |
|--|--|---|



4.5.3 Flavour Point 4倍 UC (シロップモジュール) の接続(オプション)



周辺機器 Flavour Point 4倍 UC は後付けできません。ホースを正しく取り回すために、マシン脚部 (最低 40mm) をコーヒーマシンに取り付けます。

Flavour Point ホース接続

- ☐ コーヒーマシンは、「Flavour Point」オプション用に工場準備されました。
- ☐ 必要なホース接続は、マシンの右側にあります。
- ▶ コーヒー豆ホッパーおよびパウダーホッパーをマシンから持ち上げます。
- ▶ マシンのフタから4本のねじを緩めて、フタの右側を少し持ち上げます。
- ▶ 右側の細いケーシングバーを上押し、ロックを解除します。
- ☑ マシンから引き出されたプラグ接続は、マシンの右側 [B] からアクセスできるようになりました。
- ▶ Flavour Point [A] から準備されたプラグ接続にオフセット方式で接続ホースを接続します。
- ▶ 右側のサイドケーシングおよびマシンのカバーを再度取り付けます。
- ▶ コーヒー豆ホッパーおよびパウダーホッパーを再び取り付けます。
- ☑ ホース接続 Flavour Point - コーヒーマシンが完成しました。

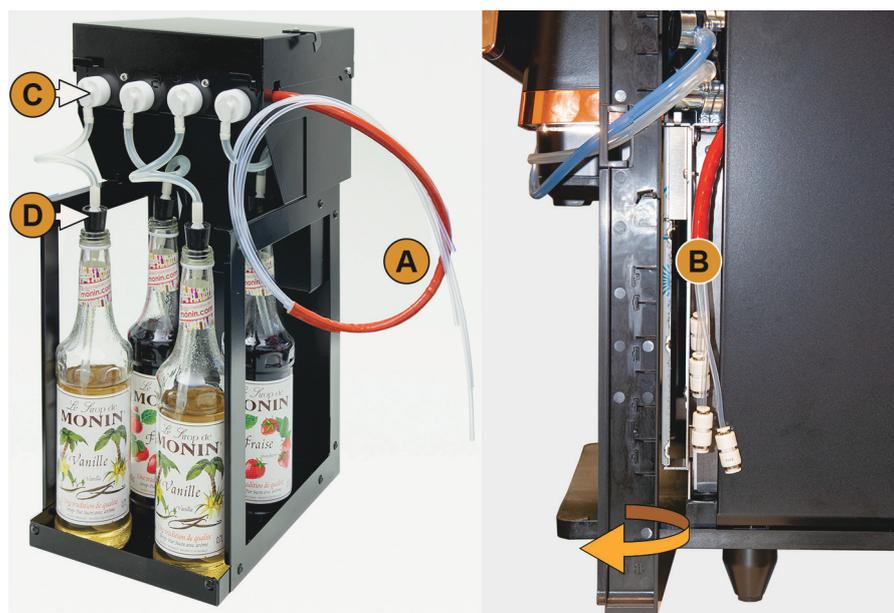


図: Flavour Point ソールのホース接続

シロップ種類のラベル

- 自己粘着性ラベルストリップ。
- ▶ ラベルストリップを約 5 cm 枚ずつ4フィールド (4ポンプ) に分割します。
- ▶ シロップポンプに応じてシロップの種類を表記します (下図参照)。
 - ☑ シロップボトルとシロップポンプの間のホース接続部には印がついています。
 - ☑ 洗浄後は、シロップの種類ごとの割り当てが明確になります。

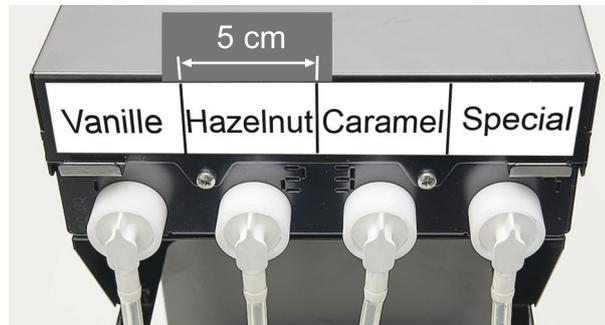


図: シロップボトルとシロップポンプの間のホース接続部のラベル

4.6 解体と廃棄



- マシンは必ず現地の法規制に従い、適切に廃棄してください。
- ▶ サービスパートナーに連絡してください。

5 操作



! 注意

高温液体に注意! マシンによって注出される飲料のほとんどが熱いものです。
注出中は、飲料注出口の下やマシンに入らないでください。



! 注意

高温蒸気に注意! スチームランスの注出エリアでは火傷のおそれがあります。
注出中はスチームランスの下に手を絶対に入れないようにしてください。



! 注意

高温表面に注意! 火傷による怪我につながるおそれのある危険な状況を示します。この危険は、注出ポイントとカップウォーマーポイント (オプション) から発生します。
提供されている操作要素で、常に飲料注出口またはスチームランスをつかんでください。



! 注意

指をはさむ危険! コントロールパネルが自重で落下する可能性があります。
コントロールパネルをしっかりと持ち、コントロールしながらカチッとはまるまで上下に動かします。



指示

マシンへの危険! 取り扱いを誤ると、タッチスクリーンが損傷する可能性があります。
力、強い圧力、鋭利なものをディスプレイで使用しないでください。

5.1 操作パネル

5.1.1 コントロールパネルを開く

- ▶ ロック装置 [A] をキーで開けます。
 - ☑ ロックは水平位置で開いています [B]。
- ▶ コントロールパネルの上部 [C] を強く引いてロックを解除します。
 - ☑ コントロールパネルは解除されています。
- ▶ コントロールパネルを両手で下から [D] ストッパーに当たるまで上へ押し上げます。
 - ☑ コントロールパネルは上の位置で自動的に保持されます。
 - ☑ コントロールパネルの裏側にあるすべての制御要素 [E] にアクセスできるようになります。



5.1.2 コントロールパネルを閉じます

- コーヒーマシンは、コントロールパネルが閉じた状態でのみ操作することができます。

- ▶ 開いているコントロールパネルをストッパーに当たるまで下へ動かします。
- ▶ コントロールパネルの上端を軽く押し込みます。
 - ☑ コントロールパネルがロックされ、再び閉じた状態になります。
- ▶ 必要に応じて、ロック装置をキーで再度ロックします。

5.2 マシン上の制御要素

5.2.1 制御要素 マシン 外側

- [A] 手動投入口 (コーヒー粉 / 洗浄タブレット)
- [B] タッチスクリーン (圧感応性ディスプレイ、10インチまたは12インチ)
- [C] コントロールパネルは上にスライドできます
- [D] 手動の飲料注出口 (手動で上下にスライド)、またはオプションで高さを自動調整できる飲料注出口 (AHA)
- [E] カス受け
- [F] ドリップグリッドにより雫受けを固定
- [G] コーヒーカップの位置決めツール (シングルカップまたはダブルカップ)
- [H] ロック装置 (コントロールパネル)



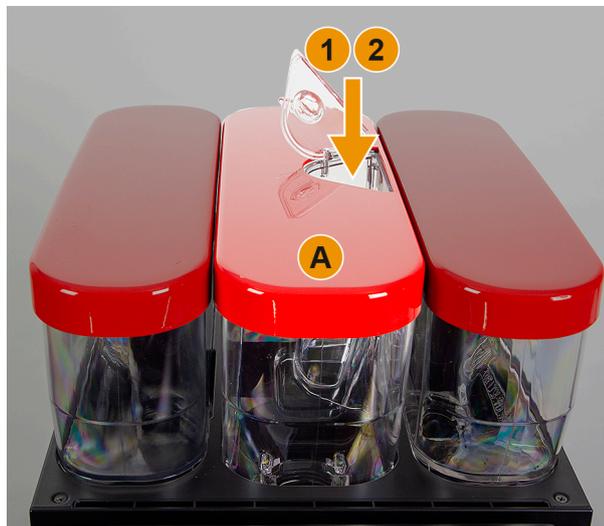
手動投入口が内蔵されているコーヒー豆ホッパー

手動投入口が内蔵されている中央のコーヒー豆ホッパーは標準装備されています。手動投入口は、洗浄タブレットCoffee pureを挿入するための開口部でもあります。

[A] 中央コーヒー豆ホッパー (1200 g)

中央コーヒー豆ホッパーの機能：

- 1 洗浄タブレットの投入口
- 2 コーヒー粉 (カフェインフリーコーヒーなど) 用の手動投入口



情報: コーヒー豆ホッパーおよびパウダーホッパーのフタはオプションでロック装置を付けることができます。

オプション: 追加のコーヒー豆ホッパーおよび/またはパウダーホッパー

マシンにはオプションで追加の右コーヒー豆ホッパーおよび/または左パウダーホッパーを装備することができます。

[A] 追加の右エスプレッソコーヒー豆ホッパーなど (1200 g)

[B] パウダーホッパー (チョコレートまたはトッピング) (2000 g / 2750 ml)

[C] ツインパウダーホッパー



情報: コーヒー豆ホッパーおよびパウダーホッパーのフタはオプションでロック装置を付けることができます。

オプション: 外部熱湯およびスチーム注出



注出オプションの外部熱湯 [A] またはスチーム注出 [C] は、お客様の仕様に合わせて左または右に配置することができます。

また、熱湯および/またはスチーム注出用の外部制御要素を追加するオプションもあります。

[A] 外部熱湯ボタン (mlで事前設定された注出量)

[B] 熱湯の注出

[C] スチームボタン (秒で事前設定された注出量)

[D] スチームノズル (標準パワースチーム)

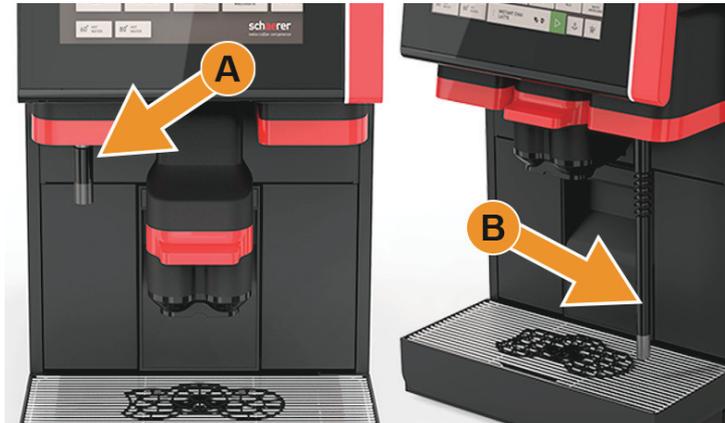


図: 外部熱湯注出およびスチームノズル (パワースチーム)

5.2.2

マシンの制御要素



マシンにオプションの自動粉碎度調整機能が搭載されている場合は、調整装置 [D] と [E] (下図を参照) はありません。コーヒーマシンは、基準の飲料の抽出時間に応じて、粉碎度を自動的に調整します。コーヒーマシンの基準の飲料はサービス技術者により定義されます。

以下に一覧表示されている制御要素は、コントロールパネルの裏側にあります。

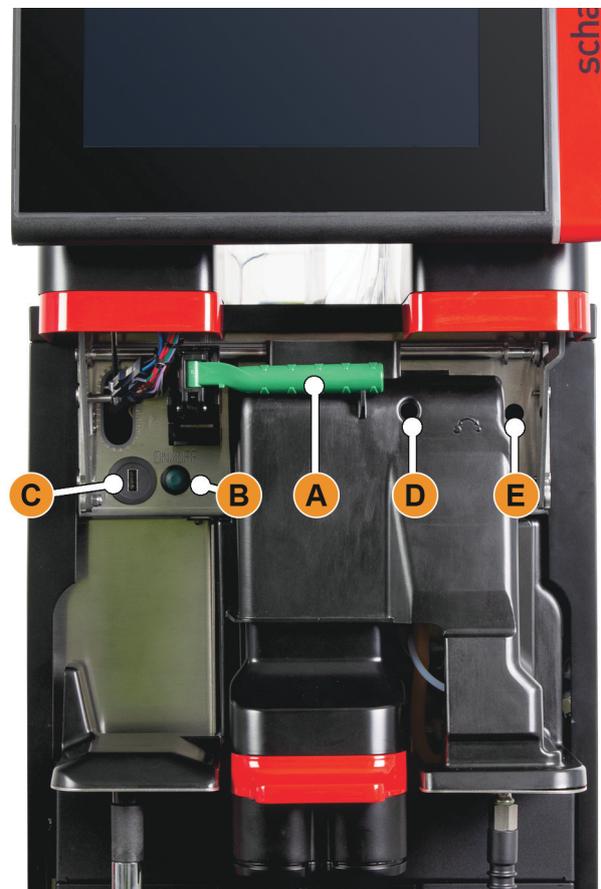
[A] コーヒー豆ホッパーおよびパウダーホッパーの中央ロックシステムのグリップ

[B] USBポート

[C] マシンの電源ボタン (4秒間押し続けるとスイッチがオフになります)

[D] 中央グラインダーの手動粉碎度設定 (標準装備)

[E] オプションで入手可能な右グラインダーの手動粉碎度設定





「操作」 - 「コントロールパネル」 - 「コントロールパネルを開く」。の章を参照。

粉碎度調整



指示

風味の変化！粉碎度調整はすべてのコーヒー飲料の風味とフレーバーを変化させます。

粉碎度調整は、管理担当者またはサービス技術者のみが行うことができます。

粉碎度調整後は、グラインダーの校正を行うことが推奨されます。



「プログラミング」 - 「サービス (管理担当者)」 - 「グラインダーサービス」。の章を参照。

コーヒー豆ホッパーのロックを解除します

コーヒー豆ホッパーおよびパウダーホッパーは、マシンから取り外すことができます。中央ロックシステムは、コーヒー豆ホッパーおよびパウダーホッパーを同時に解除します。

- ▶ コントロールパネルを開きます。
 - ▶ 中央ロックシステム [1] の緑色のグリップ [A] をマシンから前方 [2] へ揺すりながら引き出します。
 - ▶ 中央ロックシステム [2] を下方方向へ [3] マシンの中へ折りたたみます。
- この状態で、コーヒー豆ホッパーおよびパウダーホッパーは解除されています、位置 [B]。



図: コーヒー豆ホッパーおよびパウダーホッパーの解除 (オプション)



「操作」 - 「コントロールパネル」 - 「コントロールパネルを開く」。の章を参照。

オプション: パウダーシステム、またはトッピングシステムのみキサーカップ

マシンにはチョコレートパウダーシステムまたはトッピングパウダーシステムを装備することができます。

- ミキサーカップは、クリーニングプログラム中にプロンプトが表示された後マシンから取り外します。
- ▶ ハンドルを使ってミキサーカップをマシンからまっすぐに引き抜きます。



図: ミキサーカップを取り外します

i ミキサーカップを取り付ける際には、[A] ベント、[B] 給水ライン、[C] ミキサーカップ、[D] チョコレート/トッピングラインが正しく接続され、止まるところまで押し込まれていることを確認してください。

📖 「クリーニング」 - 「毎日のマシンクリーニング」の章を参照。

5.3 周辺機器の制御要素(オプション)

5.3.1 冷却ユニットの制御要素

マシンにはオプションでBest Foam™ミルクシステムが搭載されており、個別冷却ユニットまたは下付け冷却ユニットで使用可能です。

- [A] 冷却ユニットのオン/オフトグルスイッチ
- [B] 冷却ユニットの制御要素



図: サーモスタット/個別冷却ユニットの制御要素

5.3.2 周辺機器 Cup & Cool / カップウォーマーの操作要素

マシンにはオプションでBest Foam™ミルクシステムが搭載されており、周辺機器 Cup & Cool またはカップウォーマーと組み合わせて使用可能です。

- [A] 冷却ユニットのオン/オフトグルスイッチ
- [B] カップウォーマーのオン/オフトグルスイッチ
- [C] サーモスタットの設定

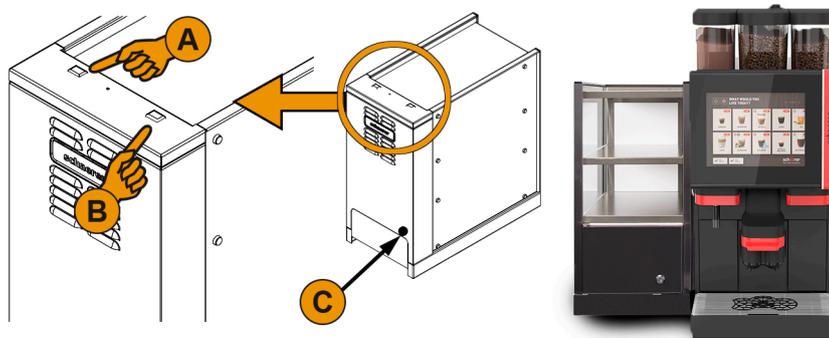


図: 周辺機器 Cup & Cool の操作要素

📖 この周辺機器については、別添の説明書「SCソウル 周辺機器」の詳細情報もご参照ください。

5.3.3 下付け冷却ユニットの制御要素

マシンにはオプションでBest Foam™ミルクシステムが搭載されており、下付け冷却ユニットで使用可能です。

[A] 冷却ユニットのオン/オフスイッチ (フロントドアの裏側)

[B] 冷却ユニットのサーモスタット (背面)



図: オン/オフスイッチ、下付け冷却ユニットのサーモスタット



この周辺機器については、別添の説明書「SCソウル 周辺機器」の詳細情報もご参照ください。

5.3.4 カウンター下冷却ユニットの制御要素

マシンにはオプションでBest Foam™ミルクシステムが搭載されており、設置高さの平らなカウンター下冷却ユニットで使用可能です。

[A] 冷却ユニットのオン/オフスイッチ (フロントドアの裏側)

[B] 冷却ユニットのサーモスタット (背面)

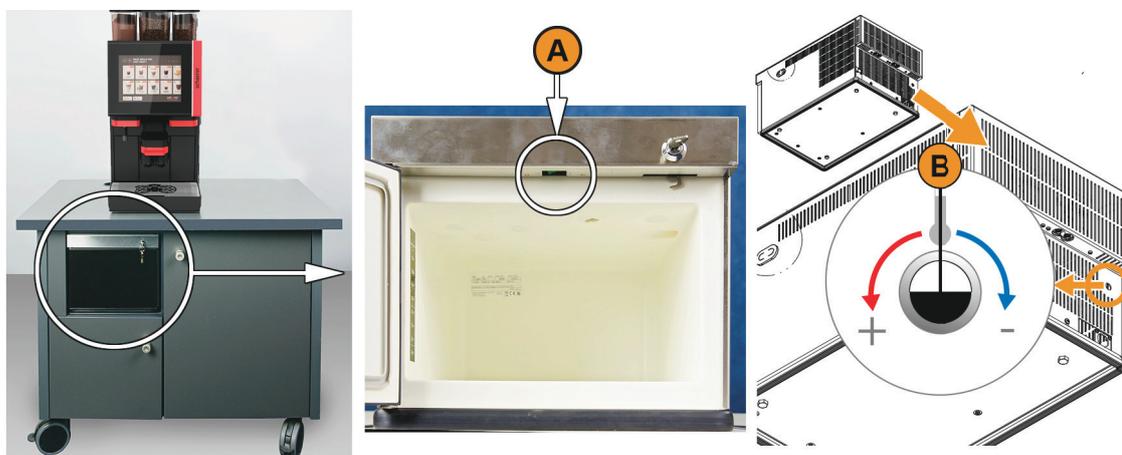


図: オン/オフスイッチ、カウンター下冷却ユニットのサーモスタット



この周辺機器については、別添の説明書「SCソウル 周辺機器」の詳細情報もご参照ください。

5.3.5 周辺機器 Flavour Point (シロップモジュール)

マシンにはオプションでシロップモジュール「Flavour Point」が搭載されており、4種類のフレーバーを楽しむことができます。

[A] オン/オフスイッチ

[B] シロップボトル用アダプター4個、またはクリーニングセットのホース4本を接続可能。



図: オン/オフスイッチ、ホースアダプター接続

5.4 スイッチを入れる前の点検

- ▶ マシンのスイッチを入れる前には以下の条件が満たされているか点検してください。

マシンのスイッチを入れるための条件:

- メイン水バルブ (給排水管接続) が開いている / 外部飲料水タンク (オプション) が新鮮な水で満たされていること。
- 廃水出口 (標準) が正しく取り付けられている / 廃水タンク (オプション) が接続されていること。
- コーヒー豆ホッパーは充填されていること。
- カス受けが空であり、正しく挿入されていること。
- コーヒーマシンは、国や地域の安全規制に従って、現場の電源に正しく接続されていること。

5.5 スイッチを入れます

5.5.1 コーヒーマシンのスイッチを入れる

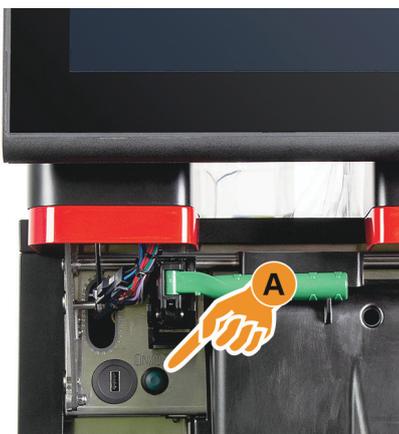


図: 電源ボタン コーヒーマシン

- ▶ マシンの主電源接続を確認してください。
- ▶ コントロールパネルのロックを解除し、上にスライドさせます。
- ▶ 電源ボタン [A] を短く押します。
 - ☑ マシンが起動します。
 - ☑ タッチスクリーンにユーザーインターフェイスが表示され、加熱が始まります。
 - ☑ 必要な温度に達すると、マシンの操作準備が完了します。
- ▶ コントロールパネルをもう一度閉じます。



「操作」 - 「コントロールパネル」 - 「コントロールパネルを開閉する」。の章を参照。



マシンの電源を初めてオンにした場合、ディスプレイに基づくマシン設定の設定とハードウェアの校正が自動的に実行されます。

5.5.2 個別冷却ユニットのスイッチを入れる(オプション)

- ▶ ドアを開きます。
- ▶ トグルスイッチ [A] を [I] の位置に切り替えます。
- ▶ [B] ボタンを±3秒押したままにします。
 - ☑ 機器はオンになっています。
 - ☑ 現在の室温がディスプレイに表示されます。

バリエーション：スタンバイモード

- ▶ [B] ボタンを±3秒押したままにします。
 - ☑ 冷却ユニットがスタンバイモードに切り替わります。

バリエーション：温度設定

- ▶ [C] ボタンを±3秒押したままにします。
- ▶ 温度設定3 ~ 5°Cを [B] ボタンを使って高く、または [D] ボタンを使って低く設定します。
- ▶ 設定を [C] ボタンで確定します。
 - ☑ 冷却ユニットが動作モードに切り替わります。
 - ☑ 現在の室温がディスプレイに表示されます。



図: 個別冷却ユニットのスイッチを入れ設定します



この周辺機器については、別添の説明書「SCソウル 周辺機器」の詳細情報もご参照ください。

5.5.3 Cup & Cool / カップウォーマーのスイッチを入れる(オプション)



注意

高温表面に注意! カップヒータートレイは高温になるため、火傷につながるおそれがあります。

カップヒータートレイを掃除する際は、マシンをオフにし、表面の温度が下がるまでお待ちください。

- ▶ トグルスイッチ [A] を [I] の位置に切り替えます。
- ▶ 必要に応じて背面 [C] のサーモスタットを調整します。
 - 冷却ユニットはオンになっています。
- ▶ トグルスイッチ [B] を [I] の位置に切り替えます。
 - カップヒータートレイはオンになっています。

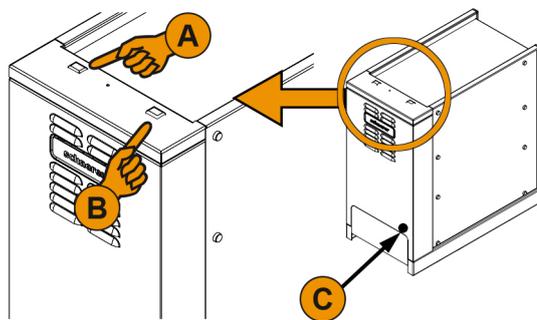


図: 周辺機器 Cup & Cool のスイッチを入れ設定する



この周辺機器については、別添の説明書「SCソウル 周辺機器」の詳細情報もご参照ください。



「操作」 - 「充填と接続」 - 「ミルク」。の章を参照。

5.5.4 下付け冷却ユニットのスイッチを入れます(オプション)

- ▶ ドアを開きます。
- ▶ トグルスイッチ [A] を [I] の位置に切り替えます。
- ▶ サーモスタット [B] を裏側の中央位置 [B] に合わせます。
 - 下付け冷却ユニットはオンになっています。

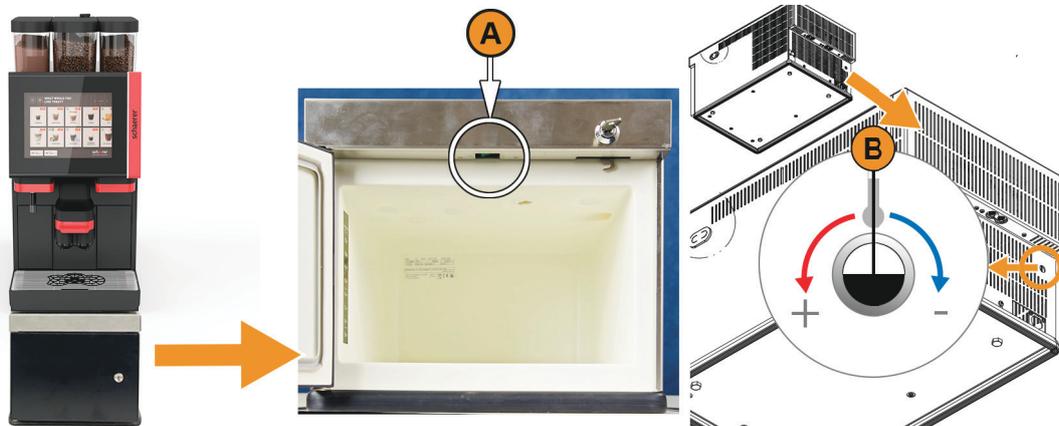


図: 下付け冷却ユニットのスイッチを入れ設定します



この周辺機器については、別添の説明書「SCソウル 周辺機器」の詳細情報もご参照ください。



「操作」 - 「充填と接続」 - 「ミルク」。の章を参照。

5.5.5 カウンター下冷却ユニットのスイッチを入れます(オプション)

- ▶ ドアを開きます。
- ▶ トグルスイッチ [A] を [I] の位置に切り替えます。
- ▶ サーモスタット [B] を裏側の中央位置 [B] に合わせます。
- ☑ カウンター下冷却ユニットはオンになっています。

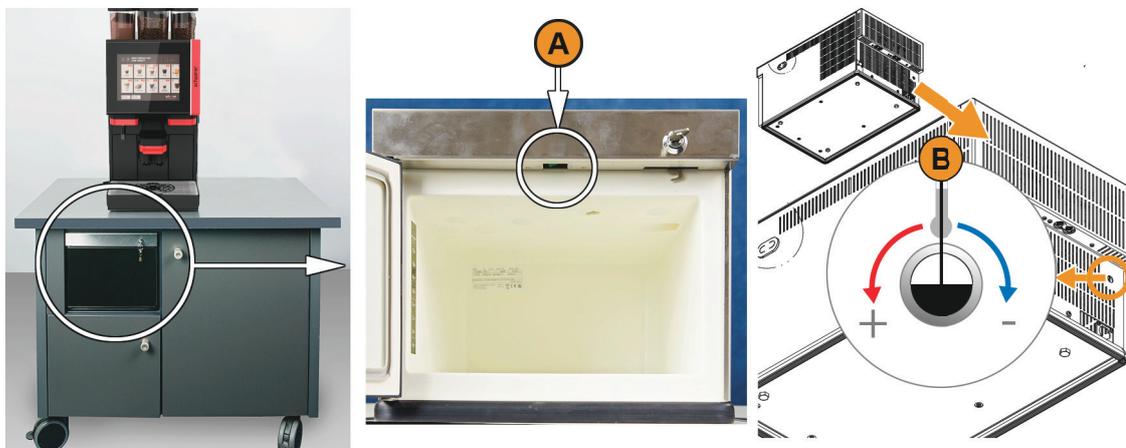


図: カウンター下冷却ユニットのスイッチを入れ設定します



この周辺機器については、別添の説明書「SCソウル 周辺機器」の詳細情報もご参照ください。



「操作」 - 「充填と接続」 - 「ミルク」。の章を参照。

5.5.6 Flavour Point (シロップモジュール) をオンにする(オプション)

- ▶ トグルスイッチ [A] を [I] の位置に切り替えます。
- ☑ シロップモジュール「Flavour Point」がオンになっています。



図: Flavour Point UCをオンにします

5.6 メイン画面のタッチスクリーン

5.6.1 ユーザーインターフェイスの概要

バリエーション：ゲストモード



事前に設定されたユーザーインターフェイス「ゲストモード」により、知識のないゲストによるコーヒーマシンの操作をサポートします。サービス技術者が個別に設定することも可能です。



図：標準ユーザーインターフェイス「ゲストモード」



図：飲料グループの選択があるユーザーインターフェイス「ゲストモード」

セルフサービスでの飲料の選択は順次行われます。
 動作モード > 「ゲストモード」が有効です。
 以下最高の数量のグループおよび飲料が利用可能です：

- 10個のタブ (グループ)
- 各タブ24個の飲料 (グループ)
- 最高 240個の飲料が利用可能

「ゲストモード」で利用できる機能：

[A] 最大240飲料フィールド (最高24飲料 X 10グループ) の表示

[B] 水平スクロール (矢印)

[C] サービスメニューへのアクセス

[D] 飲料グループの選択

飲料が提供されるまでのステップ：

- 希望の飲料ボタンを選択します
- コーヒーカップ/マグカップのサイズを決定します。
- コーヒーローストを選択します (オプション)
- 選択を確認します
- 支払い (支払いシステムを使用、オプション)
- マグカップ/コーヒーカップを配置するように促すプロンプト
- 注出を開始します
- コーヒー粉を入れます (個別に手動投入)
- 手動投入を確認します
- 飲料が注出されます
- 飲料注出の進捗状況の表示
- 飲料完了の表示

予告：サービス技術者は、以下の追加機能により、標準設定を拡張または縮小することができます。

- スクリーンセーバー [オン]
- [C] [サービスメニュー] フィールド表示 [オン]
- グループ選択 [D] (最高10グループの水平ナビゲーション [B] が可能) [オフ]
- 飲料の順次変更 [オンで固定]
- コーヒーカップ/マグカップを配置するように促すプロンプト [オン]
- 進捗状況の情報を表示します [オンで固定]
- 「飲料完了表示」の情報 [オン]



「操作」 - 「飲料選択」の章を参照。

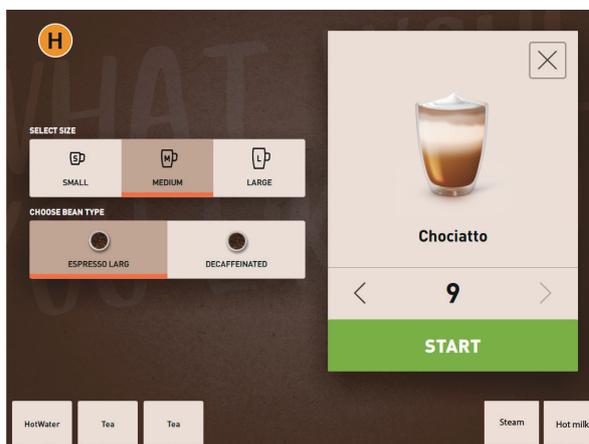
バリエーション：パーソナルモード



事前に設定されたユーザーインターフェイス「パーソナルモード」により、知識のある専門家（担当者）によるコーヒーマシンの操作を最適化します。サービス技術者が個別に設定することも可能です。



図：ユーザーインターフェイス「パーソナルモード」標準。



図：「パーソナルモード」での飲料オプション選択。

飲料の選択はスタッフが個別に行います。

- 動作モード > 「パーソナルモード」が有効です。

以下最高の数量のグループおよび飲料が利用可能です：

- 10個のタブ (グループ)
- 各タブ24個の飲料 (グループ)
- 最高 240個の飲料が利用可能

「パーソナルモード」で利用できる機能：

- [A] 各グループ最大24飲料フィールドの表示 (10グループまで可能)
- [B] 水平方向のワイプスクロール機能 (指)
- [C] 飲料フィルター (DECAF、2カップ)
- [D] サービスメニューフィールドの表示
- [E] 「バリスタ」 (コーヒー濃度) 事前選択 [オフ]
- [F] 追加で 最高3つの別の飲料 (左)
- [G] 追加で 最高2つの別の飲料 (右)
- [H] 飲料オプションの選択ウィンドウ
飲料が提供されるまでのステップ：

- 事前選択 (DECAF飲料または2カップなど)
- コーヒーの濃度 (バリスタ) の事前選択
- 希望の飲料ボタンを選択します
- 飲料オプションの決定
- 支払い (支払いシステムを使用、オプション)
- 注出を開始します
- コーヒー粉を入れます (個別に手動投入)
- 手動投入を確認します
- 飲料が注出されます
- 飲料注出の進捗状況の表示

予告：サービス技術者は、以下の追加機能により、標準設定を拡張または縮小することができます。

- ダブル注出する飲料の [C] フィールド [オン]
- カフェインフリーコーヒー (DECAF) の [C] フィールド [オン]
- コーヒーの濃度 (バリスタ) の [E] フィールド [オフ]
- 飲料の事前選択が可能 (数回注出) [オン]
- 事前選択された飲料数量の表示 [オフ]
- サービスメニューフィールドの表示 [オン]
- 「カップ配置」情報の表示 [オフ]
- 「進捗状況」情報の表示 [オフ]
- 「飲料完了」情報の表示 [オフ]

バリエーション：レギュラーユーザーモード



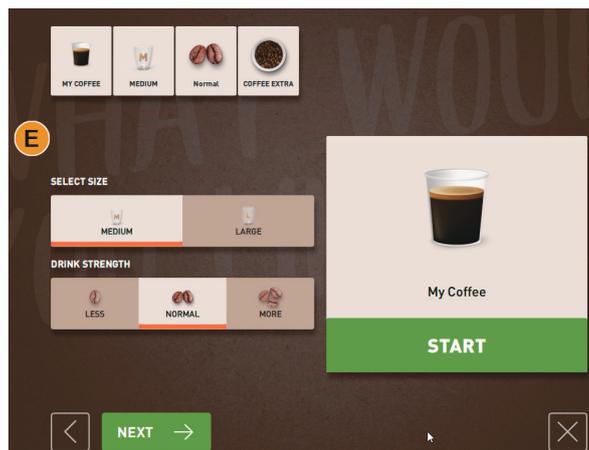
「操作」 - 「飲料選択」。の章を参照。



事前に設定されたユーザーインターフェイス「レギュラーユーザーモード」により、使い慣れている利用者（オフィスエリア）によるコーヒーマシンの操作をサポートします。サービス技術者が個別に設定することも可能です。



図：ユーザーインターフェイス「レギュラーユーザーモード」。



図：「レギュラーユーザーモード」での飲料オプション選択。



図：飲料グループの選択があるユーザーインターフェイス「レギュラーユーザーモード」

飲料の選択は順次行われます。

- 動作モード > 「レギュラーユーザーモード」が有効です。

以下最高の数量のグループおよび飲料が利用可能です：

- 10個のタブ (グループ)
- 各タブ24個の飲料 (グループ)
- 最高 240個の飲料が利用可能

「レギュラーユーザー」で利用できる機能：

- [A] 最大240飲料フィールド (最高24飲料 × 10グループ) の表示
- [B] 水平スクロール (矢印)
- [C] サービスメニューフィールドの表示
- [D] 追加で最大3つの別の飲料 (左)
- [E] 飲料オプションの選択ウィンドウ
- [F] 飲料グループの選択

飲料が提供されるまでのステップ：

- 希望の飲料ボタンを選択します
- コーヒーカップ/マグカップのサイズを決定します。
- コーヒーローストを選択します (オプション)
- 選択を確認します
- 支払い (支払いシステムを使用、オプション)
- マグカップ/コーヒーカップを配置するように促すプロンプト
- 注出を開始します
- コーヒー粉を入れます (個別に手動投入)
- 手動投入を確認します
- 飲料が注出されます
- 予告：サービス技術者は、以下の追加機能により、標準設定を拡張または縮小することができます。
- コーヒーの濃度 (バリスタ) の [E] フィールド [オン]
- スクリーンセーバー [オン]
- [C] フィールドのサービスメニュー表示 [オン]
- グループ選択 [F] (最高10グループの水平ナビゲーション [B] が可能) [オフ]
- コーヒーカップを配置するように促すプロンプト [オン]
- 「飲料完了表示」の情報 [オフ]

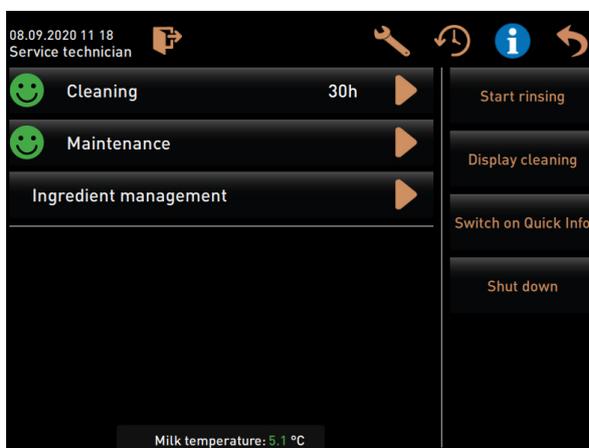


「操作」 - 「飲料選択」。の章を参照。

サービスマニューと機能



サービスマニューへのアクセスは、PINを使用してサービス技術者が保護できます。この設定されたPIN番号は、マシン担当者のPINに対応します。



機能と情報:

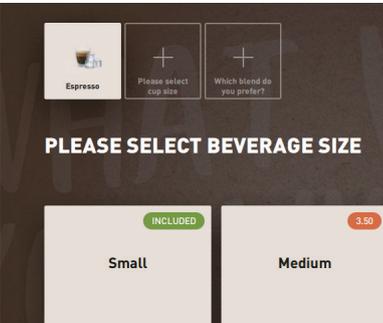
- 保留中のアクション要求 (クリーニング/カルキ抜き)
- 保留中のエラーメッセージ
- 原料管理
- 飲料注出の過程
- 直接選択機能
- プロフィールでログイン
- システム情報

詳細な説明については、「操作」 - 「メインウィンドウのタッチスクリーン」 - 「サービスマニューの概要」を参照してください。の章を参照。

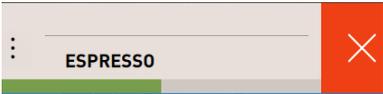
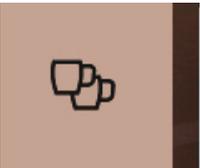
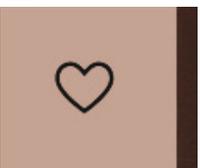
図: 「サービスマニュー」ビュー。

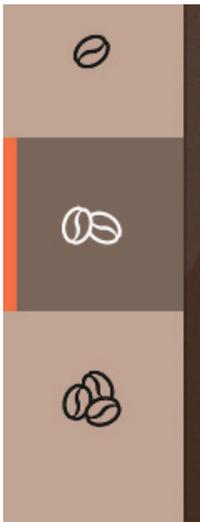
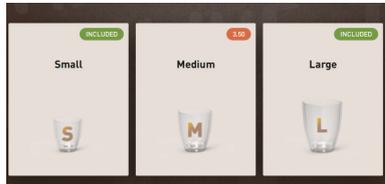
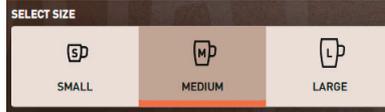
5.6.2 タッチスクリーンコントロールパネルの概要

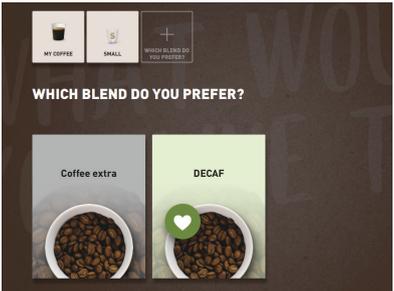
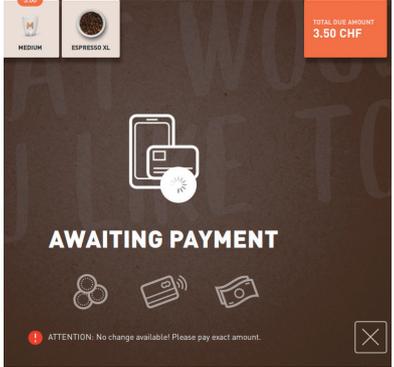
マーク	説明
<p>タブ</p>	<p>設定したメニューカードは、「パーソナルモード」では横長のタブとして表示されます。</p> <p><input type="checkbox"/> 動作モード > 「パーソナルモード」が有効です。</p> <p>以下の数量のタブおよび飲料が利用可能です:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 10個のタブ (グループ) • 各タブ24個の飲料 (グループ) • 最高 240個の飲料が利用可能 <p>メニューカードおよびタブにはサービス技術者が任意の名前をつけて任意に配置することが可能です。</p>
<p>スクロール</p>	<p>すべてのタブをスクロール (メニューカード)</p> <p>バリエーション: ゲストモード/レギュラーユーザーモード</p> <p><input type="checkbox"/> 動作モード「ゲストモード」または「レギュラーユーザーモード」が有効です。</p> <p>すべての飲料を以下の方法で表示:</p> <ul style="list-style-type: none"> • [矢印<] ボタンで左へスクロール • [矢印>] ボタンで右へスクロール • 点の数は、利用可能なメニューカードの数を示しています <p>バリエーション: パーソナルモード</p> <p><input type="checkbox"/> 動作モード「パーソナルモード」/「レギュラーユーザーモード」が有効です</p> <p>すべての飲料を以下の方法で表示:</p> <ul style="list-style-type: none"> • タップしてタブ (メニューカード) を直接選択 • タブをタップして左方向または右方向へふき取ります • タブ (メニューカード) の数は、直接認識できません <p>メニューカードおよびタブにはサービス技術者が任意の名前をつけて任意に配置することが可能です。</p>
<p>ふき取り</p>	<p>図: ゲストモード</p> <p>図: スタッフレギュラーユーザーモード</p>

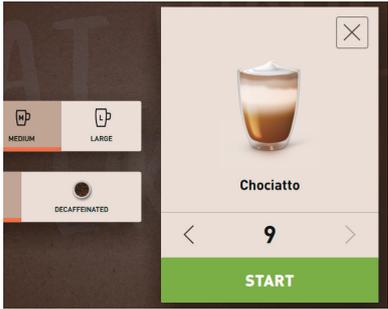
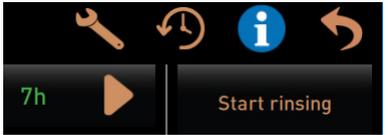
マーク	説明
<p>グループからの飲み物選択</p>  <p>図: ゲストモード/レギュラーユーザーモードでのグループ選択</p>	<p>バリエーション：ゲストモード/FrequentUserモード</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 動作モードでは、「グループ選択の表示」機能が有効です。 ▶ グループを1つ選択します <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> グループ(メニューカード)が飲料とともに表示されます。 <p>メニューカードおよびタブにはサービス技術者が任意の名前をつけて任意に配置することが可能です。</p>
<p>飲料ボタンのサイズ</p>  <p>図: 「小」および「特大」飲料ボタン</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 飲料ボタンのサイズは、メニューカードの設定で定義されます。 <p>利用可能な飲料ボタンのサイズ：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 小 • 標準 • 大 • 特大 • ダイナミック <p>メニューカードの設定はサービス技術者が行います。</p>
<p>マーク / 飲料ボタン</p> 	<p>飲料タブのさまざまな表示。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 飲料タブの表示は動作モードで設定されます。 <p>以下の飲料マークは、サービス技術者が設定することができます。</p> <p>[A] デフォルト設定(グラスでの表示) [B] コップ(コップでの表示)</p> <p>各飲み物ボタンには個別に1つの飲料を登録することができます。飲料ボタンは、対応する飲料注出や、追加の原料や飲料オプションの事前選択を開始します。</p> <p>飲料ボタンにはサービス技術者が任意の名前をつけて任意に配置することが可能です。</p>
<p>飲料の順次変更</p>  <p>図: 「ゲストモード」での順次選択</p>	<p>飲料の順次選択は、事前に選択可能な飲料オプションを次々と表示し、それぞれを別のウィンドウで選択するものです。</p> <p>「飲み物の順次変更」機能がない場合は、ウィンドウから飲料オプションを直接選択します。</p> <p>可能な飲料選択：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 飲料の種類(コーヒー、エスプレッソ、カプチーノなど) • 飲料のサイズ(S、M、L) • コーヒーの種類(2~3基のグラインダー) • ミルクの種類(TwinMilk) • チョコレート(パウダーシステムの場合) • フレーバー(Flavour Point シロップシステムの場合) <p>「飲み物の順次変更」は「ゲストモード」でのみ有効であり、無効にすることはできません。</p>

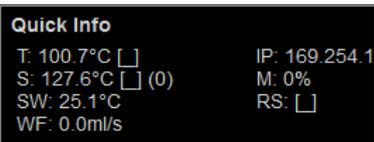
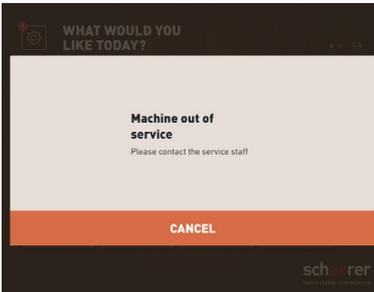
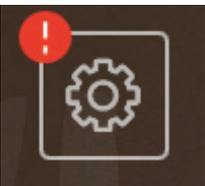
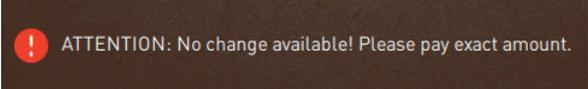
マーク	説明
<p>飲料原料の進捗状況の表示</p>  <p>図: 飲料の選択</p>  <p>図: 飲料サイズの選択</p>  <p>図: コーヒーの種類の選択</p>	<p>すでに選択されている飲料原料と、まだ選択されていない飲料原料について知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> この飲料は、さまざまな原料を使って注出するように設定されています。 <input type="checkbox"/> このような「飲料選択の進捗状況」の表示は、「ゲストモード」で使用可能です。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 飲料を選択します。 ▶ 原料を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 選択された原料は各マークによって表示されます。 <input checked="" type="checkbox"/> まだ選択されていない原料は空のフィールド [+] で知らせます。 <p>「飲料選択の進捗状況」表示を無効にすることはできません。</p>
<p>飲料原料の概要</p>  <p>図: 含まれる飲料原料</p>	<p>選択された飲料または含まれる飲料原料に関する情報。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> この飲料は、さまざまな原料を使って注出するように設定されています。 <input type="checkbox"/> このような「飲料選択の進捗状況」の表示は、「レギュラーユーザーモード」で使用可能です。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 飲料を選択します。 ▶ 原料を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 含まれる原料は各マークによって表示されます。 ▶ 飲料サイズなど原料の調整。 <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 新しく選択された飲料サイズが概要に表示されます。 <p>「飲料選択の進捗状況」表示を無効にすることはできません。</p>
<p>注出を開始します (選択を確認します)</p>  <p>図: 支払いシステムを使用しないで開始</p>  <p>図: 支払いシステムを使用して開始</p>	<p>飲料の注出は [開始]/[支払い] フィールドで開始します [開始] フィールドは飲料の事前選択中に表示され、飲料の注出が開始します。</p> <p>支払いシステムが有効になっている場合は、支払いのプロンプトが表示されます。</p> <p>バリエーション: 支払いシステムを使用しない [開始] フィールドで選択されたオプションを確定し、飲料の注出を開始します。</p> <p>バリエーション: 支払いシステムを使用する [支払い] フィールドで選択されたオプションを確定した後に支払いプロセスを開始します。 支払いが完了すると、[開始] フィールドを選択することにより飲料が注出されます。</p>
<p>ストップ</p> 	<p>[ストップ] フィールドは、飲料の注出を中断します。 飲料の注出中は [ストップ] フィールドに表示されます。現在注出されている飲料、そしてプレ選択されている飲料をこれによって削除することができます。</p>
<p>キャンセル</p> 	<p>[X] フィールドで飲料選択のユーザーインターフェイスに戻ります。 [キャンセル] フィールドは飲料オプションの選択中に表示されます。現在選択されている飲料、および事前選択されている飲料オプションをこれによってキャンセルすることができます。</p>

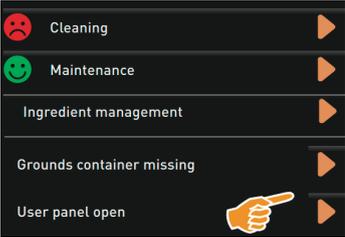
マーク	説明
<p>戻る / 次へ</p> 	<p>[>] / [<] フィールドで次のページに移動するか、前のページに戻ります。</p>
<p>進捗状況</p>  <p>図: 進捗状況 (ゲストモード)</p>  <p>図: 進捗状況 (パーソナルモード)</p>	<p>進捗状況表示バー (緑色のバー) は、飲料の注出中に残りの注出時間を知らせます。</p> <p>バリエーション：ゲストモード/レギュラーユーザーモード 動く緑色のバーは、デジタル圧力計を左から右へと180度半周します。 デジタル圧力計は、コーヒー抽出中に現在の水圧を知らせます。</p> <p>バリエーション：パーソナルモード 動く緑色のバーは水平に左から右へ移動します。</p>
<p>2カップの事前選択</p> 	<p>ダブル飲料の事前選択。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 「ダブルボタンの表示」機能は動作モード「パーソナルモード」で有効です。 <input type="checkbox"/> ダブル注出する飲料が設定されました。 <p>ダブル注出する飲料を有効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ [ダブル注出する飲料] フィールドを有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> ダブル注出する飲料用に設定されているすべての飲料は、ユーザーインターフェイスに選択可であることが表示されます。 <p>事前選択 [2カップ] は、サービス技術者が飲料設定で設定し、動作モード「スタッフモード」で非アクティブ化/アクティブ化できます。</p>
<p>カフェインフリーコーヒーの事前選択</p> 	<p>カフェインフリーコーヒーの事前選択。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 「DECAFボタン表示」機能は動作モード「パーソナルモード」で有効です。 <input type="checkbox"/> カフェインフリーの飲料を商品として扱うための条件は、グラインダーが2つ取り付けられており、そのうちのひとつがカフェインフリーのコーヒー豆に当てられていること、または... <input type="checkbox"/> マシンには、手動投入でカフェインフリーのコーヒー粉を充填します。 <p>事前選択 [カフェインフリーコーヒー] は、サービス技術者が飲料設定で設定し、動作モードで非アクティブ化/アクティブ化できます。</p> <p>バリエーション：2基めのグラインダー付き</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ [カフェインフリー] フィールドを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> カフェインフリーのコーヒー豆で設定されたすべての飲料を選択できます。 <p>バリエーション：コーヒー粉および手動投入</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ [カフェインフリー] フィールドを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 供給源として「DECAF」が設定されているすべての飲料を選択できます。 <input checked="" type="checkbox"/> 注出中に、カフェインフリーのコーヒー粉を追加するよう促されます。

マーク	説明
<p>バリスタの事前選択</p> 	<p>さまざまなコーヒー濃度の事前選択。</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 「バリスタ」機能は動作モード「パーソナルモード」で有効にできます。 □ 飲料は「バリスタ」オプションで設定されています。 <p>バリスタ ボタンで注出する飲料の濃度を変化させることができます。飲料の注出後、バリスタ ボタンは標準設定の「中」に戻ります。</p> <p>事前選択 [バリスタ] は、サービス技術者が動作モード「パーソナルモード」で非アクティブ化/アクティブ化できます。</p>
<p>カップサイズ S / M / L</p>  <p>図: 「ゲストモード」でのサイズ選択</p>  <p>図: 「パーソナルモード」でのサイズ選択</p>  <p>図: 「レギュラーユーザーモード」でのサイズ選択</p>	<p>希望するコーヒーカップ/マグカップサイズの選択。</p> <ul style="list-style-type: none"> □ この飲料は、さまざまなカップサイズで注出するように設定されています。 <p>飲料に複数のカップサイズが割り当てられている場合は、飲料の注出前にこれらを選択できます。</p> <p>事前選択 [カップサイズ] は、サービス技術者が飲料設定で設定し、各動作モードで利用可能です。</p>

マーク	説明
<p>飲料原料の選択</p>  <p>図: 原料の選択 (ゲストモード)</p>  <p>図: 原料の選択 (パーソナルモード)</p>  <p>図: 原料の選択 (レギュラーユーザーモード)</p>	<p>利用可能な飲料原料の選択。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> この飲料は、さまざまな原料を使って注出するように設定されています。 <input type="checkbox"/> 設定されている動作モードによって、選択される原料が異なります。 <p>原料は以下のように選択することができます：</p> <ul style="list-style-type: none"> • ゲストモード > 順次選択 (ステップバイステップ) • パーソナルモード > 原料の事前選択あり • レギュラーユーザーモード > すべての原料の直接選択 <p>事前選択 [原料] は、サービス技術者が飲料設定で設定し、非アクティブ化/アクティブ化できます。</p> <p>以下の原料が最高利用可能です：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 飲料の種類 (コーヒー、エスプレッソ、カプチーノなど) • 飲料のサイズ (S、M、L) • コーヒーの種類 (2基または3基のグラインダーの場合) • ミルクの種類 (TwinMilkを使用する場合) • チョコレート (パウダーシステムの場合) • フレーバー (Flavour Point シロップシステムの場合)
<p>飲料の価格表示</p>  <p>支払いのプロンプト</p> 	<p>バリエーション：支払いシステムを使用</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 支払いシステムが有効になっています。 <input type="checkbox"/> 飲料の価格が設定されています。 <p>▶ 飲料の注出を開始します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 支払いのプロンプトが表示されます。

マーク	説明
<p>配置</p> 	<p>飲料の注出中、マグカップ/コーヒーカップを置くための要求が表示されます。</p> <p>「カップ配置」プロンプトは、サービス技術者が動作モードで非アクティブ化/アクティブ化できます。</p>
<p>事前選択および数回注出</p> 	<p>すでに選択されている飲料の数回注出。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 事前選択は動作モードで有効になります。 <input type="checkbox"/> 動作モード「ゲストモード」では事前選択はできません。 <p>▶ 飲料を選択します。</p> <p>▶ 原料を選択します。</p> <p>▶ 矢印キー [<] 1~9 [>] で数回注出を設定します</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 飲料注出は最高9繰り返します <input checked="" type="checkbox"/> すべての注出の進捗状況が表示されます。 <p>「設定」 - 「動作モード」 - 「タッチスクリーンで事前選択を有効にする」の設定でパラメータをアクティブ化にすると、機能が利用可能になります。</p>
<p>飲料完了</p> 	<p>注出が終了すると、ディスプレイに表示されます。</p> <p>「設定」-「動作モード」の設定でパラメータをアクティブ化にすると、情報が表示されます。</p>
<p>サービスメニュー</p>  <p>図: サービスメニュー「ゲストモード」</p>  <p>図: パーソナルモードおよびレギュラーユーザーモードのサービスメニュー</p>	<p>サービスメニューへのアクセス。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ サービスメニューフィールド  を押します。 <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 「サービスメニュー」ウィンドウが開きます。 <p>カラーマーキングによる追加情報:</p> <ul style="list-style-type: none"> • フィールドの左上隅にあるオレンジ色のマーキング [!] は、保留中のマシンメッセージに関する情報を提供します。 • フィールドの右上隅にある赤い色のマーキングは、アクションが必要な保留中のエラーメッセージについて通知します。 <p>詳細については、「操作」 - 「タッチスクリーンのメインウィンドウ」 - 「サービスメニュー」を参照してください。の章参照。</p>
<p>サービスメニュー機能</p> 	<p>以下の直接選択機能は、サービスメニューで利用可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 加熱すぎ • ディスプレイのクリーニング (圧感応性を無効にします) • 「クイック情報」の有効化 • 無料販売 (有効な支払いシステムを使用) • スリープモードの有効化 <p>以下の「サービスメニューの機能」の説明も参照してください。</p>

マーク	説明
<p>クイック情報</p> 	<p>サービスメニューでのみ表示される「クイック情報」では、以下の情報が得られます：</p> <ul style="list-style-type: none"> • T > ボイラーの熱湯 (紅茶) の温度を [°C] で表示 • S > スチームボイラーの温度を [°C] で表示 • SW > スチームノズル (オプション) の温度を [°C] で表示 • WF > 必要な水量を [ml] で表示 • IP > ネットワークアダプタのアドレス (ソウル=1 アダプタ) • M > 使用可能なストレージスペース [%] • RS > 飲料の注出密度について知らせます (ラッシュアワーモード) <ul style="list-style-type: none"> • 1時間に30杯以上の飲料の場合に有効 • 有効な場合は、飲料注出口のすすぎが抑制されます • > RS[*]により有効モードが表示されます <p>「操作」 - 「サービスメニューの機能範囲」 - 「直接選択」 「クイック情報のオン/オフ」。の章を参照。</p>
<p>ディスプレイメッセージ (シンプル)</p> 	<p>エラーメッセージやプロンプトは、設定されている動作モードに応じてディスプレイに異なる表示がされます。</p> <p>バリエーション：「シンプル」 (ゲストモード)</p> <p>動作モードでの「シンプル」設定のゲストモードのディスプレイメッセージ</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> コーヒーマシンは操作可能状態ではなくなりました。 <input checked="" type="checkbox"/> 「サービス担当者にお知らせください」というプロンプトが表示されます。 <p>モード特定のディスプレイメッセージは、動作モードが「ゲストモード」の場合のみ表示されます。</p>
<p>ディスプレイメッセージ (特定)</p> 	<p>バリエーション：「特定」 (パーソナルモード/レギュラーユーザーモード)</p> <p>動作モードでの「特定」設定のスタッフまたはレギュラーユーザーモードのディスプレイメッセージ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> アクションの要求やエラーは直接表示されます。 <input checked="" type="checkbox"/> コーヒーメーカーの操作可能状態は、単独でも回復できる可能性があります。 <p>モード特定のディスプレイメッセージは、動作モードが「パーソナルモード」および「レギュラーユーザーモード」の場合に表示されます。サービス技術者は設定をエラーメッセージに変更することができます。</p>
<p>保留中のエラー/障害メッセージまたはアクションの要求</p> 	<p>エラー/障害メッセージは、上部または下部のユーザーインターフェイスに表示されます。エラー/障害メッセージがアクティブな場合は、ユーザーまたはサービス技術者による介入が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ [エラー/障害メッセージ] フィールドを選択します。  <p>図: エラー/障害メッセージ</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> サービスメニューが表示されます。 ▶ サービスメニューの [>] フィールドで保留中のエラー/障害メッセージを選択します。 <input checked="" type="checkbox"/> 追加情報を含む「スマート情報」ウィンドウが表示されます。 <p>詳細については、「トラブルシューティング」 - 「スマート情報ウィンドウ」を参照してください。の章参照。</p>

マーク	説明
<p>エラー/障害メッセージまたは操作を開きます</p> 	<p>サービスメニューで [▶] フィールドは保留中の操作またはエラー/障害メッセージのウィンドウを開きます。</p>  <p>図: 「サービスメニュー」のエラー/障害メッセージ</p>
<p>サービスメニュー内での確認</p> 	<p>[確認] フィールドは、保留中のアクションを開始するか、表示されたアクション要求を確認します。</p>
<p>サービスメニュー内での次へおよび確認</p> 	<p>このフィールドでは、クリーニング、カルキ抜き、またはグラインダーサービスのディスプレイガイド付きステップをステップごとにガイドします。</p>

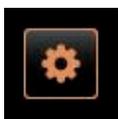
5.6.3 プロフィール [ログイン/ログアウト]

機能とパラメータへのアクセス権は、それに応じて各プロフィールに適合します。



「プログラミング」 - プロフィールの詳細な概要と説明については、たとえば「管理担当者プロフィール」の章参照。

バリエーション：PIN入力のないサービスメニューへのアクセス



- ▶ ユーザーインターフェイスの左下にある [サービスメニュー] フィールドを選択します。
- ☑ サービスメニューは、最後にアクティブ化されたユーザープロフィールがある場合、またはアクティブなプロフィールがない (ログインしていない) 場合に開きます。

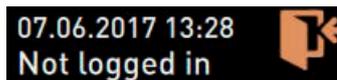


図: プロフィールは登録されていません

バリエーション：PIN入力によるサービスメニューへのアクセス



- ☐ サービスメニューへのアクセスは、サービス技術者が設定したPINによって保護されています。
- ▶ ユーザーインターフェイスの左下にある [サービスメニュー] フィールドを選択します。
- ☑ PINを入力するための数字キーパッドが表示されます。
- ▶ 設定したPINを入力して確認します。
- ☑ サービスメニューは、アクティブなユーザープロフィールなしで開きます。
- ☑ 「無料販売」を除くすべての直接選択機能を選択できます。
- ☑ 「情報」 - 「バージョンを表示」は設定で利用できます。

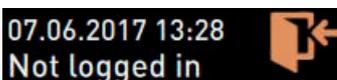


図: プロフィールは登録されていません

アクセスプロフィール概要ウィンドウ



サービスメニューを閉じると、現在ログインしているプロフィールが保持されます。ログインプロフィールは、[ログアウト] フィールドがアクティブ化された後、または再起動後にログアウト (Log-out) されます。



図: ログアウトフィールド

- ▶ 上のサービスメニューの [ログイン] フィールドを選択してください。
 - サービス技術者によって構成されたプロフィールのウィンドウが開きます。
 - PINで保護されたプロフィールには、ロック記号が付いています。

次のプロフィールは、サービス技術者が利用できるようにすることができます。

- 管理担当者
- 会計担当者
- 会計担当者 (縮小版)
- 設備管理人
- 品質管理マネージャー
- マシン担当者



図: プロフィール概要ウィンドウ

ロックが付いているプロフィールはPINで保護されています。

バリエーション: 保護されていないプロフィールを有効にする

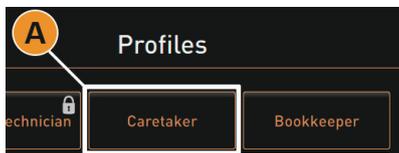


図: PINなしのプロフィール

- ▶ 希望する保護されていないプロフィール [A]、例えば [管理担当者] を選択します。
 - サービスメニューは、アクティブな「管理担当者」プロフィールとともに表示されます。
 - サービスメニューで使用できる機能は、選択したプロフィールに対応しています。

24.08.2017 14:22
Caretaker



図: プロフィール管理担当者がアクティブ



「プログラミング」-個々のプロフィールの機能の詳細については、「プロフィール」を参照してください。の章参照。

バリエーション：保護されたプロフィールを有効にする



図: PIN付きのプロフィール

- たとえば、「オペレーター」プロフィールなどのフィールドは、PINで保護され、ロック記号でマークされています。
- ▶ [オペレーター] [B] などの保護されたプロフィールを有効にします。
 - ☑ PINを入力するためのナンバーパッドが開きます。
 - ▶ 設定したPINを入力して、[OK] [C] で確定します。
 - ☑ 選択したプロフィールのサービスメニューが表示されます。

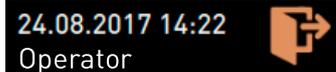
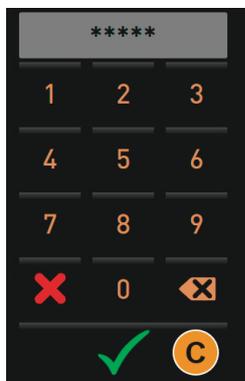


図: プロフィールオペレーターがアクティブ



サービス技術者はプロフィールを有効にできません。各プロフィールには特定の権限があります。プロフィールを使用したログインは、PINで保護できます。サービス技術者はPINを構成し、それをプロフィールに割り当てることができます。



「プログラミング」-特定の機能の詳細については、「プロフィール」を参照してください。の章参照。

プロフィールのログアウト



図: ログアウトフィールド

- ▶ 上のサービスメニューの [ログアウト] フィールドを選択してください。
 - ☑ 現在ログインしているプロフィールはログアウトされます。
 - ☑ 承認は適用されません。
 - ☑ サービスメニューに「ログインしていません」と表示されます。

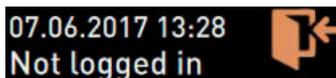


図: アクティブなプロフィールはありません

5.6.4

サービスメニューの概要

サービスメニューのコントロールパネル



ユーザーインターフェイスでは、サービスメニューのコントロールパネルに、保留中の情報やエラーメッセージに関する情報が既に表示されています。

コントロールパネルのカラーコード [サービスメニュー]:

- [カラーコードなし] [A] サービスメニューで保留中のメッセージはありません。
- [オレンジ] [B] は、サービスメニューの保留中の情報に関する情報を提供します。
- [赤] [C] は、サービスメニューで保留中のエラーメッセージまたはアクション要求について通知します。

サービスマニューの機能



- ▶ ユーザーインターフェイスの左下にある [サービスマニュー] フィールドを選択します。

サービスマニューが表示されます。

保留中のメッセージ:

[A] クリーニングステータスとクリーニング開始の [▶] フィールド

[B] メンテナンスとメンテナンスを実行するための [▶] フィールド

[C] 原料管理

[D] 保留中エラーメッセージおよびアクション要求

[E] コントロールパネル 直接選択

- 1 [すすぎの開始]
- 2 [タッチスクリーンのクリーニング] (30 秒)
- 3 [クイック情報 オン/オフにする]
- 4 [無料販売をオンにする] (有効な支払いシステムを使用)
- 5 [オフにする]

[F] [戻る] はユーザーインターフェイスに戻ります

[G] [情報] QRコード (クイックレスポンスコード) を含むシステム情報

[H] [飲料注出の過程] 注出飲料一覧

[I] [設定] はマシン設定につながります

[J] [ログイン/ログアウト] プロフィールの選択とプロフィールのログイン/ログアウト。

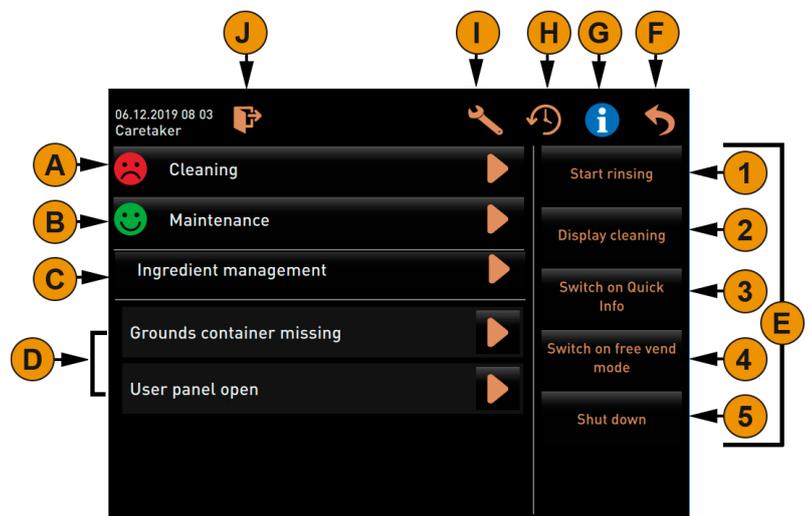


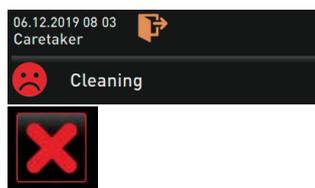
図: サービスマニューウィンドウを表示



マシンの再起動中にエラーが検出された場合、サービスマニューが直接表示されます。

5.6.5 サービスマニュー 機能範囲

クリーニング



PINで保護された機能 (管理担当者、オペレーター、サービス技術者)。

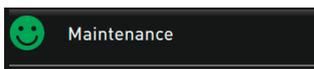
- ▶ [クリーニング] フィールドを選択します。

- ディスプレイガイドによるクリーニングが開始します。
- [X] フィールドからのキャンセルが可能です。
- 最後に実行されたクリーニングが表示されます。

メンテナンス



一般的に、[緑色のスマイルマーク] はクリーニングが完了したことを通知します。[赤いスマイルマーク] は、保留中のクリーニングについて通知します。



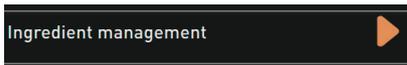
PINで保護された機能 (管理担当者、オペレーター、サービス技術者)。

- ▶ 表示されたメンテナンスに従います。
- ▶ [メンテナンス] フィールドを選択します。
 - [X] フィールドからのキャンセルが可能です。
- ▶ メンテナンスを確認します。
 - 確認済みのメンテナンスは、日付と [緑のスマイルマーク] とともに表示されます。



通常、[赤いスマイルマーク] は保留中のメンテナンスについて通知します。[緑色のスマイルマーク] は、メンテナンスが実行され、保留中でないことを示します。

原料管理



原料管理では、ミルクシステムなどの利用可能な添加物を非アクティブ化/アクティブ化できます。

添加物 [Flavour1~4] (シロップ1~4)では、ディスプレイガイド付きボトル交換も開始できます。

バリエーション： 添加物の非アクティブ化/アクティブ化

- ▶ [原料管理] フィールドを選択します。
 - 有効な添加物のウィンドウが開きます。
- ▶ 「操作」の下の[オン/オフ]フィールドを選択します。
 - 添加物は非アクティブ化/アクティブ化されます。
- ▶  フィールドを選択して、サービスメニューに戻ります。



図: 原料管理ウィンドウ



バリエーション： ボトル交換 シロップ

- ▶ [原料管理] フィールドを選択します。
 - ☑ 有効な添加物のウィンドウが開きます。
- ▶ シロップの種類 [1~4]、「操作」で[ボトル交換]を選択します。

Ingredient / Source	State	Action
Milk system	OFF	ON
Flavour 1 - No ingredient...	ON	Exchange bottle 
Flavour 2 - No ingredient...	ON	Exchange bottle

図: 原料管理ウィンドウ

- ☑ ボトル交換のためのディスプレイガイド付きの手順は、別のウィンドウ「ボトルの交換」で開きます。
- ☑ 以前に選択したシロップホースが空になります。
- ▶ Flavour Pointで空のボトルのパヨネットロックを取り外し、ボトルアダプタでホースを完全に洗浄します。
- ▶  フィールドで実行されたクリーニングを確認します。
- ▶ 洗浄したホース付きのボトルアダプタを新しいシロップボトルに挿入します。
- ▶ パヨネットロックをFlavour Pointに再接続します。
- ▶ [ポンプを始動] フィールド、[ポンプを停止]の順に選択して、ホースに充填します。

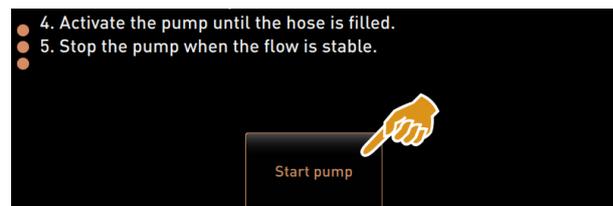
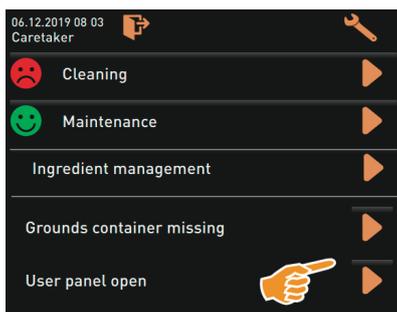


図: 原料管理ウィンドウ

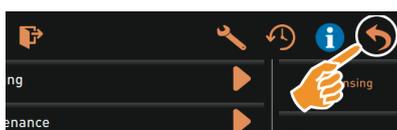
- ▶ ホースの充填を  フィールドで確認します。
- ☑ 「ボトル交換」ウィンドウが閉じ、ユーザーインターフェイスが表示されます。

エラー/障害メッセージまたはアクションの要求



- ▶ [] フィールドで保留中のメッセージを選択します。
 - ☑ 保留中の要求は別のウィンドウに表示されます。
 - ☑ 保留中のエラー/障害メッセージが別のウィンドウに表示され、説明されます。
- ▶ 保留中のメッセージを修正するか、アクションの要求を実行します。
 - ☑ エラー/障害メッセージまたはアクションの要求は、リストから自動的に削除されます。
 - ☑ サービス技術者は、メインメニューの「情報」 - 「エラーの統計」にイベントの概要を表示します。

ユーザーインターフェイスに戻る



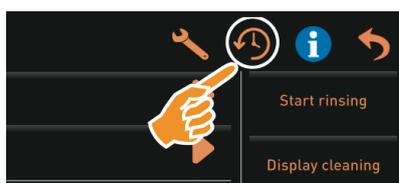
- ▶ [] フィールドは、ユーザーインターフェイスに戻ります。
- ▶ [戻る] フィールドを選択します。
 - ☑ ユーザーインターフェイスが表示されます。
 - ☑ ログインしているプロフィールはログアウトされます。

システム情報



- ▶ フィールドを選択します。
- ☑ システム情報は別のウィンドウに表示されます。
- ☑ また、システム情報を記載したQRコードが表示されます。

飲料注出の過程



- ▶ フィールドを選択します。
- ☑ ウィンドウが開き、すでに注出されているすべての飲料がリストに表示されます。
- ☑ さらに、各注出に対応する飲料注出時間が表示されます。
- ☑ 純粋な飲料 流下時間 (コーヒー) は、リストの右側に表示されま

Beverage dispensing history			
08.11.19 08:12	Tea	9.3s	12s
08.11.19 08:11	Mein Kaffee	30.9s	15s
08.11.19 08:10	Espresso	25.2s	12s

コーヒーの2カップの純粋な流下時間は10~15秒 で、1カップの場合は 約20 ~ 25 秒である必要があります。しかし、これはあくまでも目安であり、粉碎量、粉碎度、水温、コーヒーの種類などの要因によって異なる場合があります。

設定



PINで保護された機能。

- ▶ フィールドを選択します。
- ☑ 「設定」が表示されます。
- ☑ これにより、パラメータ設定が可能になります。

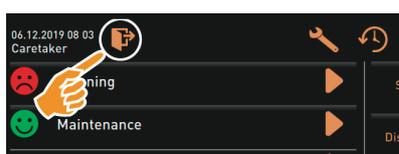


パラメータ設定のアクセス許可は、ログインしているプロフィールによって異なります。



詳細な説明については、「プログラミング」の章を参照してください。の章を参照。

ログイン/ログアウト

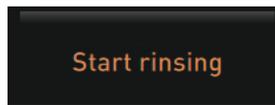


ログインおよびプロフィールの選択。

- ▶ フィールドを選択します。
- ☑ プロフィールを選択するためのウィンドウが開きます。

詳細な説明については、「操作」 - 「メインウィンドウのタッチ」 - 「ログインとログアウト」を参照してください。の章参照。

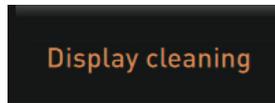
直接選択 [すすぎの開始]



- ▶ [すすぎの開始] フィールドを選択してください。
 - ☑ ホットリンスは、すべてのシステム (コーヒーシステム、ミルクシステム、またはパウダーシステム) に対して実行されます。
 - ☑ キャンセルはできません。

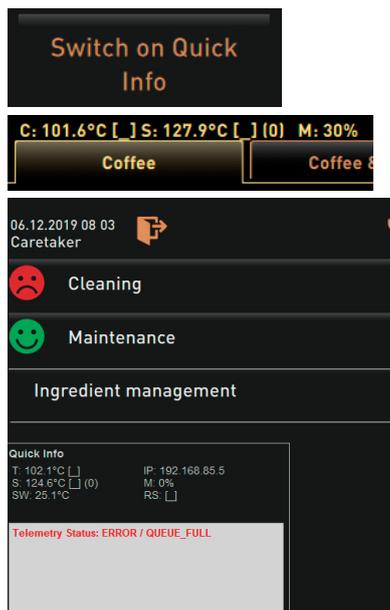
「クリーニング」 - 「すすぎの間隔」。の章参照。

直接選択 [タッチスクリーンのクリーニング]



- ▶ [タッチスクリーンのクリーニング30 秒] フィールドを選択します。
 - ☑ ディスプレイは30 秒の間鈍感なままで、掃除することができます。

直接選択 [クイック情報 オン/オフ]

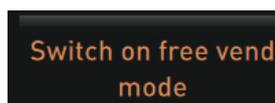


- ▶ [クイック情報 オン/オフにする] フィールドを選択します。
 - ☑ クイック情報ウィンドウは、ユーザーインターフェイスの左上に表示されます。
 - ☑ クイック情報ウィンドウには、ホットコーヒー (C)、ホットティーマシン (T) およびスチーム (S) のボイラー温度に関する情報が表示されます。
 - ☑ [SW] は廃水の温度を知らせます。
 - ☑ (M:xx%) は使用されている作業メモリーに関する情報を提供します。

サービスメニューの「クイック情報」ウィンドウには、追加のテキストウィンドウ [A] が含まれています。

テキストウィンドウには、テレメトリがアクティブな場合の接続制御などの現在のステータスメッセージが含まれます。

直接選択 [無料販売をオンにする] (支払いシステムを使用)



- ▶ [無料販売をオンにする] フィールドを選択します。
 - ☑ 有料ドリンクは無料販売できます。
 - ☑ [無料販売をオンにする] フィールドには、サービス技術者、会計担当者、および管理担当者がアクセスできます。

直接選択 [スイッチを切る]



- ▶ [スイッチを切る] フィールド [F] を選択します。
 - ☑ マシンがシャットダウンします。
 - ☑ マシンの電源はオフになっていますが、電源はオフにされていません。
 - ☑ ディスプレイは空白で非アクティブです。

5.7 充填と接続



補充する際には特に最高、タンクの中身がタンクのカバーに触れないくらいを限度としてください。

5.7.1 コーヒー豆

**警告**

切り傷! グライNDER内の回転する粉碎ディスクによる怪我の危険。

絶対にマシンのスイッチが入った状態でコーヒー豆ホッパーに手を入れないでください。

**指示**

目詰まりおよびブロックの危険! 異物が入り込むことで、グラインダーの目詰まりやブロック、またはグラインダー装置の破損につながるおそれがあります!

コーヒー豆ホッパーには絶対にコーヒー豆以外の物を入れないでください。

コーヒー豆ホッパーの充填



必要に応じて、コーヒー豆ホッパー、容器、およびコーヒーオイルの残留物のフタをきれいにしてから充填してください。



コーヒー豆ホッパーのロックを解除するための「操作」 - 「マシン上の制御要素」 - 「マシン内の制御要素」。の章参照。

- ▶ コーヒー豆ホッパーのフタを取り外します。
- ▶ コーヒー豆ホッパーを充填します。最大充填量に注意してください。
- ▶ フタでコーヒー豆ホッパーを閉じてロックします。
 - ☑ コーヒー豆ホッパーは、充填され、ロックされています。
 - ☑ コーヒー豆はフタに触れません。



図: 最高充填量付きのコーヒー豆ホッパー

5.7.2 水

固定配管接続

**指示**

給水の閉鎖! ウォーターポンプの空運転により、マシンに損傷がおよぶおそれがあります。

マシンのスイッチを入れる前には、必ず給水のメイン水バルブ（給水栓）が開いていることを確認してください。

- ▶ メイン水バルブの栓を開けます。



保証規定より、毎日営業終了後にはメイン水バルブを閉めるよう推奨されています。

オプション: 外部飲料水タンク



- ▶ 毎日、外部飲料水タンクを真水で十分に洗い流してください。
- ▶ 飲料水タンクのカバーを清潔な水で何回も洗浄します。
- ▶ 使用前に飲料水タンクに新鮮な飲料水を入れます。
- ▶ 飲料水タンクを再び取り付けます。



補充した飲料水が閉じた飲料水タンクのフタに触れないように注意してください!

5.7.3

マシン用パウダー(オプション)



警告

指をはさむ危険! 回転するスクリュードドライブによって怪我をするおそれがあります!
絶対に装置のスイッチが入った状態でパウダーケースに手を入れないでください。



指示

マシン用パウダー! 許可されていないパウダーの投入により、目詰まりを起こすおそれがあります!
絶対にマシン用パウダー以外の物はパウダーケースに入れしないでください。



補充されたチョコまたはトッピングパウダーが閉じたパウダー ケースの蓋に触れないように注意してください!

パウダーホッパーの充填

- ▶ パウダーホッパーからフタを外します。
- ▶ 慎重にパウダーホッパーを補充します。
- ▶ パウダーホッパーのフタを元に戻します。
 - ☑ パウダーはフタに触れません。



図: 最高充填量付きのパウダーホッパー。



パウダーホッパーのロックを解除するための「操作」 - 「マシン上の制御要素」 - 「マシン内の制御要素」。の章参照。

5.7.4 ミルクシステム Best Foam™(オプション)

**注意**

感染リスク! ミルクポンプの不純物は健康上の問題につながる可能性があります。

- ▶ 設置、試運転、または再試運転の後、クリーニングを実行する必要があります。
- ▶ 最初の飲料が注出される前に、ディスプレイガイド付きクリーニングプログラムを実行します。



「クリーニング」 - 「毎日のマシンクリーニング」 - 「ディスプレイガイド付きクリーニングプログラム」。の章参照。

個別冷却ユニットまたは下付け冷却ユニット

- ▶ 個別冷却ユニットのドアを開きます。
- ▶ ミルクコンテナのフタからミルクホース [A] のアダプタを取り外します。
- ▶ ミルクコンテナ [B] を引き出し、フタを持ち上げます。
- ▶ ミルクコンテナ、ライザーパイプ、フタを新鮮な水ですすいでください。
- ▶ ミルクを充填し、最大充填量 [C] 10 l を守ってください。
 - ☑ ミルクはフタに触れません。
- ▶ フタ付きのミルクコンテナを閉じて、個別冷却ユニットに戻します。
- ▶ ミルクホースのアダプタをミルクコンテナのフタに挿入します。
- ▶ 冷却ユニットのドアを閉じます。

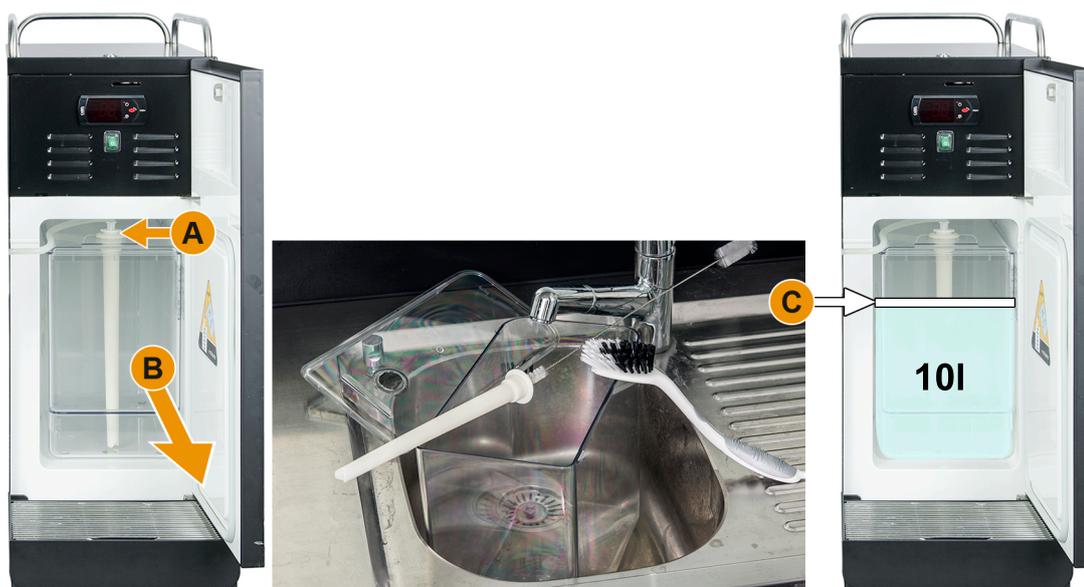


図: 冷却ユニットの補充



冷却温度が 3 ~ 5°C が定期的に点検してください。



「操作」 - 「スイッチオン」 - 「個別冷却ユニットまたは下付け冷却ユニット」。の章参照。

Cup & Cool、下付け冷却ユニットおよびカウンター下冷却ユニット

**指示**

予冷したミルク! Cup & Cool の冷却ユニットは、温かいミルクを冷却することはできません。

ミルクを補充する際は、必ず 3 - 5 °C に予冷したミルクを使用してください。

- ▶ 個別冷却ユニットのドアを開きます。
- ▶ ミルクコンテナのフタからミルクホース [A] のアダプタを取り外します。
- ▶ ミルクコンテナ [B] を引き出し、フタを持ち上げます。
- ▶ ミルクコンテナ、フタ、ライザーパイプを新鮮な水ですすいでください。
- ▶ ミルクを充填し、その際、最大充填量に注意してください。

容量：

- Cup & Cool ミルクコンテナ = 最高4 l
 - 下付け冷却ユニット (UM-KE) ミルクコンテナ = 最高9.5 l
 - カウンター下冷却ユニット (UC-KE) ミルクコンテナ = 最高9.5 l
- ▶ フタ付きのミルクコンテナを閉じて、個別冷却ユニットに戻します。
 - ▶ ミルクホースのアダプタをミルクコンテナのフタに挿入します。
 - ▶ 冷却ユニットのドアを閉じます。

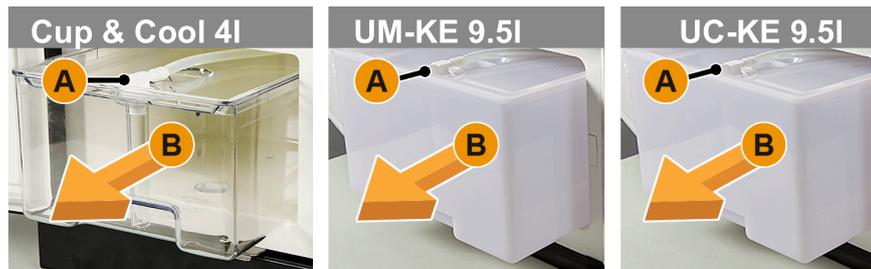


図: ミルクの補充で利用可能なオプション



冷却温度が 3 ~ 5°C が定期的に点検してください。



「操作」 - 「スイッチオン」 - 「個別冷却ユニットまたは下付け冷却ユニット」。の章参照。

5.7.5

Flavour Point (シロップモジュール) を充填するか、ボトルの交換をする(オプション)

- ▶ シロップボトル (最高 4本) をFlavour Pointに置きます。
- ▶ ボトルからフタを外し、チューブ [B] 付きのストッパー [A] をボトルに挿入します。
- ▶ ストッパー [A] をしっかりとボトルに押し込みます。
- ▶ アダプタ [C] をFlavour Pointに挿入し、右に回してパヨネットキャッチをロックします。
- ▶ すべてのシロップボトルについて上記の手順を繰り返します



図: 補充またはボトル交換 Flavour Point



シロップボトルを接続した後、シロップチューブからの充填が必要です。これには、「原料管理」ルーチンが使用されます。



「操作」 - 「メインウィンドウのタッチスクリーン」 - 「サービスメニュー、機能範囲」 - 「原料管理」の章を参照。

5.8 飲料注出口およびコーヒーカップの配置



AHA（自動調整式飲料注出口）は、事前に選択した飲料に適した高さに注出口を自動的に調整します。



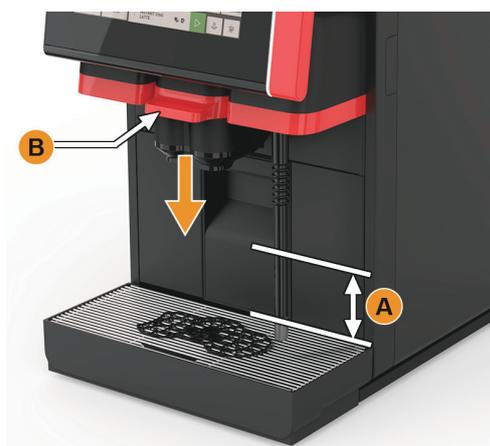
図: グリップオプション [A] 付きの手動飲料注出口。



図: グリップオプションのない自動飲料注出口「AHA」。

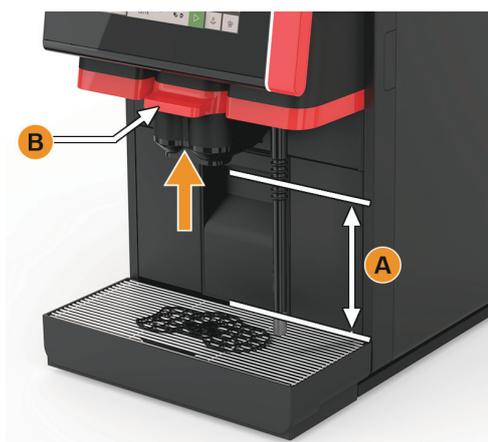
5.8.1 飲料注出口の配置 (手動の飲料注出口の場合)

下部位置の飲料注出口 [A] たとえば、エスプレッソの場合は65 mm



- ▶ ハンドル [B] の飲料注出口をコーヒーカップまで動かします。

高い位置にある飲料注出口 [A] たとえばラテ マキアートの場合、185 mm



- ▶ ハンドル [B] の飲料注出口を完全に押し上げます。
- ▶ ハンドル [B] の飲料注出口をコーヒーカップまたはグラスまで動かします。

5.8.2 カップ位置決めツール

カップ受けの位置決めツール

以下のカップ受けの位置決めツールをカップ受けに挿入することができます。

- 1カップ注出用の位置決めツール シングル (オプション)
- 2カップ注出用の位置決めツール ダブル (標準)

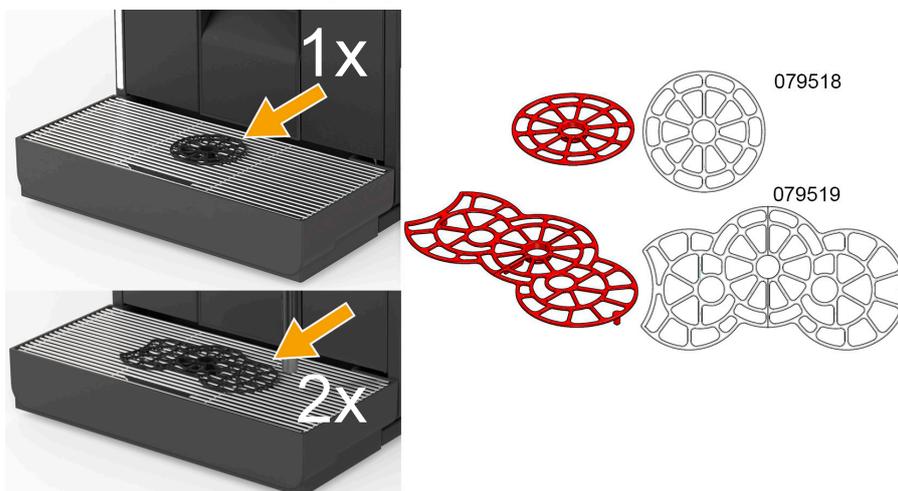


図: カップ位置決めツールの製品番号

位置決めツールはカップ受けにカチツとはめ込むことができます。

- ▶ 位置決めツールをカップ受けにカチツとはめ込みます。
 - ☑ 1カップ用の (中央) 位置決めツールは、飲料注出口の中央に合わせてあります。
 - ☑ 1カップ用の (中央) 位置決めツールは、マシンの後方に配置されています。
 - ☑ 外部熱湯注出用の位置決めツールの凹部は左側になります。

1カップ



図: シングル飲料の位置

- ▶ コーヒーカップまたはグラスを位置 [A] に配置します。

2カップ



図: 2カップの位置

- ▶ コーヒーカップまたはグラスを位置 [A] および [B] に配置します。

オプション: 熱湯の外部注出



図: 左側の熱湯注出位置

- ▶ 個別の熱湯注出用にコーヒーカップまたはグラスを位置 [A] に配置します。
熱湯やスチーム注出はお客様の仕様に合わせて左でも右でも利用可能です。

オプション: スチーム注出



図: 右側のスチーム注出位置

- ▶ スチームノズル下のピッチャーを位置 [A] に配置します。熱湯やスチーム注出はお客様の仕様に合わせて左でも右でも利用可能です。



「製品の説明」 - 「一般アクセサリ」内の「納入品目」 - 「カップ位置決めツール」。の章を参照。

5.9 飲料の選択

5.9.1 飲料選択の概要

**注意**

感染リスク! ミルクポンプの不純物は健康上の問題につながる可能性があります。

- ▶ 設置、試運転、または再試運転の後、クリーニングを実行する必要があります。
- ▶ 最初の飲料が注出される前に、ディスプレイガイド付きクリーニングプログラムを実行します。



「クリーニング」 - 「毎日のマシンクリーニング」 - 「ディスプレイガイド付きクリーニングプログラム」。の章参照。



使用可能なメニューカード (タブ) とそこに含まれる飲料の選択と数は、選択した動作モード「標準」または「カスタム」によって異なります。動作モードは、サービス技術者が事前に選択して個別に設定できます。

**指示**

給排水管接続なしの制限! 外部飲料水タンクを備えたマシンは飲料の選択に制限があります。

外部飲料水タンクでは冷たい飲料をご利用いただけません!

パウダードリンクは、外部飲料水タンクを用いて常に熱い状態で提供されます。設定温度に左右されません。



飲料選択は、5~40 秒 操作がないと自動的にキャンセルできます。別の飲料選択のユーザーインターフェイスが表示されます。期間は、サービス技術者が「構成」 - 「動作モード」 - 「タイムアウト選択のリセット」の設定で調整できます。

操作インターフェースの「ゲストモード」、「パーソナルモード」および「レギュラーユーザーモード」は、それぞれ機能やエラーメッセージが異なります。次の表は、標準設定でどの機能および表示が有効になるかを示しています。

動作モード	ゲストモード	パーソナルモード	レギュラーユーザーモード
通知モード表示	シングル	特定	特定
ダブルボタンの表示	0	オン	0
DECAF ボタンの表示	0	オン	0
バリスタボタンの表示	0	0	オン
カップサイズ・ボタンの表示	0	0	0
飲料記号が見える	オン	オン	オン
アイコンセット	紙コップ	Default	紙コップ
スクリーンセーバー	オン	0	オン
メニューカード	カスタム	カスタム	カスタム
飲料の事前選択を有効にする	0	オン	0
タッチスクリーンで事前選択を有効にする	0	オン	0
事前選択の項目数	0	0 ~ 8 [8]	0
外部ボタンで事前選択を有効にする	0	0	0
左側飲料セクションの事前選択	0	オン	0
右側飲料セクションの事前選択	0	オン	0
加熱すすぎボタンの表示	0	0	0
サービスボタンの表示	オン	オン	オン
グループ選択の表示	0	0	0
飲料の順次変更	オン	0	0
「カップ配置」の表示	0	0	オン
「進捗状況」の表示	オン	0	オン
「飲料完了」の表示	オン	0	0
飲料完了中断の表示	0.5 ~ 60 [3 秒]	0.5 ~ 60 [3 秒]	0.5 ~ 60 [3 秒]
アクセスサービスメニュー	PIN	PIN	PIN

説明：

0	デフォルト > オフ > オンにできません
0	デフォルト > オフ > オンにできます
オン	デフォルト > オン > オフにできます
オン	デフォルト > オン > オフにできません

5.9.2 飲料選択のステップシーケンス

メニューカードへナビゲートします

☐ マシンは操作可能状態です。

ステップシーケンス	目的	ゲストモード	パーソナルモード	レギュラーユーザーモード
0	ユーザーインターフェイスの表示			
1	希望する飲料ボタンでメニューカードへナビゲートします	<p>▶ [A] [</>] フィールドで飲料ボタンをスクロールします。</p> <p>☑ 希望する飲料ボタンが有効になり、表示されます。</p>	<p>▶ タブ (メニューカード) を [A] フィールドで直接選択します。</p> <p>☑ 登録された有効な飲料ボタンが表示されます。</p>	<p>▶ [A] [</>] フィールドで飲料ボタンをスクロールします。</p> <p>☑ 希望する飲料ボタンが有効になり、表示されます。</p>

飲料オプションの事前選択

☐ ユーザーインターフェイス「パーソナルモード」が有効です。

ステップシーケンス	目的	ゲストモード	パーソナルモード	レギュラーユーザーモード
2	ユーザーインターフェイスの表示			
	飲料の事前選択	飲料の事前選択はできません。	<p>▶ 飲料の事前選択を [C] (コーヒー濃度) フィールドなどで定義します。</p> <p>☑ すべての飲料は対応する事前選択とともに表示されます。</p> <p>可能な事前選択:</p> <ul style="list-style-type: none"> • ダブル 飲料の注出 • カフェインフリーコーヒー • コーヒーの濃度 (バリスタ) 	飲料の事前選択はできません。

飲料ボタンを選択

- メニューカードには設定された飲料があります。
- 事前選択には設定された飲料があります。

ステップシーケンス	目的	ゲストモード	パーソナルモード	レギュラーユーザーモード
3	飲料ボタン			
	飲料ボタンを有効にする	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 希望する飲料ボタン [B] をタップします。 ☑ 他の飲料オプション用ウィンドウが開きます。 		

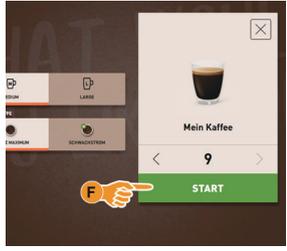
飲料の変更

- 事前に選択した飲料ボタンにはマークが付きます []。

ステップシーケンス	目的	ゲストモード	パーソナルモード	レギュラーユーザーモード
4	飲料の変更			
	希望する飲料の変更を決定します	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 希望する変更 [D] をタップします。 ☑ 有効な変更が表示されます。 ☑ 他の変更が選択内容に表示されます。 ▶ 他の変更を選択します。 <p>飲料の変更の順次選択。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 希望する変更 [D] をタップします。 ▶ 数回注出 [E] を設定します [2~9]。 ☑ 有効な変更が有効になります。 <p>飲料の変更の直接選択。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 希望する変更 [D] をタップします。 ☑ 有効な変更が有効になります。 ☑ 含まれている変更は上部 [D1] に表示されます。 <p>飲料の変更の直接選択。</p>

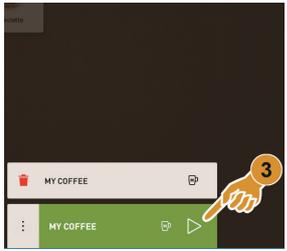
注出を開始します

- ☐ 飲料が変更され、注出の準備ができています。

ステップシーケンス	目的	ゲストモード	パーソナルモード	レギュラーユーザーモード
5	飲料の注出の準備ができています			
	注出を開始します	<ul style="list-style-type: none"> ▶ [F] [開始] フィールドを選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> ☑ コーヒーカップ配置プロンプトが表示されます。 ▶ [F] [開始] フィールドを選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> ☑ 飲料の抽出を開始します。 <p>コーヒーカップ配置プロンプトは動作モードで有効にできます。</p>		

数回注出の概要 (パーソナルモード)

- ☐ 1つの飲料の事前選択が事前に有効になっています (最高2~9 飲料)

ステップシーケンス	目的	パーソナルモード
5a	「パーソナルモード」での数回注出	  
	飲料を取り出して確認します	<ul style="list-style-type: none"> ▶ [1] フィールドを3つの項目で選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ☑ 事前選択されたすべての飲料 [2] がリストアップされます ☑ 飲料の注出が完了すると緑色で表示されます。 ▶ 飲料注出口からコーヒーカップまたはマグカップを取り出します。 ▶ 緑色の [>] フィールドを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ☑ 最初の飲料の注出が確定します。 ☑ リストの中から次の飲料の注出が開始します。 ▶ 他の飲料にはステップ [3] を繰り返します。 <p>複数の飲料に対応した事前選択は、「パーソナルモード」でのみ使用可能です。</p>

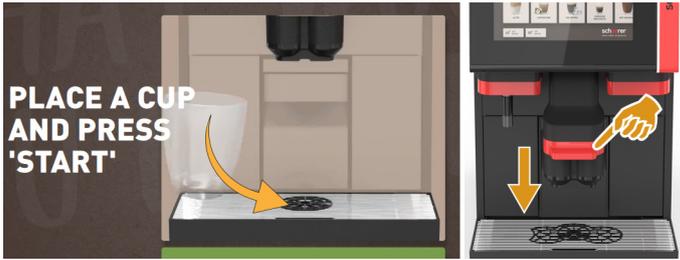
支払い

- 会計システムが有効になり、飲料には飲料の価格が含まれます。

ステップシーケンス	目的	ゲストモード	パーソナルモード	レギュラーユーザーモード
5b	支払い			
	支払い方法を選択して支払いをします	<p>コーヒーカップ/マグカップ配置のアニメーションがディスプレイに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ [1] [支払い] フィールドを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ☑ 利用可能な支払方法がウィンドウに表示されます。 ☑ 硬貨交換システムの場合、硬貨を交換できなくなると表示が出ます [3]。 ▶ 利用可能な支払い方法の中から希望する支払い方法 [2] を選択します。 ▶ 確定すると支払い手続きが完了します。 <ul style="list-style-type: none"> ☑ 飲料の注出が開始します。 		

コーヒーカップ/マグカップを置きます

- 「コーヒーカップ配置」機能は動作モードで有効になります。

ステップシーケンス	目的	ゲストモード	パーソナルモード	レギュラーユーザーモード
5c	コーヒーカップ配置表示	 <p>コーヒーカップ/マグカップ配置のアニメーションがディスプレイに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 飲料注出口にコーヒーカップまたはマグカップを置きます。 ▶ コーヒーカップ/マグカップ (手動の飲料注出口) 		

進捗状況を表示します

- ☐ 飲料の注出が開始しました。

ステップシーケンス	目的	ゲストモード	パーソナルモード	レギュラーユーザーモード
6	飲料の注出状況 注出の停止			
	飲み物の注出の停止	<p>進捗状況 [G] は、180度の半円に緑色のバーで表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ [G1] [ストップ] フィールドを選択します。 ☑ 注出は中断されません。 <p>進捗状況の表示は動作モードで有効にできます。</p>	<p>進捗状況 [G] は、緑色のバーで表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 赤い [G1] [X] フィールドを選択します。 ☑ 注出は中断されます。 <p>180度のバーによる進捗状況の表示は動作モードで有効にできます。</p>	<p>進捗状況 [G] は、180度の半円に緑色のバーで表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ [G1] [ストップ] フィールドを選択します。 ☑ 注出は中断されません。 <p>進捗状況の表示は動作モードで有効にできます。</p>

完了メッセージ

- ☐ 「飲料完了表示」機能は動作モードで有効になります。

ステップシーケンス	目的	ゲストモード	パーソナルモード	レギュラーユーザーモード
7	飲料の注出完了表示			
		<ul style="list-style-type: none"> ☑ 飲料の注出が完了しました。 ☑ 表示が自動的に消え、ユーザーインターフェイスに戻ります。 ▶ コーヒーカップまたはマグカップを雫受けから取り出します。 <p>表示は設定した時間に応じて消えます。</p>		

5.9.3 手動投入によるコーヒー飲料

手動での投入により、コーヒー粉で飲料をつくることができます。



コーヒー粉を使ったコーヒー飲料の設定は、飲料の設定内でできます。設定はサービス技術者によって行うことができます。

- ▶ タブまたは飲料グループをユーザーインターフェイスから選択します。
- ▶ (利用可能である場合) [2x] などの飲料オプションを選択します。
- ▶ エスプレッソまたはコーヒーなどの飲料の種類を選択します。
- ▶ (利用可能である場合) 大、中、小などの出力オプションを選択します。
- ▶ 注出を開始します。
 - ☑ コーヒー粉を投入するよう求めるプロンプトが表示されます。
- ▶ 手動投入口のフタ [A] を開けます。
- ▶ 計量スプーン [B] (納入品目を参照) 1杯分のコーヒー粉を手動投入口に入れます。
- ▶ [C] フィールドでユーザーインターフェイスへのコーヒー粉の投入を確認します。
 - ☑ 飲料の注出が開始します。

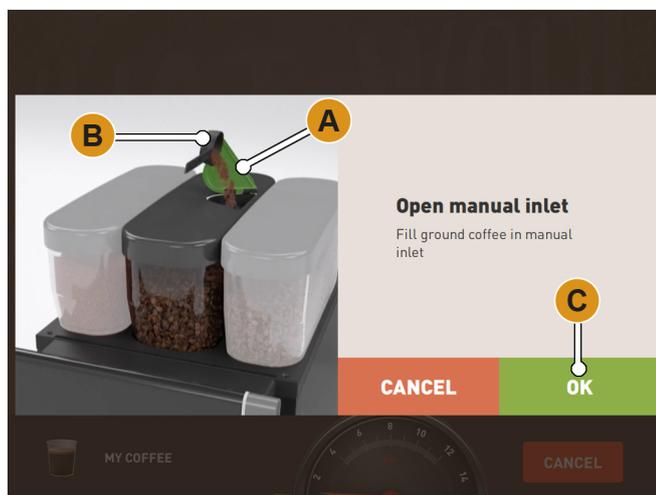
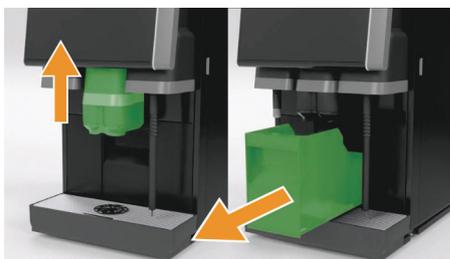


図: コーヒー粉の投入を求めるプロンプト。

5.10 空にする

5.10.1 カス受け

標準カス受け



- ▶ 「AHA」がない場合は、飲料注出口をストッパーに当たるまで押し上げます。
- ▶ カス受けをマシンから前方に引き出します。
 - ☑ 「カス受けが取り外されました」というメッセージがディスプレイに表示されます。
- ▶ カス受けを空にして清掃します。
- ▶ カス受けを乾かし、マシンに押し戻します。
 - ☑ マシンの操作準備が完了しました。



カス受けには、約60~70のコーヒーケーキが入ります。数に達すると、ユーザーインターフェイスはカス受けを空にするように要求します。

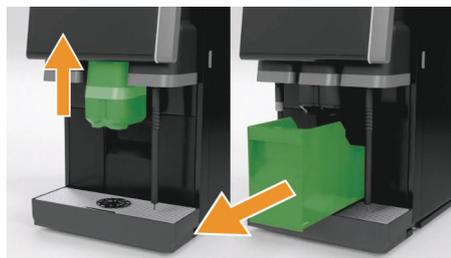
カウンター下用カス受け(オプション)



指示

溢れる可能性があります！カウンター下用カス受けのオプション装置はモニタリングされません。溢れる危険があります。空にする間、カウンター下用カス受けがなくても飲み物の選択はできます。

- ▶ マシンの使用頻度にしたがってカス受けを点検してください。
- ▶ カウンター下用カス受けを空にしている間は、飲料の注出はできないようにしてください。



- ▶ 「AHA」がない場合は、飲料注出口をストッパーに当たるまで押し上げます。
- ▶ 内蔵されたカス受けを半分ほど引き出します。
 - 誤って飲料が注出されるのを防ぎます。
- ▶ カウンター下用カス受けを空にしてクリーニングします。
- ▶ カウンター下用カス受けをマシンのコーヒーがす入れの下に配置します。
- ▶ 内蔵されたカス受けをストッパーに当たるまで再度押し込みます。
 - マシンの操作準備が完了しました。

5.10.2

廃水

廃水出口



マシンには廃水出口があります。受受けはしっかりと取り付けられており、取り外すことはできません。



指示

廃水ホースの正しい経路! 廃水ホースの誤った経路による臭気の発生。

- ▶ マシンの廃水ホースを、サイフォン効果なしで廃水出口に直接導きます。
 - ▶ 設置側では、廃水出口にサイフォンが絶対に必要です。
- マシンは飲料の注出準備ができています。
- ▶ 廃水ホースを設置側の廃水接続部に正しく接続します。



「設置と試運転」 - 「水接続/排水」 - 「条件」。の章参照。

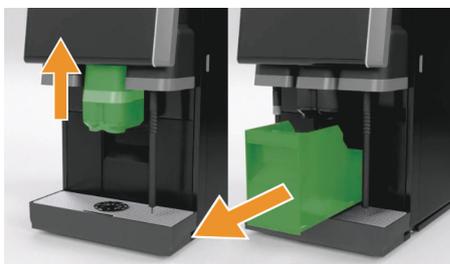
外部廃水タンク(オプション)



指示

レベル監視! 外部飲料水および廃水タンクには、統合されたレベル監視があります。

- ▶ フロートが空になるたびに、フロートの機械的機能をチェックしてレベル監視をします。
- ▶ 廃水タンクを取り外す前に、飲料の注出ができないことを確認してください。



- ▶ 「AHA」がない場合は、飲料注出口をストッパーに当たるまで押し上げます。
- ▶ 安全に行うために、カス受けをマシンから前方に引き出します。
 - ☑ 「カス受けが取り外されました」というメッセージがディスプレイに表示されます。
- ▶ 廃水ホースの付いたフタを外部廃水タンクから取り外します。
- ▶ 廃水タンクを空にします。
- ▶ 廃水タンクを家庭用洗剤で丁寧に洗浄し、清潔な水で洗い流します。
- ▶ レベル監視のフロートが機能しているか確認してください。
- ▶ 廃水ホースの付いたフタをタンクに再度挿入します。
 - ☑ マシンは飲料の注出準備ができています
- ▶ カス受けをマシンに戻します。



5.11 輸送条件



注意

事故の危険! コーヒーマシンを不適切に輸送することで、負傷するおそれがあります。

地域の規制に従って、健康および安全に関する一般的規定に注意してください。

- ▶ マシンの設置場所を変更する前には、必ず事前に飲料水の供給源と電源、そして廃水出口を外してください。
- ▶ また、設置場所を変更する前には、新たな設置場所に障害物や起伏がないかどうか点検してください。



指示

輸送の推奨事項! トロリーでのマシンの不適切な輸送は、マシンに損傷を与える可能性があります。

- ワゴンにてマシンの設置場所を変更する場合、以下の項目を厳守してください。
 - ▶ 設置場所変更の際、安全上の理由からワゴンは押すのではなく引いてください
 - ▶ 必ずワゴンのみを引き、決してマシンを引っ張らないでください。
 - ▶ ワゴンは貨物の輸送には適していません。



ワゴンの用途に反する使用もしくは取扱説明書を無視した使用に起因する損傷に対し、メーカーは一切の責任を負わないものとします。

5.12 スイッチを切る

5.12.1 作業の終了

スタンバイモード



危険



感電注意! スタンバイモードでは、マシンはまだ電源が入っています。

- ▶ マシンケーシングを取り外さないでください。
- ▶ 修理を行う前に、必ず主電源からマシンを外してください。

- ▶ まだ行っていない場合は、サービスメニューでマシンクリーニング [A] を開始します (下の図を参照)。
 - ☑ クリーニングが実行されます。
- ▶ 必要に応じて、毎日および週に一度の手入れを実行します。
- ▶ 可能な場合は、オプションの外部飲料水タンクを空にして清掃します。



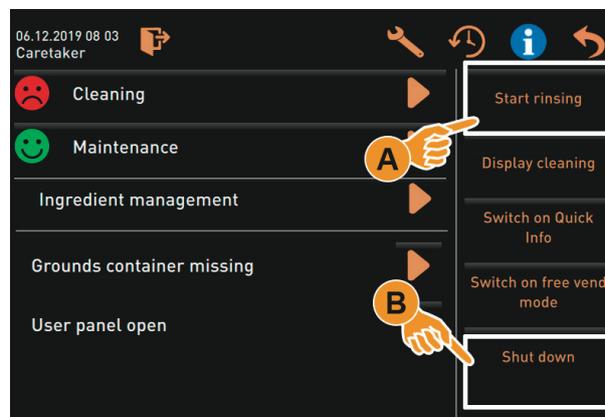
詳細については、「クリーニング」を参照してください。の章参照。



自動クリーニング後、マシンはクリーニングプログラムから直接オフにすることができます。

バリエーション：タッチスクリーンで電源を切る

- ▶ サービスメニューの [スイッチオフ] [B] フィールドを選択します。
 - ☑ マシンの電源がオフになっています。
 - ☑ デ스플레이は表示されません。
 - ☑ マシンはスタンバイモードです。



バリエーション：ボタンでスイッチを切る

コントロールパネルの裏側にあるオンボタンを使用して、マシンの電源を切ることもできます。



「操作」 - 「スイッチオン」 - 「コーヒーマシン」。の章参照。



危険



感電注意! マシンの電源がオフの場合でも、マシン内にはライブコンポーネントがあります。

- ▶ マシンケーシングを取り外さないでください。
- ▶ 修理を行う前に、必ず主電源からマシンを外してください。



これらを無視すると、損傷が発生した場合でも一切の保証が認められません。

5.12.2 長時間にわたる使用停止 (1 週間以上)



長期間使用しない場合、例えば、会社の休日には、コーヒーマシンおよびその他の関連デバイスは、サービスを停止する必要があります。

- ▶ 「作業を終了する」の章に記載されているすべての手順を実行します。
- ▶ 電源プラグを抜くか、現場に設置されているメインスイッチをオフにして電源を切ります。
 - ☑ マシンには電源が通っていない状態となります。

マシンが氷点下の温度にさらされている場合は、ボイラーを事前に空にする必要があります。



指示

0°C未満の温度! 凍結した水が加熱され膨張することによってボイラーが損傷するおそれがあります。

温度が氷点下になるおそれのある室内においては、必ずボイラーを空にしてください。

- ▶ サービスパートナーに連絡してください。



再起動するときは、まず毎日のクリーニングを行ってください。

5.12.3 周辺機器の電源を切る



指示

作業終了後のお手入れ。周辺機器をクリーニングしてスイッチを切らないと、再びスイッチを入れたときに汚れている可能性があり、技術的な障害や健康に影響を及ぼすおそれがあります。

ミルクが通過する周辺機器のスイッチを切る前に、必ず毎日のマシンクリーニングを行ってください。

周辺機器のスイッチを長時間切ったままにする場合は、主電源から切り離すことが推奨されます。

ミルクコンテナ、フタ、アダプタなどの付属品は、乾燥した状態で清潔に保つ必要があります。

- ▶ ミルクが通過する周辺機器のミルクコンテナを空にします。
- ▶ 毎日のマシンクリーニングを行います。
- ▶ ミルクコンテナ、フタ、アダプタなどの付属品は、食器洗浄機で洗浄するか、新しいきれいな水を使って手で十分に洗ってください。
- ▶ 装置のメインスイッチで周辺機器をオフにします。



「操作」 - 「スイッチを入れる」 - 「周辺機器のスイッチを入れる」では、周辺機器ののスイッチを切る方法について詳しく説明しています。の章参照。

- ▶ 付属品は清潔で乾いた状態で保管します。
- ▶ 電源プラグ230 V ACから引き抜いて電源を切ります。
 - ☑ 周辺機器は電源が通っていない状態です。
 - ☑ 周辺機器は長期間保管することができます。



再起動するときは、まず毎日のクリーニングを行ってください。

6 クリーニング

6.1 クリーニング間隔

クリーニング間隔				
毎日	週1回	必要に応じて	要求が出されてから	オプション
自動クリーニング				
X				自動すすぎ (プログラムされている場合)
X		X		熱湯洗浄
X		X		ミルクホース洗浄
クリーニングプログラム				
X		X	X	O ミルクシステムのクリーニング
X		X	X	O コーヒーシステムのクリーニング
		X		O Flavour Point (シロップシステム)
X		X		O ミキサーカップを手動クリーニングですすぐ
X	X			O スチームボイラー洗浄
手動クリーニング作業				
X				カス受けを空にして洗浄
X				抽出チャンバー
X				雫受けとドリップグリッドを清掃します
X				O ミルクコンテナのすすぎを行う
X				O 冷却ユニット 内部
X				タッチスクリーンのクリーニング
X		X		O スチームノズル
X				O 外部飲料水タンクのすすぎを行う
X				O 外部廃水タンクのすすぎを行う
				O 周辺機器のクリーニング
	X	X		コーヒー豆ホッパーの洗浄
		X		下部 飲料注出口
		X		O パウダーケースのすすぎを行う
		X		O 冷却ユニットを解凍します
		X		コーヒーマシン外側のクリーニング
		X		O 冷却ユニットの外表面

凡例のクリーニング間隔

毎日:	少なくとも1日に1回、必要に応じてより頻繁に。
週1回:	最低でも週1回、必要であればより頻繁に行うこと。
必要であれば:	必要に応じて (汚染がある場合)。

凡例のクリーニング間隔

要求が出されてから:	ディスプレイに該当の要求が表示されます。
オプション:	マシンの設備によって異なります

6.2 有効なクリーニングプラン

サービス技術者が設定できる次の2つのクリーニングプランがあります。

- ・ 「Schaerer Default」 (標準) をデフォルト設定したクリーニングプラン。
- ・ デフォルト設定「手動」でのクリーニングプラン。



指示

HCCPクリーニングコンセプトへの準拠! この章で指定されているクリーニング間隔は、「SchaererDefault」クリーニングプランに対応しています。これらの設定は、HACCPクリーニングコンセプトの要件を満たしています。

「手動」クリーニングプランでサービス技術者による手動調整を逸脱すると、HACCPクリーニングコンセプトの要件を満たす必要があります。

クリーニングレベルを「なし」に設定すると、オペレーターは必要なクリーニングを実行する責任があります。



「クリーニング」 - 「HACCPクリーニングコンセプト」。の章を参照。



保留中または完了したクリーニングに関するディスプレイに表示される情報は、クリーニングプランで選択した設定によって異なります。



「クリーニング」 - 詳細については、「クリーニングレベル」および「クリーニング要求」を参照。の章参照。

6.2.1 「Schaerer Default」クリーニングプラン



ほとんどの設定は「SchaererDefault」クリーニングプランで指定されており、サービス技術者が変更することはできません。開始時間とクリーニングレベルは、すべての曜日に同時に更新されます。

クリーニング時間は、サービス技術者が平日の一般的な時間設定 [B] として設定します。

[A] クリーニングレベルの選択については、以下の「クリーニングレベル」を参照してください。

[B] クリーニング時刻 (最適な開始時刻)

[C] *クリーニング日

[D] *アクティブなクリーニングレベルについては、以下の「クリーニングレベル」を参照してください。

[E] *クリーニングするユニット [コーヒシステム]

[F] *クリーニングするユニット [ミルクシステム]

[G] *クリーニングするユニット [パウダーシステム]

[H] *スチームボイラーのすすぎ機能 アクティブ/非アクティブ

[I] *クリーニングプランの設定

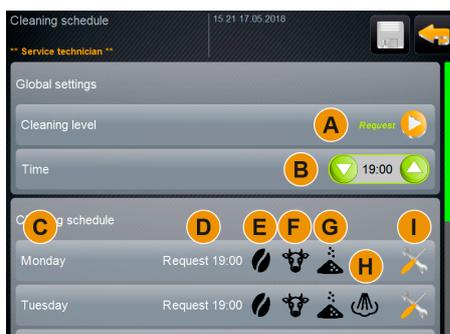


図: クリーニングプラン「SchaererDefault」

* 「SchaererDefault」プリセットのあるクリーニングプランでは設定できません。



「クリーニング」 - 「クリーニングレベル」および「クリーニング要求」。の章参照。

6.2.2 クリーニングスケジュール「手動」



「手動」クリーニングスケジュールでは、利用可能なすべての設定をサービス技術者が設定できます。

サービス技術者は、「手動」クリーニングスケジュールで次の設定を行うことができます。

- クリーニング日の設定
- クリーニングレベルの設定
- クリーニング開始時間
- 洗浄するシステム (パウダーシステムまたはスチームボイラー洗浄)
- クリーニングで日を削除または追加
- クリーニング前後のタイムウィンドウの設定



指示

依存関係! コーヒーシステムまたはオプションのパウダーシステムは、他のシステムとは独立して個別にアクティブ化することもできます。

ミルクシステムのクリーニングも自動的にコーヒーシステムをアクティブにします。スチームボイラー洗浄は、コーヒーシステムと、可能な場合はオプションのミルクシステムを自動的にアクティブにします。

6.3 クリーニングレベル



クリーニングレベルは、クリーニングプランで設定されます。クリーニングスケジュールは、サービス技術者がアクセスできます。

「クリーニングレベル」のデフォルト設定によって、設定されたクリーニングに関する次の事前通知を設定できます。

- [なし]
- [要求]
- [強制]

バリエーション: [なし] クリーニング要求



「なし」に設定すると、保留中のクリーニングに関する情報はありません。オペレーターは、必要なクリーニングのタイミングと実行を担当します。

- ☑ 「サービスメニュー」 [A] フィールドは、赤い色のマークが付いた保留中のクリーニングを示していません。
- ☑ サービスメニューの [クリーニング] フィールドが赤いスマイルマークに変わることはありません。
- ☑ 「サービスメニュー」 から手動でクリーニングを開始します。
- ▶ [C] フィールドを使用して、サービスメニューで手動でクリーニングを開始します。



図: クリーニングレベル [なし]

バリエーション: [要求] 付き



「要求」を設定すると、保留中のクリーニングに関する情報がディスプレイに表示されます。オペレーターには、保留中および完了したクリーニングについて常に通知されます。

クリーニング要求の設定が [要求] に設定されている場合、以下の機能と情報が含まれます。

- [A] 「サービスメニュー」 フィールドに赤いマークが表示されます
- [B] 「サービスメニュー」 の「クリーニング」 フィールドに緑色のスマイルマークが表示されている場合は、[時] の次のクリーニングについて通知されます。
- [C] 赤いスマイルマークのフィールドは、[1 - 4 時 以降の [時] で保留中のクリーニングについて知らせます。
- ▶  [C] フィールドを使用して、サービスメニューで手動でクリーニングを開始します。
- ☑ クリーニング実行後、予定されている次のクリーニング [D] が [時] に表示されます。

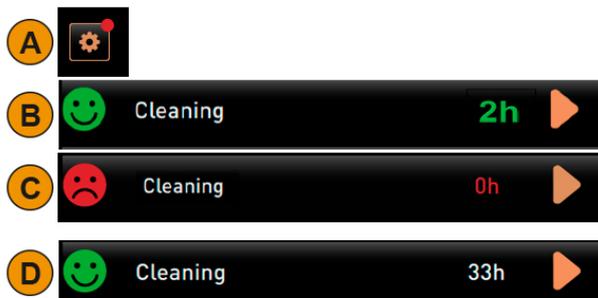


図: クリーニングレベル [要求]

バリエーション: [強制] 付き



「強制」に設定すると、保留中のクリーニングに関する情報がディスプレイに表示されます。この保留中のクリーニングが [0~4時間] の設定されたタイムウィンドウ内に行われない場合、強制クリーニングが行われます。コーヒーマシンはこれ以上飲料を注出できません。

クリーニング要求の設定が [強制] に設定されている場合、以下の機能と情報が含まれます。

- [A] 「サービスメニュー」 フィールドに赤いマークが表示されます
- [B] 「クリーニング」 フィールドに緑色のスマイルマークが表示されている場合は、[時] の次のクリーニングについて通知されます。
- [C] 赤いスマイルマークのフィールドは、[1 - 4 時] 以降の [時] で保留中のクリーニングについて知らせます。
 - ☐ 計画されたクリーニング [B] は実施されませんでした。
 - ☐ 保留中のクリーニング [C] は、表示されたタイムウィンドウ [1 - 4 時] で実行されませんでした。
 - ☐ コーヒーマシンは、飲料の注出ができないようにブロックされています。
 - ☐ ディスプレイには、クリーニングを実行する必要がある情報が表示されます。
- ▶  [C] フィールドを使用して、サービスメニューで手動でクリーニングを開始します。
- ☑ クリーニング実行後、予定されている次のクリーニング [D] が [時] に表示されます。
- ☑ コーヒーマシンの操作準備が再び完了しました。

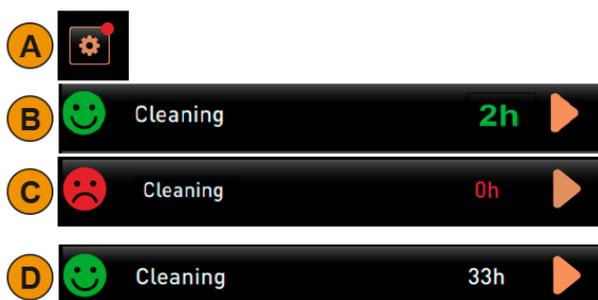


図: クリーニングレベル [要求]/[強制]

6.4 クリーニング要求



クリーニング要求は、事前設定された「クリーニングレベル」に従って行われ、サービス技術者が設定できます。



「クリーニング」 - 「有効なクリーニングプラン」と「クリーニングレベル」。の章参照。

クリーニング要求のオプション設定



「SchaererDefault」クリーニングプランでは、[クリーニング前] [B] と [クリーニング後] [C] のタイムウィンドウは変更できません。

タイムウィンドウ	ディスプレイ表示	パラメータ設定 (サービス技術者)
A)	このタイムウィンドウで実行されたクリーニングは無視されます。	時間設定によって異なります [B]。
B)	このタイムウィンドウで実行されたクリーニングは早すぎて、最適なスケジュールに対応していません。それにもかかわらず、これらのクリーニングは実行されたものとして認識されます。	**システム > クリーニング > クリーニングプランの調整 > [クリーニング前のタイムウィンドウ] [B] 設定 (0~10時間) 可能。
C)	スケジュール通りに最適なクリーニングを行うためのタイムウィンドウ。	**システム > クリーニング > クリーニングプランの調整 > [クリーニング後のタイムウィンドウ] [C] 設定 (1~4時間) 可能
C1)	スケジュールに応じた最適なクリーニング開始	*システム > クリーニング > クリーニングプランの調整 > [時刻] [C1] **システム > クリーニング > クリーニングプランの調整 > [C1] 時刻 設定 (00.00 ~ 23.00) 可能
D)	強制クリーニングのタイムウィンドウ。実行されていないクリーニングは、これ以上遅らせることはできません。コーヒーマシンはもう使用する準備ができていません。クリーニングは不可欠です。	*システム > クリーニング > クリーニングプランの調整 > クリーニングレベル **システム > クリーニング > クリーニングプランの調整 > クリーニングレベル 選択 [強制] がアクティブです。タイムウィンドウ [C] が経過した後は、クリーニングが義務付けられています。

* 「SchaererDefault」クリーニングプランの設定。

** 「手動」クリーニングプランの設定。

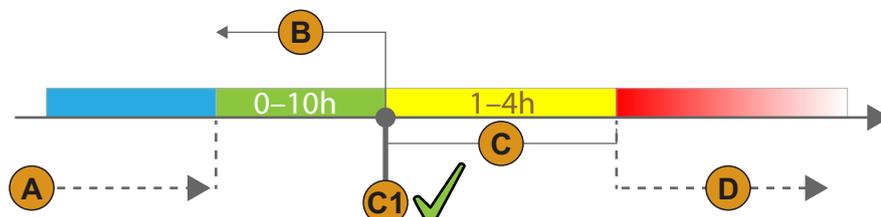


図: クリーニングのタイムウィンドウがあるタイムライン

6.5 強制クリーニング



アクティブな必須クリーニングを伴う保留中のクリーニングは延期できません。保留中のクリーニングでは、それ以上の飲料の注出はできません。必須のクリーニング、および開始までの時間は、サービス技術者がクリーニングプランで定義できます。

クリーニングプログラムを実行すると、操作準備が回復します。



「クリーニング」 - 「毎日のマシンクリーニング」 - 「ディスプレイガイド付きクリーニングプログラム」。の章参照。



「クリーニング」 - 「クリーニングレベル」。の章を参照。

6.6

洗剤



警告



中毒の危険! 洗剤は、不適切に使用すると中毒を引き起こす可能性があります。

- ▶ Schaefer社が推奨する洗剤のみを使用してください。
- ▶ 洗剤を子供から遠ざけてください。
- ▶ 素手で洗剤に触れたり、摂取したりしないでください。
- ▶ ミルクコンテナに洗剤を入れないでください。常にクリーニングコンテナを使用してください。



洗剤使用前には、パッケージの情報および安全データシートに注意深く目を通してください。安全データシートが添付されていない場合、販売会社にこれを請求してください。



指示



推奨される洗剤! 間違った洗剤を使用すると、マシンが故障することがあります。

毎日および週 1 回のクリーニングには、必ずSchaefer社によって推奨されている洗剤を使用してください。

6.6.1

クリーニング剤 (コーヒーシステム)

「Coffeepure tabs」



用途	コーヒーシステムのクリーニング
クリーニング用途	コーヒーシステム内に付着した油分の除去
使用間隔	毎日
用途	ディスプレイガイド付きクリーニング中にタブレットを挿入するように要求する

6.6.2 「Milkpure powder Box」 ミルクシステム用のクリーニングパウダー

「Milkpure powder Box」



用途	ミルクシステムのクリーニング
クリーニング用途	ミルクシステムの乳脂肪と細菌の除去
使用間隔	1日1回10gの1袋を使用してください。 クリーニングバッグの分割: <ul style="list-style-type: none"> • 4x) アルカリ性 = 緑 = クリーナー1 • 1x) 酸 = 赤 = クリーナー2 日頃の手入れは、理想的には「クリーナー - 1」で4倍、「クリーナー - 2」で1倍の間隔で実行する必要があります。
用途	ディスプレイガイド付きクリーニング中にクリーニングパウダーの追加を要求する

6.6.3 洗浄剤の再注文

「Milkpure Powder」 & 「Coffeepure tab」



セット-再注文

- 2x 「Milkpure powder」
- 1x 「Coffeepure powder」

製品番号: 075350
 セットには、日常の手入れ100回分のクリーニング用洗剤が含まれています。

6.7 すすぎの間隔



火傷の危険! マシンのすすぎ中に、熱湯が飲料注出口から流れ出します。

マシンのすすぎ中に、飲料注出口の下に手を伸ばさないでください。
 オプションのスチームノズルを準受けに置きます。

設定済みのすすぎが自動的に開始されます。したがって、飲料注出口は常に空である必要があります。

6.7.1 自動スイッチオン/オフのすすぎ

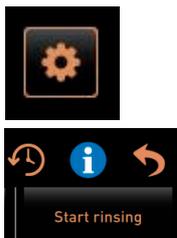


自動スイッチオンまたはスイッチオフすすぎは標準であり、無効にすることはできません。

次のすすぎは、マシンの電源を入れた後、または電源を切る前に自動的に実行されます。

- 1 すすぎ > ホット&コールドシステム (オプション)
- 2 すすぎ > コーヒーシステム
- 3 すすぎ > BestFoamミキサー (オプション)
- 4 すすぎ > ミルクシステム (オプション)
- 5 すすぎ > パウダーシステム (オプション)

6.7.2 手動すすぎ (サービスメニュー)



次のすすぎは、サービスメニューでいつでも手動でトリガーできます。

- ▶ ユーザーインターフェイスの左下にある [サービスメニュー] フィールドを選択します。
 - ☑ サービスメニューが表示されます。
- ▶ [すすぎの開始] フィールドを選択してください。
 - ☑ システムのすすぎは、自動スイッチオン/スイッチオフすすぎと同じ順序で実行されます。「クリーニング」 - 「すすぎの間隔」 - 「自動スイッチオン/スイッチオフすすぎ」。の章を参照。

6.7.3 設定済みのすすぎ

時間設定可能なすすぎは、サービス技術者が設定できます。

- すすぎ > 飲料注出口 [出口 すすぎの間隔] (1 ~ 180 分)。
- すすぎ > ミルクシステム [外部ミルクホースのすすぎ間隔] (1 ~ 180 分)。
- すすぎ > ミルクシステム [内部ミルクシステムのすすぎ間隔] (1 ~ 180 分)。
- すすぎ > 逆流クーラー [熱交換器 フラッシング間隔] (1 ~ 180 分)。



標準設定では、設定されたすすぎは1時間ごとにトリガーされます。

6.8 毎回の充填前

6.8.1 外部飲料水タンク(オプション)



感染リスク! 残りかすや細菌により外部飲料水タンクの飲料水が汚染されるおそれがあります。汚染された飲料水タンクは健康上の問題を引き起こす可能性があります。

毎回の充填前に外部飲料水タンクのクリーニングを行います。

- ▶ 飲料水タンクのフタを取り外します。
- ▶ マシンの飲料水ホースを飲料水タンクとフタから引き出します。
- ▶ 飲料水ホースの端をきれいな布の上に置きます。
- ▶ 飲料水タンクは清潔な水で丁寧に何回も洗い流してください。
- ▶ 飲料水タンクのカバーを清潔な水で何回も丁寧に洗浄します。
- ▶ 飲料水タンクに新鮮な水を入れてください。
- ▶ 飲料水ホースをフタに通してタンクに戻します。
- ▶ フタ付きの飲料水タンクを閉じます。



オプションの給排水管接続をするマシンに関しては、「クリーニング」 - 「週に一度の手動クリーニング」の章を参照してください。の章参照。

6.9 毎日のマシンのクリーニング

6.9.1 ディスプレイガイド付きクリーニングプログラム

準備

クリーニングプログラム中に必要な道具:

- Schaeerer > クリーニングタブレット (Coffeepure tabs) コーヒーシステム [1xタブレット]
- Schaeerer > クリーニングパウダー (Milkpure powder) ミルクシステム [1xバッグ]
- Schaeerer > クリーニングコンテナ (ミルクシステム) [1xコンテナ 青]
- 市販の洗剤
- 市販の清潔なクリーニングクロス
- 残りのミルク用の収集コンテナ (必要な場合)
- 残りのチョコレートパウダーまたはトッピング用の収集コンテナ (必要な場合)
- パウダーシステムが装備されている場合、コントロールパネルの裏側にアクセスする必要があります。オプションのロック可能なコントロールパネルのキーを用意しておくか、または事前にロックを解除しておきます。



スチームボイラー洗浄がアクティブな場合は、洗浄開始前に必ずスチームノズルを喫受けの中へ向けておいてください。「スチームボイラー洗浄」機能は、サービス技術者がクリーニングスケジュールで設定できます。

クリーニングプログラムを開始する



警告



中毒の危険! 洗浄剤による洗浄済みのマシン部品の汚れは、健康上の問題を引き起こす可能性があります。

クリーニングプログラム中は手袋を着用してください。



注意

火傷の危険! クリーニングプログラム中に高温の液体が分配されます。

- ▶ クリーニング中は分配ポイントの下に手を伸ばさないでください。火傷の危険があります。
- ▶ クリーニングを開始する前に、ドリップグリッドを取り外してください。



指示

浸水の危険! 廃水出口が詰まると、喫受けが浸水します。

クリーニングプログラムを開始する前に、喫受けの廃水出口を確認してください。

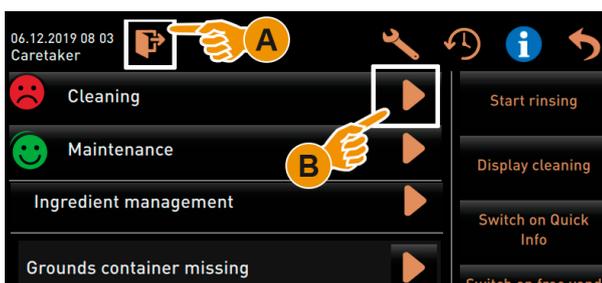


クリーニングプログラムはいつでもキャンセルできます。クリーニングプロセスを中断した後、コーヒーマシンの操作準備ができていません。クリーニングプログラムを完了する必要があります。可能であれば、中断されたクリーニングプログラムをできるだけ早く再起動してください。

クリーニングプログラムはサービスメニューから開始されます。使用者が行う操作がタッチスクリーン上に指示されます。



- 保留中のクリーニングが「サービスメニュー」フィールドに表示されます。
- ▶ 事前にドリップグリッドを取り外して、個別にクリーニングしてください。
- ▶ ユーザーインターフェイスの左下にある [サービスメニュー] フィールドを選択します。
 - ☑ 「サービスメニュー」が開きます。
 - ☑ PINで保護されている場合、[クリーニング] フィールドはまだ非アクティブです。
- ▶ 必要に応じて、[ログイン] [A] フィールドでプロフィール [管理担当者、マシンオペレータ、またはサービス技術者] を選択します。
- ▶ 必要に応じて、設定済みのPINを入力します。
 - ☑ 許可が与えられます。
 - ☑ [クリーニング] フィールドがアクティブになりました。
- ▶ フィールド [B] [クリーニング開始]を押します (下図を参照)。
 - ☑ 選択したクリーニングオプションが表示されます。



- ▶ [計画されたクリーニング] の [▶] フィールドを選択します。
 - ☑ 「クリーニング」ウィンドウが開きます。



バリエーション：アクティブなシステムのクリーニング



使用されたマシンのシステムがクリーニングされます。

- ▶ [▶] フィールド (A) を選択します。
 - ☑ クリーニングプログラムが新しいウィンドウで開始されます。
 - ☑ アクティブなシステム ((A) を参照) が洗浄されます。



図: クリーニング用のコーヒー/ミルクシステムの選択

バリエーション：すべてのシステムのクリーニング



マシン内のすべてのシステムが洗浄されます。

- ▶ [すべてのシステムのクリーニング] フィールド (B) を選択します。
- ☑ クリーニングプログラムが新しいウィンドウで開始されます。

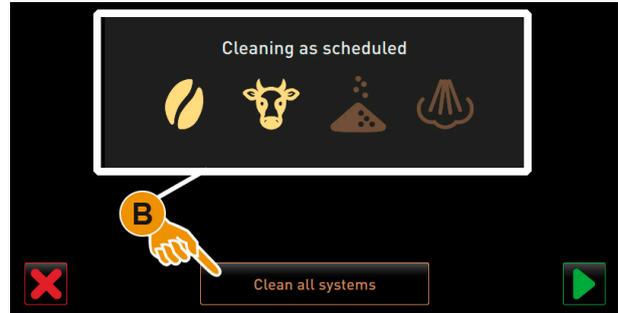


図: 選択 クリーニング、すべてのシステム

外部飲料水および廃水タンクでウィンドウクリーニングプログラムを開始します(オプション)



外部飲料水/廃水タンクを備えたマシンでの準備手順。

- [A] 廃水タンクを空にします
- [B] 飲料水タンクを充填します。
- ▶ 廃水タンク [A] を空にしてすぎます。
- ▶  フィールドで空になったことを確認します。
- ▶ 飲料水タンクに新鮮な飲料水を充填します。
- ▶  フィールドで充填を確認します。
- ☑ 「カス受けが空です」という要求が表示されます。



図: 外部飲料水/廃水タンクを使用したクリーニングプログラム

クリーニングプログラム開始ウィンドウ (標準)



「クリーニングプログラム」開始ウィンドウで可能なコントロールパネル。

- [A] 進捗状況の表示
 - [B] クリーニングをキャンセルするためのキャンセルボタン
 - [C] 次へ、次のステップのためのボタン
 - [D] アクションの要求または情報
 - [E] 現在のアクションの画像またはアニメーション。
- ▶ ディスプレイで要求を実行します。次の手順を参照してください。
- クリーニングプログラムは、サービスメニューの  フィールドを介した確認から始まります。

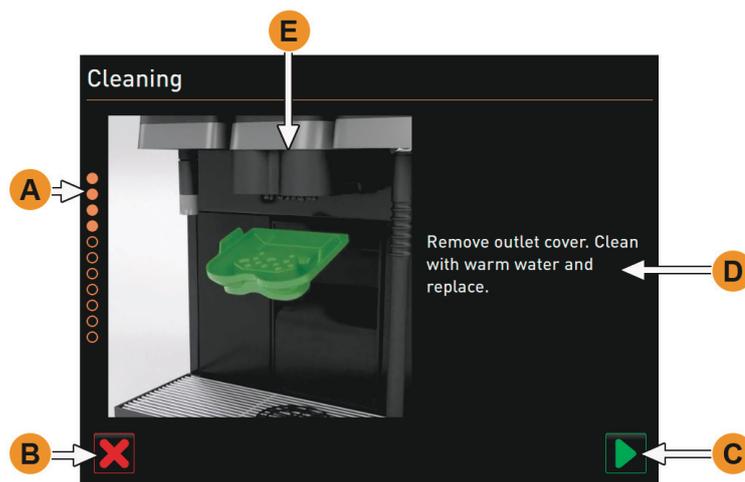
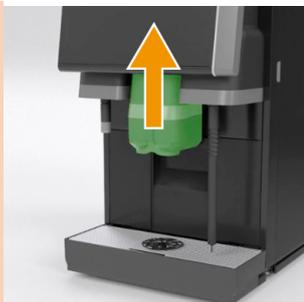


図: クリーニングプログラムのウィンドウの要素と機能

カス受けを洗浄します

1)



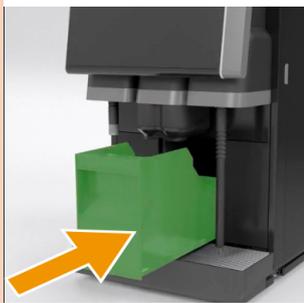
- ▶ 飲料注出口を上を押します。
- ▶ カス受けをマシンから引き出します。

2)



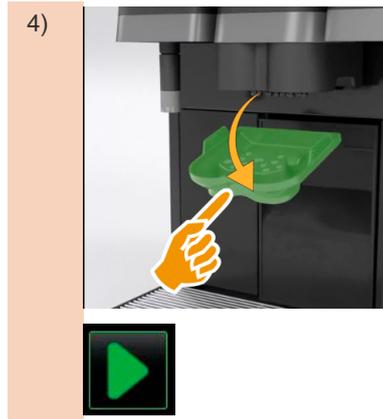
- 要求：カス受けをよく洗浄し、マシン内部をブラシで掃除し、カス受けを再挿入します。
- ▶ ブラシを使用して抽出チャンバーからコーヒーの残留物を拭き取ります。
- ▶ カス受けを空にし、新鮮な水と洗浄液ですすぎ、洗浄して乾かします。

3)



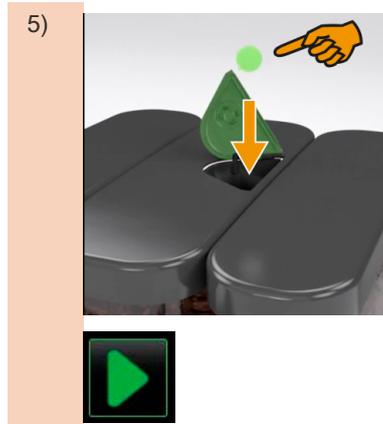
- ▶ カス受けをストッパーに当たるまでマシンに挿入します。
- 要求：「飲料注出口カバーの取り外し」が表示されます。

飲料注出口カバーを洗浄する



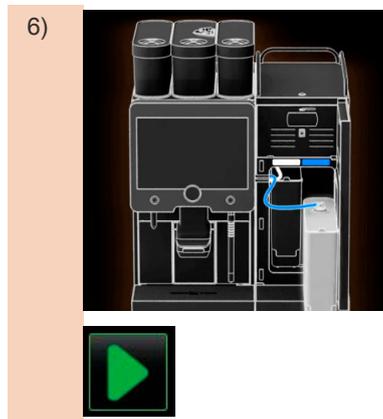
- ▶ 飲料注出口カバーを中央に押し込み、同時に下へ引いて外します。
- ▶ 温水の流水下でブラシを使用して飲料注出口カバーを洗浄してください。
- ▶ 洗浄したカバーを元に戻します。
 - 背面を取り付けます
 - 前面をカチッとはめます
 注意: カバーが正しく挿入されていないと、飲料の注出時に飛散するおそれがあります。
- ▶ 飲料注出口カバーが正しく取り付けられていることを確認してください。
- ▶ 次のステップのために  フィールドを選択します。
 - 要求: 小さなクリーニングタブレット「Coffeepure tab」の投入。

クリーニングタブレット (Coffeepure tab) の投入



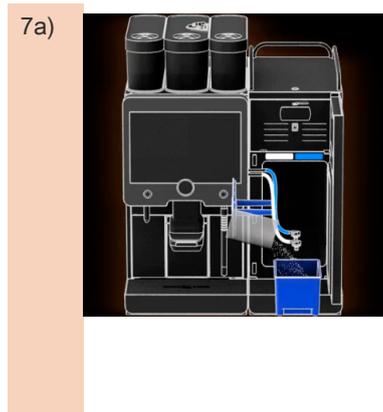
- ▶ クリーニングタブレット「Coffeepure tab」を手動投入口のスロットに投入します (中央コーヒー豆ホッパー)。
- ▶  フィールドで挿入を確認します。
 - 要求: ミルクコンテナの取り外し。

ミルクコンテナを洗浄する(オプション)



- ▶ 冷却ユニットのドアを開きます。
- ▶ 冷却ユニットからミルクコンテナを取り外します。
- ▶ 必要に応じて、残りのミルクをコンテナに移します。
- ▶ ミルクコンテナ、フタ、ライザーパイプを新鮮な水と洗浄液できれいにし、もう一度よくすすいでください。
 情報: 別冊の取扱説明書に詳しく記載されているSCソウル周辺機器のクリーニングに関する注意事項に従ってください。
 予告: 「Twin Milk」付きのマシン装備には、ミルクコンテナが2つ含まれています。
- ▶ 次のステップのために  フィールドを選択します。
 - 要求: 大きなクリーニング剤を青いクリーニングコンテナに入れる。

洗浄剤 (Milkpure powder)(オプション)



- ▶ 「Milkpure powder」(アルカリまたは酸)の袋の中身をクリーニングコンテナに注ぎます。



図: 袋に入ったクリーニング用パウダー「Milkpure powder」。

「クリーニング」 - 「洗浄剤」 - 「ミルクシステムのクリーニング用パウダー」。の章を参照。

クリーニングコンテナを挿入します(オプション)

7b)



- ▶ 青いクリーニングコンテナを冷却ユニットに挿入します。
- ▶ ミルクホースのアダプタをクリーニングコンテナのフタに挿入します。

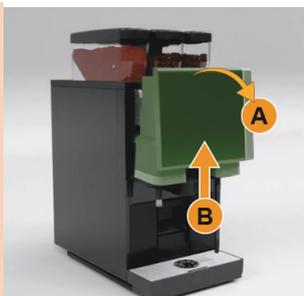
「Twin Milk」アプリケーションオプション付きの冷却ユニットには、2つのミルクホースが含まれています。

予告: 「Twin Milk」付きのマシン装備には、ミルクホースが2本含まれています。

- ▶ 挿入したクリーニングコンテナと追加したクリーニング用パウダー「Milkpure powder」を  フィールドで確認してください。
- ☑ 要求: ミキサーカップを取り外し (オプション)。

ミキサーカップを洗浄します(オプション)

8)



- ▶ コントロールパネルの上部 [A] を強く引いてロックを解除します。
 - ☑ コントロールパネルは解除されています。
- ▶ ストッパーに当たるまで、コントロールパネルを両手で下から [B] 止まるまで上へ押し上げます。
 - ☑ コントロールパネルは上の位置で自動的に保持されます。
 - ☑ ミキサーカップにアクセスできるようになります。
- ▶ グリップの凹部にあるミキサーカップをマシンから引き出します。次の手順を参照してください。

9)



ミキサーカップをマシンから引き出します。

- 1 グリップの凹部 [A] にあるミキサーカップを引き出します
- 2  フィールドでミキサーカップの取り外しを確認します
 - 1 ミキサーカップの個々の部分をきれいな温水ですすぎ、洗浄します
 - 2 ミキサーカップをきれいな布で拭き、よく乾かします
 - 3 ミキサーカップを再挿入します。
- 3  フィールドでミキサーカップのクリーニングを確認します。



注意: ミキサーカップが正しく挿入されていないと、浸水が発生する可能性があります。

- ▶ ミキサーカップが正しく取り付けられていることを確認してください。

「操作」 - 「マシン上の制御要素」 - ミキサーカップを正しく装着するための「ミキサーカップオプション」。の章を参照。

- ▶ コントロールパネルをもう一度閉じます。
- ▶  フィールドで、挿入およびクリーニングされたミキサーカップを確認します。
 - ☑ クリーニングプロセスが開始します。

10)

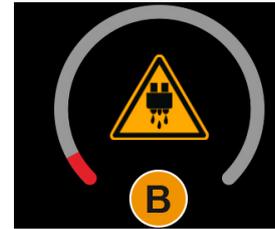


自動クリーニングの進捗状況の表示

11)



- 注 [A]、飲料はありません。
- タイムバー [B] による進捗状況の表示。



クリーニングコンテナを取り外します

12)



- ▶ 青いクリーニングコンテナを冷却ユニットから取り外し、すすいで洗浄します。
- ▶ ミルクホースのアダプタをクリーニングコンテナのフタから引き出し、湿らせた布で拭きます。
予告: 「Twin Milk」 付きのマシン装備には、ミルクホースが2本含まれています。



- ▶  フィールドでクリーニングコンテナの取り外しを確認します。
 ミルクコンテナの挿入要求が表示されます (オプション)。

ミルクコンテナを再挿入します(オプション)



警告



中毒の危険! 洗浄剤の残留物は健康に有害です。

クリーニング後、市販の石鹸で手をよく洗ってください。

13)

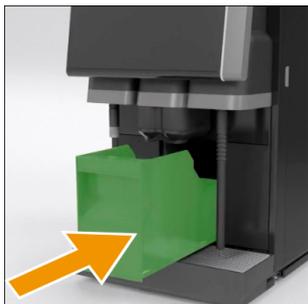


- ▶ 洗浄したミルクコンテナを冷却ユニットに戻します。
- ▶ ミルクホースのアダプターをミルクコンテナのフタに再度挿入します。
情報: 冷却ユニット、ミルクコンテナまたはアダプタの詳細情報は、SCソウル周辺機器の別冊の取扱説明書に記載されています。
- ▶ 必要に応じて、事前に冷やした新鮮なミルク (3°C - 5°C) を入れます。
予告: 「Twin Milk」 付きのマシン装備には、ミルクコンテナが2つ含まれています。



- ▶  フィールドでミルクコンテナの接続を確認してください。
 システムのすすぎが実行されます。
 再起動が実行されます。
 マシンの準備が再び整いました。
 次のクリーニングは、サービスメニューに [時] 時間で表示されます。
- ▶ 流水の下でブラシを使用してドリップグリッドを洗浄します。
- ▶ 洗浄したドリップグリッドを元の位置に戻します。

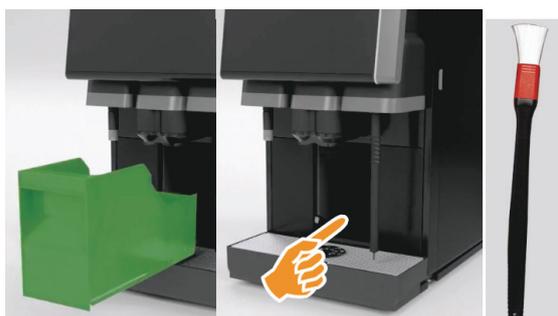
6.9.2 カス受けを洗浄します



注意: カス受けのコーヒーかすによってカビが発生するおそれがあります。マシン内にカビ胞子が繁殖すると、コーヒーが汚染されるおそれがあります。

- ▶ したがって、カス受けを毎日洗浄してください。
 - ▶ 飲料注出口を押し上げます (手動の飲料注出口の場合)。
 - ▶ カス受けをマシンから引き出します。
- 予告: 高温になると損傷を引き起こす可能性があります。カス受けは食器洗浄機で洗浄しないでください。
- ▶ カス受けを水と家庭用洗剤で丁寧に洗浄します。
 - ▶ 流水ですすぎ、清潔な布で拭いて乾かします。
 - ▶ 乾いたカス受けをマシンに戻します。

6.9.3 抽出チャンバーのクリーニング



- ▶ 飲料注出口を押し上げます (手動の飲料注出口の場合)。
 - ▶ カス受けをマシンから引き出します。
 - ▶ 洗浄ブラシを使用して、抽出チャンバー内の挽いたコーヒーの残留物をマシンから取り除きます。
- 予告: 洗浄ブラシはコーヒーマシンに含まれていません。
- ▶ 清潔で湿った布で抽出チャンバーを拭き、拭いて乾かします。
 - ▶ カス用引き出しを再挿入します。

6.9.4 雫受けとドリップグリッドを清掃します

**注意**

火傷の危険! 自動洗浄は、飲料注出口から熱湯を引き出します。

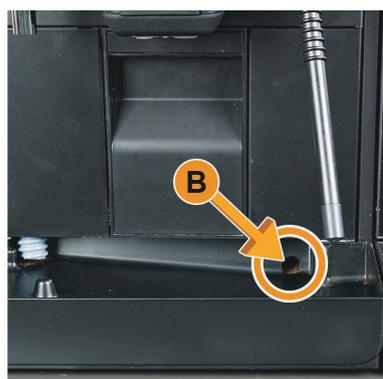
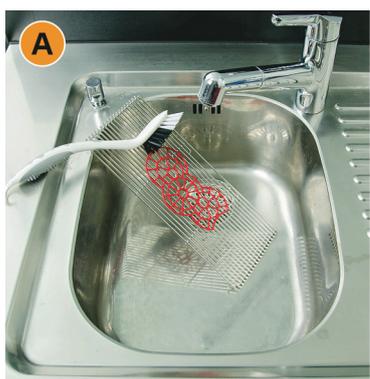
- ▶ クリーニングのためにドリップグリッドを取り外す前に、マシンの電源を切ってください。
- ▶ 雫受けを洗浄する前に、マシンの電源を切ってください。

**指示**

浸水の危険! 廃水出口が詰まると、雫受けが浸水します。

カルキ抜きを行う前に、廃水出口が自由に通過するかどうかを確認する必要があります。

- ▶ 冷却ユニットとドリップグリッドで構成される雫受け全体を、流水下で洗浄液を使用して、コーヒーマシンの位置決めグリッド [A] で完全に洗浄します。
- ▶ コーヒーマシンの雫受けをきれいな水ですすぎ、廃水出口 [B] が自由に通過することを確認します。
情報: 通過を確認してください。「サービスとメンテナンス」 - 「カルキ抜き」 - 「説明の準備」の章を参照してください。
- ▶ ドリップグリッドを雫受けに戻し、正しく配置されていることを確認します。
- ▶ 飲料注出口の反対側に正しく配置されているかどうか、位置決めグリッド [C] を確認してください。



6.9.5 ミルクコンテナを洗浄する(オプション)

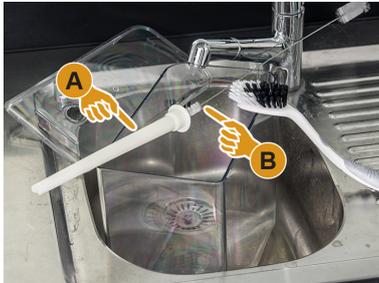


警告



感染リスク! ミルクの残りや細菌によってミルクおよびミルクコンテナが汚染されるおそれがあります。

- ▶ ミルクコンテナとカバーは毎回補充の前にクリーニングしてください。
- ▶ クリーニングには手袋を着用してください。



- ▶ 残りのミルクはミルクコンテナから廃棄してください。
情報: 別冊の取扱説明書に詳しく記載されている周辺機器SCソウルのクリーニングに関する注意事項に必ず従ってください。
- ▶ ミルクコンテナを真水と洗浄液できれいにします。
- ▶ ライザーパイプ [A] をブラシ [B] で清掃します。
予告: クリーニングブラシは納入品目に含まれています。
- ▶ ミルクコンテナを新しい未使用の布できれいにします。
- ▶ ミルクコンテナを再び冷却ユニットに取り付けます。

6.9.6 冷却ユニットの洗浄(オプション)



警告



感染リスク! ミルクの残りや細菌によってミルクおよび冷却ユニットが汚染されるおそれがあります。

- ▶ 冷却ユニットは毎日クリーニングしてください。
- ▶ クリーニングには手袋を着用してください。



- ▶ 冷却ユニットからミルクコンテナを取り外します。
情報: 別冊の取扱説明書に詳しく記載されている周辺機器SCソウルに関する注意事項に必ず従ってください。
- ▶ 冷却ユニット内側を新鮮な水と清潔で未使用の布で拭き取ります。
- ▶ ミルクコンテナを再び冷却ユニットに取り付けます。

異なる個別冷却ユニットを使用することが可能です。詳細情報は、周辺機器SCソウルの別冊の取扱説明書に記載されています。

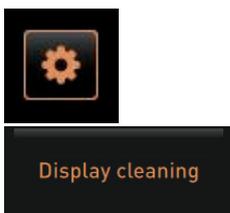
6.9.7 タッチスクリーンのクリーニング



注意

火傷の危険! 意図しない飲料の注出は、クリーニング中に火傷を引き起こす可能性があります。

クリーニング前に、サービスメニューのタッチスクリーンを無効にするか、マシンの電源を切ってください。



- ▶ ユーザーインターフェースの左下にある [サービスマニュー] フィールドを選択します。
 - ☑ サービスメニューが開きます。
- ▶ [ディスプレイクリーニング] フィールドを選択します。
 - ☑ タッチスクリーンは、30 秒 オフになります。
 - ☑ ディスプレイがタッチに反応しなくなりました。
 予告: クリーニングプロセス中のタッチスクリーンの損傷。絶対に精練剤を使用しないでください。力、強い圧力、鋭利なものでディスプレイを押しさないでください。
- ▶ 利用可能な30 秒のタッチスクリーンをペーパータオルと標準のガラスクリーナーで清掃します。
 - ☑ カウントダウンが経過すると、タッチスクリーンが再びアクティブになります。

6.9.8 スチームノズルの洗浄(オプション)



警告



感染リスク! 残りかすや細菌によりスチームノズルが汚染される恐れがあります。

- ▶ 使用後はスチームノズルを湿らせた布で拭きます。
- ▶ クリーニングには手袋を着用してください。

- ▶ スチーム注出ボタン [A] を数回押して、スチームノズルに残ったミルクを取り除きます。
 - ▶ スチームノズルに残ったミルクを清潔な湿った布で拭き取ります。
- 情報: スチーム注出力用のオプションキー [A] の位置は、選択したユーザーインターフェイスによって異なります。



6.9.9 外部の飲料水タンクをクリーニングする(オプション)



警告

中毒の危険! 飲料水タンク内の洗浄剤の残留物は中毒を引き起こす可能性があります。
飲料水タンクに洗浄剤を入れないでください。



警告: 残りかすや細菌により外部飲料水タンクの飲料水が汚染されるおそれがあります。

予告: クリーニングには手袋を着用してください。

- ▶ 外部の飲料水タンクを毎日すぎ、洗浄剤を使用しないでください。
- ▶ 飲料水タンクは清潔な水で丁寧に何回も洗い流してください。
- ▶ その後、清潔な布で拭いて乾かします。
- ▶ フロート (レベル監視) のフリーランニングを確認してください。

6.9.10 外部の廃水タンクをクリーニングする(オプション)



警告: 残りかすや細菌により外部廃水タンクの飲料水が汚染されるおそれがあります。

予告: クリーニングには手袋を着用してください。

- ▶ 外部廃水タンクとカバーを毎日すぎ、クリーニングしてください。
- ▶ クリーニングには手袋を着用してください。
- ▶ 外部廃水タンクは清潔な水で丁寧に何回も洗い流してください。
- ▶ 外部廃水タンクのカバーを清潔な水で完全に洗浄します。
- ▶ その後、清潔な布で拭いて乾かします。
- ▶ フロートレベル監視のフリーランニングを確認してください。

6.9.11 周辺機器のクリーニング(オプション)



周辺機器Cup & Cool、カップウオーマーおよび下付け冷却ユニットのお手入れとクリーニング方法は、別冊の取扱説明書020888に記載されています。

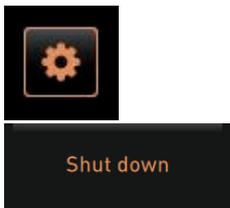
6.10 週に一度の手入れ

6.10.1 コーヒー豆ホッパーの洗浄



切り傷! グライNDER内の回転する粉碎ディスクによる怪我の危険。

- ▶ 絶対にマシンのスイッチが入った状態でコーヒー豆ホッパーに手を入れないでください。
- ▶ クリーニングには手袋を着用してください。



- ▶ ユーザーインターフェイスの左下にある [サービスマニュー] フィールドを選択します。
- ▶ サービスメニューの [スイッチオフ] フィールドを選択します。
☑ マシンはスタンバイモードです。
- ▶ コントロールパネルの裏側にある中央ロックシステムでコーヒー豆ホッパーのロックを解除します。

コーヒー豆ホッパーのロックを解除するための「操作」 - 「マシン上の制御要素」 - 「マシン内の制御要素」。の章参照。

予告: コーヒー豆ホッパーは、研磨剤によって傷がつく可能性があります。

- ▶ 絶対に精練剤を使用しないでください。
- ▶ コーヒー豆ホッパーのロックを解除します [A]。
- ▶ コーヒー豆ホッパーをマシンから持ち上げます [B]。
- ▶ 残りのコーヒー豆をマシンとコーヒー豆ホッパーから取り出します。
- ▶ 流水でコーヒー豆ホッパーをよくすすぎ [C]、柔らかい布で拭きます。
- ▶ フタと容器をきれいな布で拭いて乾かします。
- ▶ コーヒー豆ホッパーをマシンに再び戻します。
- ▶ 中央ロックシステムでコーヒー豆ホッパーをロックします。

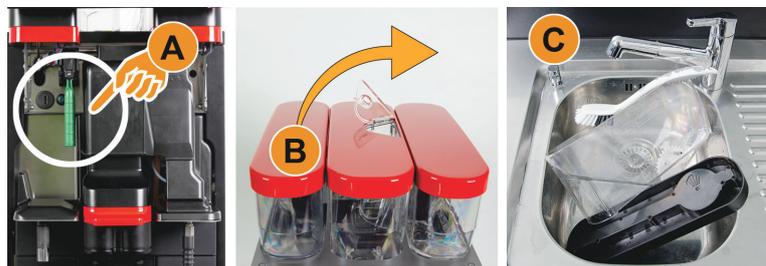


図: コーヒー豆ホッパーの取り外し

6.11 必要に応じて

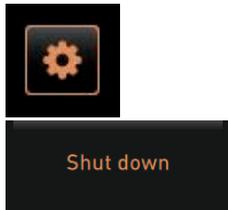
6.11.1 下部 飲料注出口の洗浄



注意

火傷の危険! 自動洗浄は、飲料注出口から熱湯を引き出します。

マシンの電源がオフになっているとき、またはクリーニングプログラム中に要求が表示されたときにのみ、飲料注出口のカバーを分解します。



- ▶ ユーザーインターフェイスの左下にある [サービスマニュー] フィールドを選択します。
- ▶ サービスメニューの [スイッチオフ] フィールドを選択します。
 - マシンはスタンバイモードです。
- ▶ 飲料の注出カバー フロント [A] を(押し下げて) 外して、分解します。
- ▶ 飲料注出口 [B] をブラシと水で清掃にします。
- ▶ 下の飲料注出口 [C] を流水とブラシで掃除します。
- ▶ 飲料注出口カバーを飲料注出口に (背面に挿入し、前面にラッチすることにより) 再度取り付けます。
- ▶ コントロールパネルのロックを解除し、上にスライドさせます。
- ▶ マシンの電源を入れます。
- ▶ コントロールパネルが外れるまで少し持ち上げてから、カチッと所定の位置に収まるまで押し下げて、操作パネルを閉じます。
 - マシンの準備が再び整いました。



図: 飲料注出口下部カバーの取り外し

6.11.2 パウダーホッパーの洗浄(オプション)

バリエーション: 投与装置の分解



パウダーシステムには、さまざまな粉末容器を装備できます。したがって、分解手順は若干異なります。



- 予告: パウダーホッパーは、研磨剤によって傷がつく可能性があります。
- ▶ クリーニングに研磨剤クリーナーを使用しないでください。
 - ▶ ユーザーインターフェイスの左下にある [サービスマニュー] フィールドを選択します。
 - サービスメニューが開きます。
 - ▶ [スイッチオフ] フィールドを選択します。
 - ▶ コントロールパネルの裏側にある中央ロックシステムでパウダーホッパーのロックを解除します。

コーヒー豆ホッパーのロックを解除するための「操作」 - 「マシン上の制御要素」 - 「マシン内の制御要素」。の章参照。

- ▶ パウダーホッパーをマシンから持ち上げます。
- ▶ 残りのチョコレートパウダーまたはトッピングパウダーを空にします。

バリエーション：ドライブ側 [A]

- ▶ ユニオンナット [1] (標準パウダーホッパー) を緩めるか、ツイン パウダーホッパーのスライド [1] を押し下げます。
- ▶ プラスネジ サイズPH1 [2] を緩めます。
- ▶ ドライブ要素 [7] を引き出します。
- ▶ [6] マイナス皿小ネジ n.K.M5x8をドライバー サイズ4で緩めます。
- ▶ ドライブ要素 [8] をパウダーホッパーから持ち上げます。

バリエーション：注出側 [B]

- ▶ ユニオンナット [3] (標準パウダーホッパー) を緩めるか、プラスネジ サイズPH1 [2] 3本を緩めます。
- ▶ イジェクト要素 [3] および [4] を取り外します。

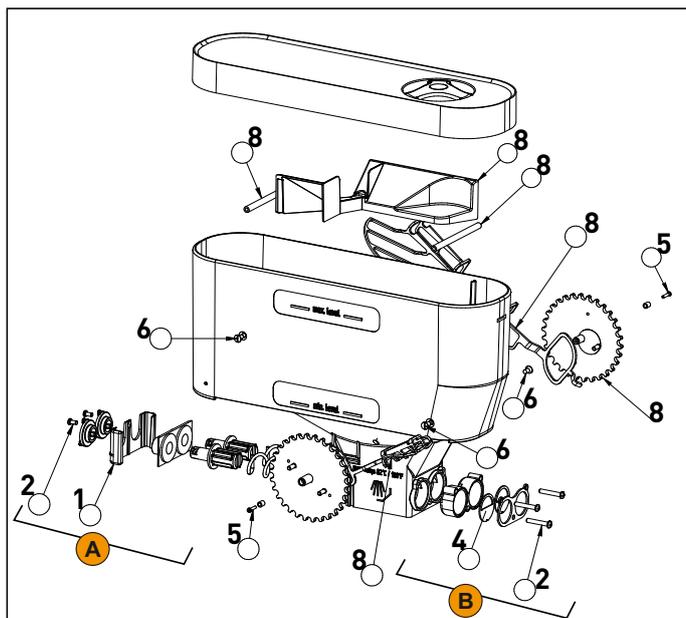
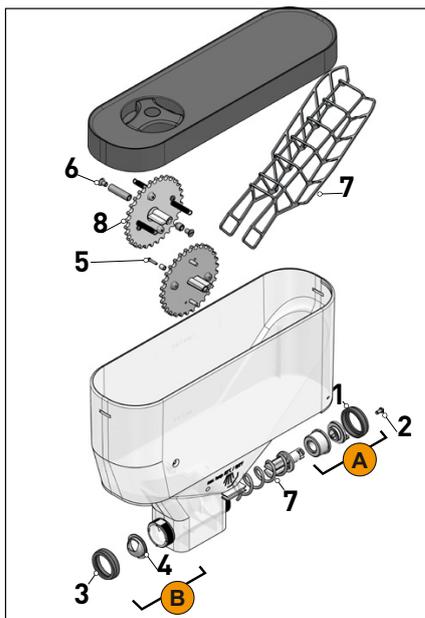


図: パウダーホッパー2 kg標準 (左) およびツイン パウダーホッパー 2x 1 kg (右)

- ▶ パウダーホッパーや注入装置の個々の部品を流水で十分に洗い流します。
予告: 組み立てる前にすべての部品をよく乾かしてください。
- ▶ 注入装置を逆の順番で再び取り付けます。
注意: 注出側の注入板 [4] の位置が正しいことを必ず確認してください。

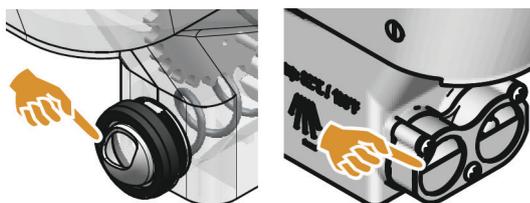


図: パウダーホッパーの注出側に取り付けられる標準およびツイン注入板の位置合わせ。

6.11.3 ディスプレイガイド付きクリーニング Flavour Point(オプション)

準備

クリーニングプログラム中に必要な道具:

- 4つのホースアダプターを備えたクリーニングコンテナを用意します
- 清潔で湿った布 (クリーニングラグ)



クリーニングする前に、クリーニングコンテナはお湯で満たされています。それは飲料注出口を介して、またはオプションで、外部熱湯注出口を介して満たされます。

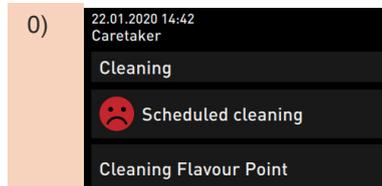


注意

火傷の危険! 熱湯注出点でやけどのおそれがあります。クリーニング前に、熱湯をクリーニングコンテナに入れます。

- ▶ 熱湯が注出されている間は、注出点の下に手を伸ばさないでください。
- ▶ クリーニング用のクリーニングコンテナは、倒れないように配置してください。

Flavour Point のクリーニングを開始します



0)

- ▶  フィールドでサービスメニューを開きます。
 - サービスメニューが開き、最後にアクティブなプロフィールが表示されます。
 情報: クリーニングは、管理担当者、マシン担当者、またはサービス技術者のプロフィールから開始できます。
- ▶ [クリーニング] の  フィールドを選択します。
 - クリーニングを選択するためのウィンドウが開きます。
- ▶ [Flavour Point のクリーニング] の  フィールドでクリーニングをアクティブにします。
 - Flavour Pointクリーニングのウィンドウが開きます。
 - 「クリーニングコンテナを飲料注出口の下に置く」という要求が表示されます。

1)



- ▶ クリーニングコンテナを飲料注出口または熱湯注出口の下に置きます。
- 外部熱湯注出口を備えたマシンでは、熱湯は、飲料注出口を介してクリーニングコンテナに注出されません。ディスプレイ表示に注意してください。
- ▶ 次のステップのために  フィールドを選択します。

クリーニングコンテナに熱湯を充填します



2)

- クリーニングコンテナは熱湯で満たされています。
- その後、シロップホースは自動的に空になります。

3)

クリーニングコンテナをFlavour Pointに接続します



4)

- ▶ Flavour Pointのバヨネットロックを取り外します。
 - ▶ Flavour Pointのバヨネットロックと接続部を清潔で湿った布で拭きます。
 - ▶ クリーニングコンテナからFlavour Pointにホースを接続します。
 - ▶ 飲料注出口を最低位置に引きます。
- 自動飲料注出口を備えたマシンでは、最低位置が自動的に設定されます。



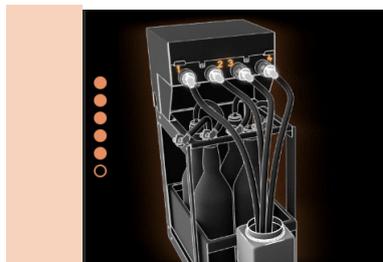
- ▶  フィールドからクリーニングプロセスを開始します。

Flavour Point クリーニングプロセス



- ☑ クリーニングプロセスが開始します。
- ☑ クリーニングプロセスは、このステップでは 約5 ~ 10 分かかります。

クリーニングコンテナを再度取り外します



- ▶ クリーニングコンテナおよびクリーニングホースを取り外します。
- ▶ シロップボトルをFlavour Pointに再接続します。



- ▶  フィールドでシロップボトルの接続を確認します。
- ☑ クリーニングプロセスが「Flavourの補充」モードに変わります。

シロップホースの充填



- ▶ シロップ1の [ポンプ開始] フィールドを選択します。
- ☑ シロップホースの充填が完了しました。
- ▶ シロップ1の [ポンプ開始] フィールドを再度選択します。
- ☑ シロップポンプが停止します。
- ☑ シロップホースが充填されています。
- ▶ シロップ2~4でこのプロセスを繰り返します。
- ☑ すべてのシロップホースが再び充填されました。
- ☑ これでFlavour Pointのクリーニングが完了しました。



- ▶  フィールドでクリーニングプロセスを完了します。
- ☑ 「Flavour Pointクリーニング」ウィンドウが閉じます。
- ☑ 再起動が自動的に実行されます。
- ☑ Flavour Point付きのコーヒーマシンは、再び使用できるようになりました。

6.11.4 冷却ユニットを解凍します



注意: 冷却内部の表面が損傷する可能性があります。先のとがったものや鋭利なもので氷の層を決して取り外さないでください。常に除霜してください。

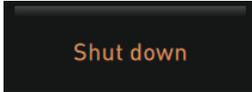
- ▶ 補助冷却ユニットの電源を切るか、電源プラグを抜きます。
- ▶ フロントドアを開けて、そのまましておきます。
- ▶ 結露水を吸収性のある布で拭き取ります。
- ▶ 氷の層が完全に溶けるまで、このプロセスを繰り返します。
- ▶ フロントドアを閉じてデバイスの電源を再度入れるか、電源プラグを差し込みます。

予告: 別冊の取扱説明書に詳しく記載されているSCソウル周辺機器のクリーニングに関する注意事項に従ってください。



「操作」 - 「スイッチを入れる」 - 「個別冷却ユニットまたは下付け冷却ユニット」のスイッチ オン/オフ方法の詳しい説明。の章を参照。

6.11.5 外側のクリーニング



予告: マシンケーシングは、研磨剤によって傷がつく可能性があります。

- ▶ クリーニングに研磨剤クリーナーを使用しないでください。
- ▶ ユーザーインターフェイスの左下にある [サービスマニュー] フィールドを選択します。
 - ☑ サーマニメニューが開きます。
- ▶ [スイッチオフ] フィールドを選択します。
 - ☑ マシンはスタンバイモードです。
- ▶ コーヒーマシンおよび周辺機器の外側を湿らせた清潔な布で拭きます。
- ▶ コントロールパネルのロックを解除し、カチッとほまるまで上にスライドさせます。
- ▶ オンボタンを使用してマシンの電源を再度入れます。
- ▶ コントロールパネルを軽く持ち上げ、カチッとほまるまで下へ押しします。
 - ☑ マシンの電源がオンになり、操作準備完了になります。



「クリーニング」 - 「毎日のマシンクリーニング」 - 「タッチスクリーンのクリーニング」。の章を参照。

6.12 HACCP洗浄計画

6.12.1 クリーニング規則および条件

取付け、メンテナンス、手入れ、そしてクリーニングが適切に行われている場合、シェーラー社のコーヒーマシンは HACCP 条件を満たしています。



警告

感染リスク! コーヒーマシンの手入れおよびクリーニングが不適切である場合、ミルクを用いた飲料の引渡しに衛生面での問題が生じます。

以下の項目に注意し、これらに従ってください。

- ▶ クリーニング中は保護手袋を着用してください。
- ▶ クリーニング前と後には丁寧に手を洗ってください。
- ▶ 毎日飲料の提供終了後、マシンをクリーニングしてください。
- ▶ 毎回ミルクを入れる前と飲料の提供終了後、ミルクコンテナを洗浄してください。
- ▶ ミルクコンテナには決して洗剤を使用しないでください。
- ▶ 飲料水タンク (内部/外部) には決して洗剤を使用しないでください。
- ▶ 洗剤は決して混合しないでください。
- ▶ 洗剤はコーヒー、ミルク、マシン用パウダーとは隔離して保管してください。
- ▶ 精練剤、ブラシ、またはその他の金属製クリーニング用具は使用しないでください。
- ▶ 飲料に触れるパーツにはクリーニング後は触れないようにしてください。
- ▶ 洗剤の使用量および安全に関する注意事項に注意し、これらを守ってください。
- ▶ 毎日および週 1 回のクリーニングは、取扱説明書に従って行ってください。

7 サービスおよびメンテナンス



さまざまな理由で完全かつ正確に完了できなかったカルキ抜きプロセスを繰り返す必要があります。マシンは、正しく完了したカルキ抜きプログラムを使用してのみ操作準備を整えることができます。

7.1 カルキ抜き



指示

カルキ抜き時間! カルキ抜きプロセスには少なくとも85分かかります。この期間中、コーヒーマシンは使用できません。

- ▶ コーヒーマシンの操作準備ができていないことを早期に伝えます。
- ▶ カルキ抜きプロセスのために少なくとも85分を計画します。

7.1.1 カルキ抜き「稼働時間!」



警告

中毒の危険! カルキ除去剤は、不適切に使用すると中毒を引き起こす可能性があります。

カルキ抜きカートリッジを取り扱うときは、以下の指示に従うことが不可欠です。

- ▶ カルキ抜きプロセス中にカルキ抜きカートリッジを取り外さないでください。常にディスプレイのプロンプトを待ちます。
- ▶ カルキ抜きカートリッジを子供から遠ざけてください。
- ▶ 付属のカルキ除去剤に素手で触れたり、同封の安全データシートを読んだりしないでください。



指示

推奨されるカルキ抜きカートリッジ! Schaeerer社が推奨する以外のカルキ抜きカートリッジを使用すると、マシンが損傷する可能性があります。

- ▶ カルキ抜きプロセスには、Schaeerer社が推奨するカルキ抜きカートリッジのみを使用してください。
- ▶ 常にパッケージから直接取り出したカートリッジを使用してください。



カルキ抜きカートリッジを使用する前に、パッケージと安全データシートに記載されている情報を注意深く目を通してください。安全データシートが添付されていない場合、販売会社にこれを請求してください。

7.1.2 カルキ抜きカートリッジ

情報

用途:	コーヒーマシンのカルキ抜き
カルキ抜き:	熱湯/スチームシステムを含むボイラーのカルキ抜き
適用間隔:	要求が出されてから






図: Schaererの「Uptime」カルキ抜きカートリッジ (パッケージ付きで使用)

7.1.3 カルキ抜きの準備

廃水出口を点検します。



指示

浸水の危険! 雫受けの廃水出口が詰まると、雫受けが浸水します。

カルキ抜きプロセスの前に排出速度を必ずチェックしてください。

廃水出口をチェックするには、次の道具が必要です。

- 1 l 水
- ストップウォッチ
- ▶ 雫受けからドリップグリッドを取り外します。
- ▶ 1 l の水を雫受けに空け同時にストップウォッチをスタートします。
 - ☑ 廃水出口が詰まっていなければ、1 l の水は30 秒以内に完全に流れ出ます。



1 l の水が必要な30 秒時間以内に流出しない場合、廃水出口が遮断されます。カルキ抜きは実行しないでください。廃水出口は、最初にサービス技術者が修理する必要があります。

必要なカルキ抜き材料の提供

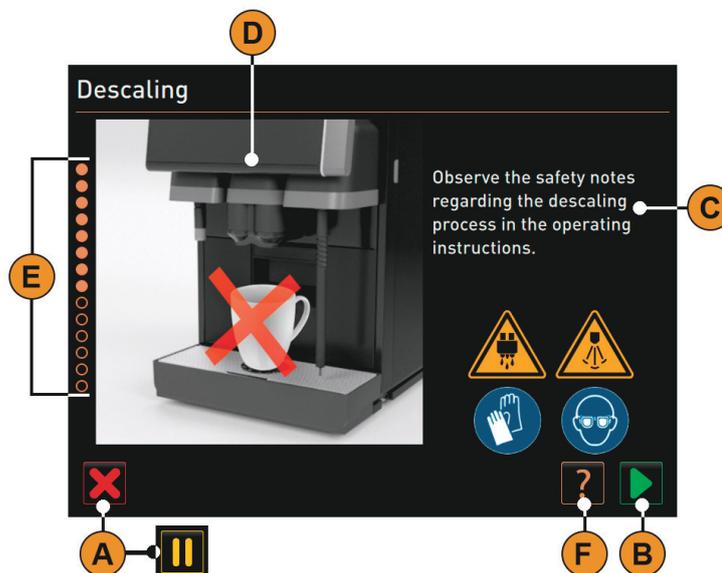
カルキ抜きの前に以下を準備してください。

- 1x Schaerer カルキ抜きカートリッジ SCソウル「Uptime!」
- 1x Schaerer クリーニングコンテナ 1l 青
- 1x Schaerer クリーニングコンテナのフタ
- 手袋
- 安全ゴーグル

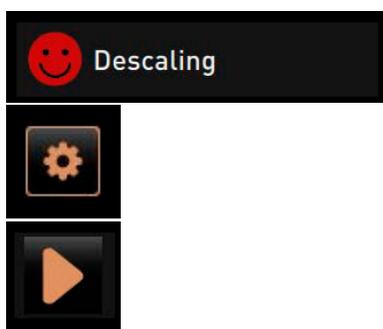
カルキ抜き中の情報

情報と制御要素:

- [A] フィールド [X] カルキ抜きプログラムの開始後のカルキ抜きのキャンセルまたは一時停止
- [B] アクション要求後の [▶] フィールド 確定
- [C] アクション要求と情報テキストの表示
- [D] アクション要求のアニメーション
- [E] クリーニングプログラム中のステップシーケンス [1~14]
- [F] [?] フィールドは、追加情報を含むウィンドウを開きます。



7.1.4 カルキ抜きプログラムを開始する



- 保留中のカルキ抜きは、サービスメニューに赤いスマイルマークで示されます。
- ▶ ユーザーインターフェイスの左下にある [サービスメニュー] フィールドを選択します。
 - サービスメニューが表示されます。
- ▶ [▶] [メンテナンス] フィールドを選択します。
 - 実行済みおよび保留中のすべてのメンテナンスが表示されます。



- ▶ 「メンテナンス」ウィンドウで [A] [▶] フィールドを選択します。
 - カルキ抜きプログラムのウィンドウが開きます。
 - 「廃水出口に詰まりがないか確認してください」という要求が表示されます。

02.01.2017 07:31 Caretaker		Last done	Due
	Descaling	02.08.2016	in 5 months 2068 litres

7.1.5 カルキ抜きプログラムのステップシーケンス

カルキ抜きカートリッジを開梱します

1)



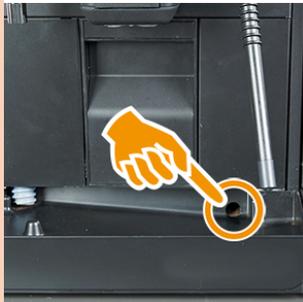
- ▶ Schaererの「Uptime!」カルキ抜きカートリッジをパッケージから取り出します。



- ▶ 次のステップのために  フィールドを選択します。
☑ 要求：カス受けの取り外し。

準備：廃水出口の点検

2)



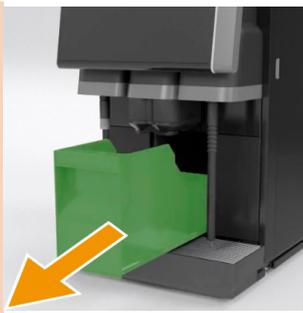
- ▶ 掬受けで廃水出口が自由に通過することを確認します。
「サービスマンテナンス」 - 「カルキ抜きの準備」 - 「廃水出口の点検」。の章参照。
情報: ディスプレイの  フィールドは、廃水出口テストの段階的な説明につながります。



- ▶ 次のステップのために  フィールドを選択します。
☑ 要求：カス受けの取り外し。

カス受けを取り外します

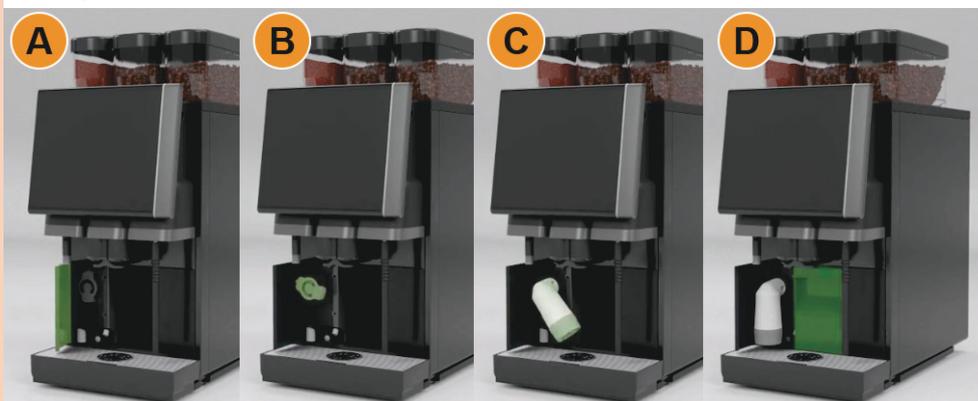
3)



- ▶ カス受けをマシンから取り外し、空にして洗浄します。
☑ 要求：カートリッジの挿入。

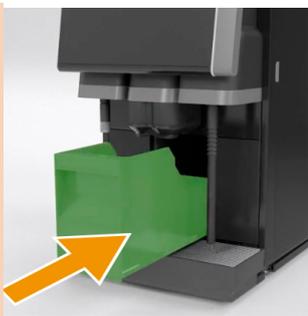
カートリッジを挿入します

- 4)
- ▶ 左前のカバーを開けます [A]。
 - ▶ 緑のキャップを左に回して取り外します [B]。
 - ▶ 開梱したばかりのカートリッジを配置し、右に回して挿入します。 [C]。
 - ☑ カートリッジが挿入されています [D]。
 - ☑ 要求：カス受けの挿入。



カス受けを再挿入します

- 5)
- ▶ 掃除したカス受けをマシンに押し込みます。
 - ☑ 要求：ミルクコンテナの取り外し (オプション)。



冷却ユニットからミルクコンテナを取り外します(オプション)

- 6)
- ▶ ミルクコンテナを冷却ユニットから取り外し、必要に応じて空にして清掃します。
 - 予告：カルキ抜きの間は、常にミルクを入れたミルクコンテナを涼しい場所に保管してください。



- ▶ 次のステップのために  フィールドを選択します。
- ☑ 要求：冷却ユニットにクリーニングコンテナを配置する。

クリーニングコンテナを冷却ユニットに入れます(オプション)

7)



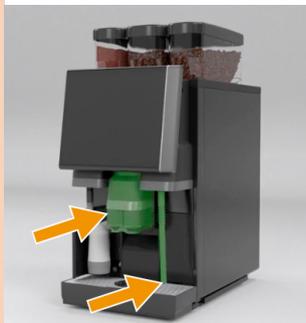
- ▶ 空のクリーニングコンテナを冷却ユニットに入れます。
- ▶ ミルクホースをクリーニングコンテナのフタに挿入します。
- ▶ 冷却ユニットのドアを閉じます。



- ▶ 次のステップのために  フィールドを選択します。
- ☑ プロンプト：飲料注出口とスチームノズル (オプション) の配置。

飲料注出口とスチームノズル (オプション) の配置

8)



- ▶ 掬受けからカップグリッドを取り外します。
- ▶ 飲料注出口を一番下の位置に押します (手動の飲料注出口の場合)。
- ▶ スチームノズル (オプション) を掬受けの中へ向けます。



- ▶ 次のステップのために  フィールドを選択します。
- ☑ 要求：取扱説明書に記載されている安全に関する注意事項を読む。

安全に関する注意事項

9a)

- ▶ 次の安全に関する注意事項を読み、それに従ってください。

**警告**

化学熱傷! 皮膚の炎症と重度の目の炎症のリスク。カルキ抜きプロセス中に酸が逃げます。

- ▶ 付属のカルキ除去剤に素手で触れたり、同封の安全データシートを読んだりしないでください。
- ▶ カルキ抜きプロセス中にカルキ抜きカートリッジを取り外さないでください。ディスプレイの要求を待ちます。

**注意**

火傷の危険! 熱湯注出口と飲料注出口は熱湯を注出します。

- ▶ 飲料注出口を最も低い注出位置に押し込みます。
- ▶ カルキ抜きプロセス中は、熱湯注出口の下に手を伸ばさないでください。

**注意**

火傷の危険! スチームノズルは熱湯を注出します。

- ▶ カルキ抜きプロセス中は、スチームノズルの下に手を伸ばさないでください。
- ▶ スチームノズルの注出口を掬受けに置きます。

カルキ抜きプロセスを開始します



カルキ抜きプロセスには少なくとも85分がかかります。一時停止フィールド [II] は、カルキ抜きを中断します。カルキ抜きプログラムは、[X] フィールドを使用してステップ[8]までキャンセルできます。

9b)



- ▶ [A] [▶] フィールドでカルキ抜きプロセスを開始します。
 - ☑ カルキ抜きの進捗状況は [%] に表示されます。
 - ☑ カルキ抜きプロセスは、約85分後に終了します。



図: カルキ抜きを開始

10)

- ☑ [A] マシンの冷却 (青色) が開始します。
- ☑ B] カルキ抜き (黄色) がアクティブです。
- ☑ すすぎ (緑色) がアクティブです。

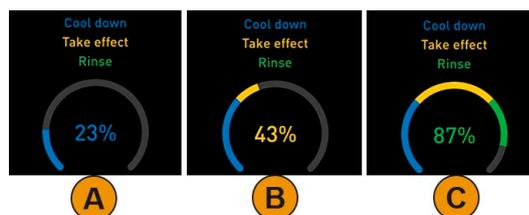


図: カルキ抜きプロセスの進捗状況に関する情報

カルキ抜きプロセスは、[II] フィールドで中断し、[▶] フィールドで続行できます。



カルキ抜きカートリッジを取り外します

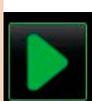
11)



警告: カルキ抜きカートリッジを取り外す前に、ディスプレイのプロンプトを待つことが重要です。

- ☐ カルキ抜きプロセスが完了しました。
- ☐ ディスプレイに表示される、カルキ抜きカートリッジを取り外すように求める要求。
- ▶ カルキ抜きカートリッジをマシンから取り外します。
 - ☑ 要求: 保護キャップを元に戻す。
- ▶ 緑の保護キャップを元に戻します。
- ▶ 左前のカバーをもう一度閉じます。

12)



- ▶ 次のステップのために [▶] フィールドを選択します。
 - ☑ 要求: クリーニングコンテナの取り外し。

冷却ユニットからクリーニングコンテナを取り外します(オプション)

13)



- ▶ ミルクホースをクリーニングコンテナのフタから抜き取ります。
- ▶ 冷却ユニットからクリーニングコンテナを取り外します。
予告: 「Twin Milk」 付きのマシン装備には、ミルクホースが2本含まれています。



- ▶ 次のステップのために [▶] フィールドを選択します。
 プロンプト: ミルクコンテナの挿入。

ミルクコンテナを冷却ユニットに置きます(オプション)

14)



- ▶ 冷却ユニットからクリーニングコンテナを取り外します。
- ▶ 冷却ユニットに冷たいミルクを入れたミルクコンテナを置きます。



- ▶ 次のステップのために [▶] フィールドを選択します。
 要求: カルキ抜きカートリッジの再注文。

カルキ抜きカートリッジを再注文する

15)



- 品番はユーザーインターフェイスに表示されます。
- ▶ 次のカルキ抜きのために、サービスパートナーにカートリッジを注文してください。
- ▶ 次のステップのために [▶] フィールドを選択します。
 要求: カルキ抜きカートリッジの再注文。

カルキ抜きプログラムを終了し、マシンを再起動します

15a)

- カルキ抜きプログラムは終了しました。
- マシンの再起動。
- 操作準備が整い、ユーザーインターフェイスが表示されます。
- 最後に実行されたカルキ抜きは、「メンテナンス」の下のサービスメニューに表示されます。

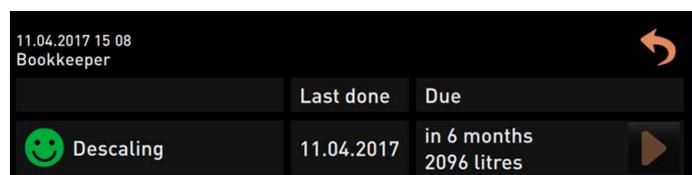


図: サービスメニュー カルキ抜きの情報を実行 (日付)

7.1.6 カルキ抜きカートリッジの廃棄

カルキ抜きカートリッジはプラスチック製で、適切にカルキ抜きした後、家庭ごみと一緒に処分できます。カルキ抜き後、カルキ抜きカートリッジは完全に空になり、水ですすぐれます。



指示

キャンセルしたカルキ抜き! 不適切に実行されて完了したカルキ抜きは、カルキ抜きカートリッジを完全に空にするわけではありません。

- ▶ 最後まで適切にカルキ抜きを行ってください。
- ▶ カルキ抜きが完了する前に、マシンをメインから切断しないでください。
- ▶ カルキ抜きがキャンセルされた場合、カルキ抜きカートリッジは地域の規制に従って有害廃棄物として処分する必要があります。

7.2 外部フィルター(オプション)



外部フィルターは、リットルでプログラムされた数字に到達後、当社公認のサービスパートナー / サービス技術者によって交換する必要があります。



「水質の補足説明書」には、水値の捕捉説明並びにフィルター技術の使用に関する情報が記載されています。補足説明書は、Schaerer社にリクエストするか、MediaPoolのWebサイト (<http://www.schaerer.com/member>) から直接ダウンロードできます。

7.3 コーヒーマシンのメンテナンス

コーヒーマシンは定期的にメンテナンスを行ってください。メンテナンスが必要になると、マシンのディスプレイにその旨が表示されます。マシンはそのまま通常通りに使用することができます。

- ▶ サービスパートナーに連絡し、メンテナンスを依頼してください。



指示

メンテナンス間隔! 適正な運転のために、保留されているメンテナンスを速やかに実施してください。メンテナンスの延期は、摩耗の兆候につながる可能性があります。

保留中のメンテナンスをサービスパートナーにできるだけ早く実行してもらいます。安全関連のコンポーネントは、耐用年数に達した後にチェックおよび/または交換する必要があります。これが遵守されない場合、Schaerer AGの責任は失効するものとします。

7.3.1 メンテナンスルーチン

メンテナンス間隔は個別のメンテナンス規定で定義されています。

- マシンに表示されるプロンプトに従って、すべてのカルキ抜き間隔を実行してください。



メンテナンス作業の1日前にカルキ抜きを実行する必要があります。



「サービスマンテナンス」 - 「カルキ抜き」 および直接「カルキ抜きプログラムの開始」。の章参照。

安全関連コンポーネント

コンポーネント	24か月	48か月	72か月
熱湯ボイラー	点検 (必要な場合のみ交換)	(交換します)	点検 (必要な場合のみ交換)
スチームボイラー	点検 (必要な場合のみ交換)	(交換します)	点検 (必要な場合のみ交換)
安全バルブ 12 bar	(交換します)	(交換します)	(交換します)
安全バルブ 5 bar	(交換します)	(交換します)	(交換します)

8 プログラミング

8.1 概要

プロフィール ログイン



[プロフィール ログイン] の下の [サービス] メニューで、エンドユーザーは次の定義済みプロフィールを使用できます。

- サービス技術者プロフィール
- 管理担当者プロフィール
- 会計担当者プロフィール
- 会計担当者 (縮小版) プロフィール
- 設備管理人プロフィール
- 品質管理マネージャープロフィール
- マシン担当者プロフィール

情報: プロフィールはサービス技術者によってがアクティブ化/非アクティブ化できます。

予告: プロフィールへのアクセスは、割り当てられたPIN (個人識別番号) で保護できます。「サービス技術者」プロフィールへのアクセスは、サービス技術者に権利があります。



「操作」 - 「メインウィンドウのタッチスクリーン」 - 「プロフィール [ログイン/ログアウト]」。の章参照。



本章では、個々のプロフィールの詳細は、以下に説明されています。

8.2 解説

ユーザーインターフェイス



- ▶ ユーザーインターフェイスの左上にある [サービスメニュー] [A] フィールドを選択し
ます。

サービスメニュー [B] が開きます。

グラフィカルユーザーインターフェイス (GUI) の背後にあるナビゲーションは、次の要素で構成されています。

[A] ユーザーインターフェイス (GUI) 飲料選択

[B] サービスメニューのナビゲーション要素

- 1 ステータスとクリーニングの開始
- 2 ステータスとメンテナンスの開始 (カルキ抜き)
- 3 ステータスとオン/オフ 原料管理
- 4 ...5など、保留中のエラーメッセージ

[C] アクティブ化されたプロフィールの選択

[D] マシン設定の設定

[E] システム情報

[F] 飲料注出の過程

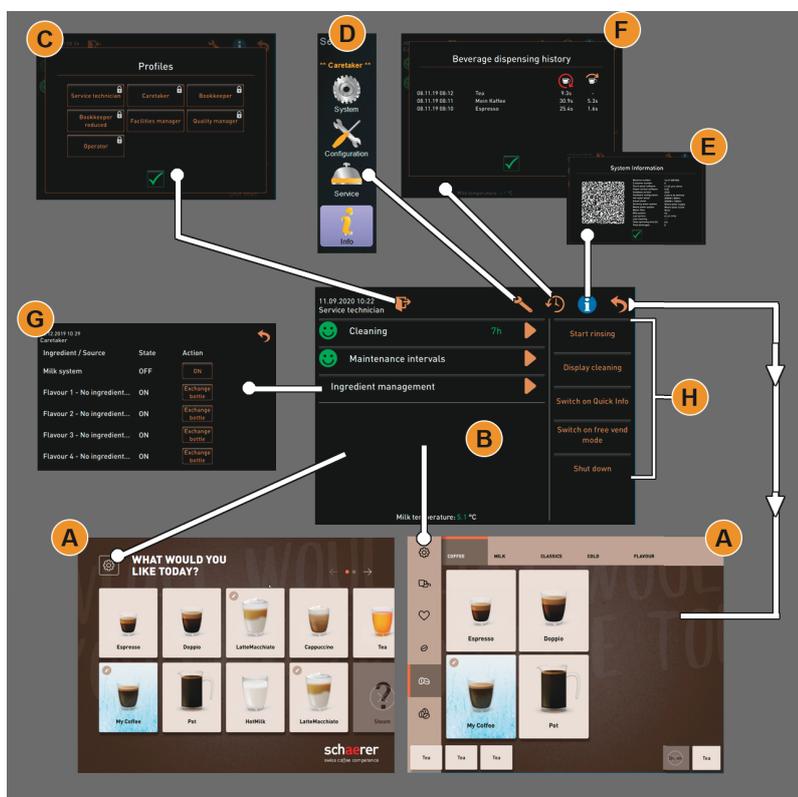


図: ナビゲーション ユーザーインターフェイス

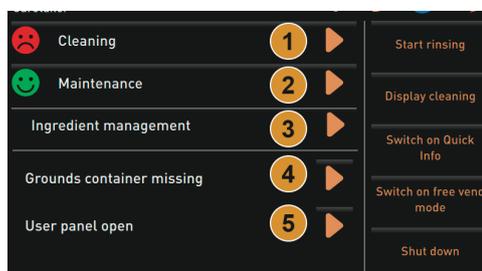
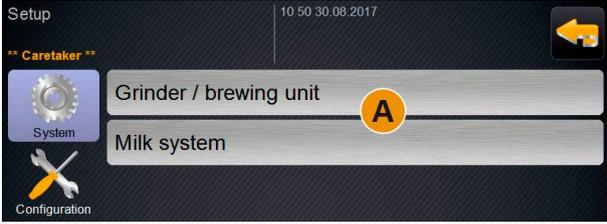


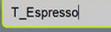
図: メンテナンスとエラーのステータスを含むサービスメニュー

ナビゲーション要素

マーク	名称	説明
	サービスメニューへの入力	ユーザーインターフェイスの左下にある [サービスメニュー] フィールドは、「サービスメニュー」ウィンドウに移動します。「操作」 - 「メインウィンドウのタッチスクリーン」 - 「サービスメニューの概要と機能範囲」の章参照。

マーク	名称	説明
	へ戻る ユーザーインターフェース 飲料選択	[戻る] フィールドは、飲料選択のユーザーインターフェイスに戻ります。
	情報 システム	[情報] フィールドは、システム情報ウィンドウを開きます。 「操作」 - 「メインウィンドウのタッチスクリーン」 - 「サービスメニューの概要と機能範囲」。の章参照。
	飲料注出の過程	[飲料注出の過程] フィールドには、すでに注出されているすべての飲料が表示されます。 飲料ごとに次の情報が表示されます。 • 飲料注出時間 • 飲料流下時間 詳細については、「操作」 - 「メインウィンドウのタッチスクリーン」 - 「サービスメニュー、機能範囲」を参照してください。 の章を参照。
	設定 メインメニュー	右上の「サービスメニュー」の [設定] フィールドは、マシン設定のパラメータを含むウィンドウを開きます。 「操作」 - 「メインウィンドウのタッチスクリーン」 - 「サービスメニューの概要と機能範囲」。の章参照。
	ログイン オペレータープロフィール	[プロフィール - ログイン] フィールドは、使用可能なプロフィールを選択するためのウィンドウを開きます。プロフィールには異なるアクセス権があります。 「操作」 - 「メインウィンドウのタッチスクリーン」 - 「サービスメニューの概要と機能範囲」。の章参照。 ▶ [プロフィール - ログイン] を選択します。 ☑ プロフィールを選択するためのウィンドウが開きます。 ▶ プロフィールを選択し、設定されている場合はPINを入力します。 ☑ サービスメニューが再度表示されます。 ☑ [プロフィール - ログイン] フィールドが[プロフィール - ログアウト] に変わります。 情報: プロフィールが適切な権限でログインしている場合、[設定] フィールドが表示されます。
	ログアウト オペレータープロフィール	[プロフィール - ログアウト] フィールドは、現在ログインしているプロフィールを閉じます。 情報: 「設定」 フィールドは使用できなくなりました。

マーク	名称	説明
 System  Configuration  Service  Info	設定 マシン設定	<p>マシン設定は、次の設定に分かれています。</p> <ul style="list-style-type: none"> システム 設定 サービス 情報 <p>そこに表示されるパラメータは、選択したプロフィールの許可によって異なります。</p> <p>情報: すべての設定と設定オプションは、「サービス技術者」プロフィールに一覧表示されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ [システム]などの設定を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> [システム]など、現在アクティブな設定は色で強調表示されます。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用可能な設定 [A] がウィンドウの右側に一覧表示されません。
		
<p>図: サブメニュー付きのメインメニューシステム</p> <p>「プログラミング」 - 「プロフィールと承認」。の章を参照。</p>		
	再起動	[再起動] フィールドは、マシンの再起動をアクティブにします。 マシン設定が実行された後、再起動が不可欠です。
	設定	[設定] フィールドは、次の設定ウィンドウを開きます。 <ul style="list-style-type: none"> 成分ソース 飲料 特定の設定のための飲料ステップ
	アクティベーション 確認	[アクティベーション/確認] フィールドは、割り当てられたコーヒーの種類や温度設定などの選択を確認します。
	削除	[削除] フィールドは、次の設定を削除します。 <ul style="list-style-type: none"> 値または飲料を削除/ゼロに設定 飲料の注出を中断 メディアデータを選択するためのウィンドウを閉じます
	確認 アクション要求	[確認] フィールドを使用すると、実行されたアクション要求を確認できます。
	次へ 選択リスト	[次へ] フィールドは、選択リストを開くか、次のプログラムステップに進みます。
	ウィンドウに戻る	[ウィンドウに戻る] フィールドは前のウィンドウに戻ります。
	保存	[保存] フィールドは、行われたパラメータ設定を保存します。
	コピー	[コピー] フィールドは、追加の飲料設定の基礎として、設定済みの飲料をコピーします。

マーク	名称	説明
	追加	[追加] フィールドは、飲料または飲料ステップを追加します。 情報: 飲料は利用可能な飲料リストから取られます。追加の飲料は、設定済みの飲料リストに自動的に追加されます。
	設定 飲料ステップ	[飲料ステップ設定] フィールドは、個々の飲料ステップでの飲料設定の設定につながります。
	構造ツリー 開く	フィールド [-] は、統計で構造ツリーを開きます。
	入力フィールド	表示されるキーボードを使用して、「入力フィールド」に飲料名、飲料グループ、添加物、またはメニューカードの名前を入力できます。 予告: 入力フィールドをタップすると、キーボード入力が開きます。
	キーボード	入力フィールドのテキストまたは番号を入力するためのキーボード。 上記の「入力フィールド」も参照してください。
	パラメータ値	<p>充填量や温度などのパラメータ値は、[パラメータ値] コントロールパネルで設定できます。</p> <p>バリエーション：調整ホイールによる設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ホイールを上下に回して希望の値を設定します。 ▶ [アクティベーション/確認] フィールドを押して設定値を確定します。 <p>バリエーション：キーボードによる設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 現在設定されている設定 [A] のフィールドをタップします。 <ul style="list-style-type: none"> ☑ キーボード入力が開きます。 ☑ 最低そして可能な設定 [B] の最高が表示されます。 ▶ フィールド [D] で現在の設定を削除します。 <ul style="list-style-type: none"> ☑ ナンバーパッドがアクティブになります。 ▶ キーボード [C] を使用して新しい設定を入力します。 ▶ [E] フィールドで設定を確認してください。
	オン/オフ 機能	[オン/オフ] フィールドは、機能をアクティブまたは非アクティブにします。 緑色に点灯 = オン グレーマット = オフ
	値の設定 下矢印 上矢印	日付と時刻の値は、[下矢印] または [上矢印] フィールドを使用して設定されます。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 設定する値を指でタップします。 <ul style="list-style-type: none"> ☑ 値がマークされます。 ▶ [下矢印/上矢印] フィールドで強調表示された値を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ☑ 時刻または日付が設定されます。 ▶ [保存] フィールドは設定を保存します。

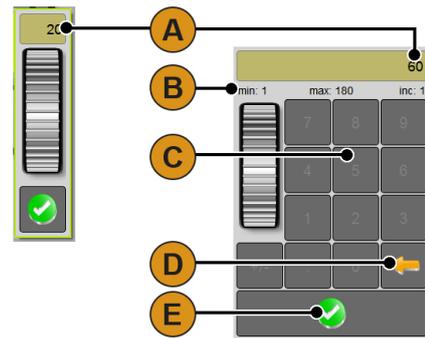
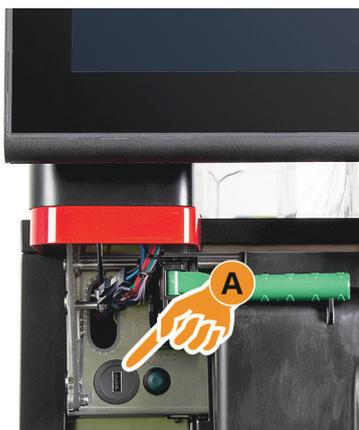


図: キーボードによるパラメータ値の入力

8.3 USB 接続口

データ交換インターフェース



ソフトウェアの更新、データの保存、またはデータ交換は、Schaerer コーヒーソウルでUSBスティックを使用して実行されます。USBアクセスは、コントロールパネルの裏側にあります。

- ▶ コントロールパネルのロックを解除し、自動的にカチッとハマるまで上にスライドさせます。

☑ USBポート [A] は左側のオン/オフボタンの隣にあります。

「操作」 - 「コントロールパネルを開く」。の章を参照。

8.4 プロフィールと承認

8.4.1 プロフィール認証の概要

設定	設定/パラメータ	管理担当者	会計担当者	会計担当者 (縮小版)	設備管理人	品質管理マネージャー	マシン担当者
システム	 グラインダー / 抽出ユニット <ul style="list-style-type: none"> ・ カス受けの容量 [50] ・ カス受けを空にする時間 [5] ・ カス受けの現在のカウンター ・ 中央、右グラインダー校正値 	X	-	-	-	-	-
	ミルクシステム (ミルクレベルのモニター) <ul style="list-style-type: none"> ・ ミルクコンテナ ・ ミルク 1 ホース長 ピンチバルブ冷却ユニット ・ ミルク 2 ホース長 ピンチバルブ冷却ユニット ・ ミルクモニターの設定 	X	-	-	-	-	-
	Flavour Point (Flavour 充填レベルの監視)	X	-	-	-	-	-
設定	 一般 (言語)	X	X	X	X	X	X
	時刻/日付/タイマー (月曜日 ~ 日曜日)	X	-	-	-	-	-
	メニューカード (飲料フィールド)	-	X	X	X	-	-
サービス	 グラインダーサービス	X	-	-	-	-	-
	データベースのバックアップ	X	-	-	-	-	-
	 カルキ抜きカウンターをリセット	X	-	-	-	-	-
	カルキ抜き / クリーニングをリセットする	X	-	-	-	-	-

設定	設定/パラメータ	管理担当者	会計担当者	会計担当者 (縮小版)	設備管理人	品質管理マネージャー	マシン担当者
情報	 バージョンを表示する	X	X	X	X	X	X
	マシンカウンター	X	-	-	X	-	-
	飲料統計	X	X	X	X	-	-
	クリーニングの統計	X	-	-	X	X	-
	メンテナンスの統計	X	-	-	-	-	-
	飲料注出統計	X	X	X	X	-	-
	水の硬度に関する統計	X	-	-	-	-	-
	マシンのアカウンティング統計	X	X	X	X	-	-
飲料のアカウンティング統計	X	X	X	X	-	-	

 手動でクリーニングまたはカルキ抜きを開始するためにサービスメニューで使用可能なオプションは、マシン担当者、管理担当者、またはサービス技術者に委ねられています。

8.5 管理担当者プロフィール



情報: 「管理担当者」は、技術的な障害が発生した場合の最初の連絡先です。基本の技術的ノウハウを有しており、定期的にコーヒーマシンの関連作業に従事しています。

「サービスメニュー」の [管理担当者] プロフィールで直接選択できる機能は次のとおりです。

- すすぎの開始
- タッチスクリーンのクリーニング
- クイック情報 オン/オフにする
- 無料販売をオンにする (支払いシステムを使用)
- スイッチを切る
- クリーニング (マシン/ Flavour Point) を開始します
- メンテナンス (カルキ抜き) を開始します
- 原料管理

「操作」 - 「サービスメニューの機能範囲」。の章を参照。



[管理担当者] プロフィールには、次の設定が含まれています。

- システム
- 設定
- サービス
- 情報



設定にアクセスするための「操作」 - 「プロフィール [ログイン/ログアウト]」。の章参照。



本章では、使用可能な設定の内容について説明します。

8.5.1 システム (管理担当者)

設定> 「システム」 - 「グラインダー/抽出ユニット」



カス受けの容量



「カス受けを空にする」というメッセージまでのサイクル数 (コーヒーケーキ) を設定します。

設定範囲: 0 ~ 100

標準: 60 (コーヒーケーキ)

注意: [60] コーヒーケーキの標準設定を超えないようにしてください。

▶ 60サイクルの標準設定を設定します。

マシン設備がオプション「カスの処理」で設定されている場合は、値 [0] を設定する必要があります。これにより、抽出ユニットサイクルは無視されます。

マシンは、65回の抽出サイクル (+5) の後、カス受けが空になるまで、コーヒー飲料の注出をブロックします。

カス受けを空にする時間



空にした後、「現在のカス受けカウンター」が再び [0] に設定されるまでの時間の設定。

設定範囲: 0 ~ 30 秒

標準: 5 秒

▶ デフォルト設定の5秒に設定します。

▶ 空のメッセージの後にカス受けを空にします。

▶ 早くても5秒の後に、空になったカス受けを再挿入します。

「カス受けの現在のカウンター」は [0] にリセットされます。

カス受けが短時間だけ引き出され、すぐに再び押し戻された場合、カウンターは保持され、リセットされません。

カス受けの現在のカウンター



最後にカス受けが空にされてから実行された抽出サイクルに関する情報。

設定範囲: 設定できません

標準: 抽出サイクルの連続カウント。

プリセット値[60]に達すると、カス受けを空にする要求が表示されます。

パラメータ「カス受けの容量」も参照してください。

中央グラインダーのキャリブレーション値は10です 秒



中央グラインダーのグラインダーキャリブレーション時に決定されたグラム単位のキャリブレーション値。

設定範囲: 1.0 ~ 50.0 g

標準: 対応するキャリブレーションが実行されました。

▶ 「サービス」 - 「グラインダーサービス」の設定でキャリブレーションを開始します。

▶ ウィザードを使用してキャリブレーションを実行します。

▶ このパラメータで決定された値を設定します。

中央グラインダーのグラインダーキャリブレーションが完了しました。

注出されるコーヒーの量は、コーヒーレシピで設定されたコーヒーの量に対応します。

予告: このパラメータに表示されている [g] のキャリブレーション値は、サービス技術者がグラインダーキャリブレーションを行わずに、中央グラインダーからのコーヒー飲料のブランケット調整のために変更することができません。

キャリブレーション値を調整すると、中央グラインダーに割り当てられているすべてのコーヒーレシピに影響します。

設定> 「システム」 - 「グラインダー/抽出ユニット」



右グラインダーのキャリブレーション値は10です 秒



右グラインダーのグラインダーキャリブレーション時に決定されたグラム単位のキャリブレーション値。

設定範囲: 1.0 ~ 50.0 g

標準: 対応するキャリブレーションが実行されました。

- ▶ 「サービス」 - 「グラインダーサービス」の設定でキャリブレーションを開始します。
- ▶ ウィザードを使用してキャリブレーションを実行します。
- ▶ このパラメータで決定された値を設定します。
 - 右グラインダーのグラインダーキャリブレーションが完了しました。
 - 注出されるコーヒーの量は、コーヒーレシピで設定されたコーヒーの量に対応します。

予告: このパラメータに表示されている [g] のキャリブレーション値は、サービス技術者がグラインダーキャリブレーションを行わずに、右グラインダーからのコーヒー飲料のプランケット調整のために変更することができません。

キャリブレーション値を調整すると、右グラインダーに割り当てられているすべてのコーヒーレシピに影響します。

左グラインダーのキャリブレーション値は10です 秒



左グラインダーのグラインダーキャリブレーション時に決定されたグラム単位のキャリブレーション値。

設定範囲: 1.0 ~ 50.0 g

標準: 対応するキャリブレーションが実行されました。

- ▶ 「サービス」 - 「グラインダーサービス」の設定でキャリブレーションを開始します。
- ▶ ウィザードを使用してキャリブレーションを実行します。
- ▶ このパラメータで決定された値を設定します。
 - 左グラインダーのグラインダーキャリブレーションが完了しました。
 - 注出されるコーヒーの量は、コーヒーレシピで設定されたコーヒーの量に対応します。

予告: このパラメータに表示されている [g] のキャリブレーション値は、サービス技術者がグラインダーキャリブレーションを行わずに、左グラインダーからのコーヒー飲料のプランケット調整のために変更することができません。

キャリブレーション値を調整すると、左グラインダーに割り当てられているすべてのコーヒーレシピに影響します。

設定> 「システム」 - 「ミルクシステム」 - 「ミルクコンテナ」



ミルクコンテナ*

Schaerer Standard



ミルクコンテナまでのミルクホースの長さの検出。

設定範囲: なし、サービス技術者> [ユーザー定義 / Schaerer 標準]

標準: Schaerer 標準

ミルクコンテナ内のライザーパイプの有無に関わらず、有効なミルクホースの長さを設定します。

バリエーション：ユーザー定義

- ▶ 選択から [ユーザー定義] を選択します。
 - ミルクホースの長さは自動的に記録されません。
- ▶ ミルクコンテナからマシンのピンチバルブまでのミルクホースの正確な長さを測定し、パラメータ「ミルク1 ホース長 ピンチバルブ -> クールセル」で決定された値を設定します。

次のパラメータの説明「ミルク1 ホース長 ピンチバルブ -> クールセル」を参照してください。

バリエーション：Schaerer 標準

- ▶ 選択から [Schaerer 標準] を選択します。
 - ミルクホースの長さは自動的に記録されます。
 - 以下のパラメータの標準設定 [37 cm] は、それ以上の調整は必要ありません。

次のパラメータの説明「ミルク1 ホース長 ピンチバルブ -> クールセル」を参照してください。

ミルク 1ホース長
ピンチバルブ->クールセル*

ピンチバルブから外部ミルクホースのクールセルまでのミルクホースの寸法の設定。

設定範囲: なし、サービス技術者> [0 ~ 200 cm]

標準: 37 cm (「Schaerer 標準」を選択)

上記の「ミルクコンテナ」パラメータで「ユーザー定義」オプションが選択されている場合は、ミルクホースの正確な長さを決定する必要があります。

- ▶ マシンのピンチバルブからクールセルのミルクコンテナまでのミルクホースの長さを測定します。
- ▶ パラメータで決定された値を設定します。
 - これで、システムはミルクホースの長さを認識します。
 - 正しい量のミルクは、「外部ミルクホースのすすぎ間隔」と定期的に交換されます。

標準装備の「補助冷却ユニット左」では、前のパラメータ「ミルクコンテナ」で「Schaerer 標準」を選択します。この設定では、37 cm のプリセット値に正しいミルクホースの長さが含まれます。

「非標準装備」の牛乳システム:

- マシンの左側にある冷却ユニット
- 「Twin Milk」装置を備えた冷却ユニット
- カウンター下冷却ユニット
- カップ&クールやセンターミルクなどのすべての補助装置
- 下受け冷却ユニット

ミルク 2ホース長
ピンチバルブ->クールセル*

ピンチバルブから「Twin Milk」の第2ミルクホース用クールセルまでのミルクホースの寸法の設定。

設定範囲: なし、サービス技術者> [0 ~ 200 cm]

標準: 37 cm (「Schaerer 標準」を選択)

パラメータの説明については、上記の「ミルク 1 ホース長」パラメータを参照してください。

* パラメータは、選択したプロフィールの情報としてのみ表示されます。パラメータ設定はサービス技術者に権利があります。

設定> 「システム」 - 「ミルクシステム」 - 「ミルクモニターの設定」



ミルクレベルのモニター



ミルクコンテナのレベルモニターの方法の設定。

設定範囲: モニターなし / 警告 / 飲料注出のロック

標準: モニターなし

バリエーション: モニターなし

ミルクモニターは構成されていますが、使用されていません。

バリエーション: 警告

低ミルクレベルが検出されると、ディスプレイにメッセージが表示されます。追加の乳飲料を注出することが可能です。

バリエーション: 飲料注出のロック

低ミルクレベルの場合、タッチスクリーンにメッセージが表示されます。乳飲料の注出はロックされています。



ハードウェア検出でハードウェア装備「Flavour Point」が選択されている場合、設定画面「システム」でパラメータ「Flavour Point」が表示されます。

設定> 「システム」 - 「Flavour Point」 - 「Flavour 充填レベルの監視」



レベルのモニター
Flavour Point



シロップボトルのレベルモニターの方法を設定します。

設定範囲: モニターなし / 警告 / 飲料注出のロック

標準: モニターなし

バリエーション: モニターなし

シロップのレベルモニターが設定されていますが、使用されていません。

バリエーション: 警告

シロップの表面で低レベルが検出されると、ディスプレイにメッセージが表示されます。他のフレーバー飲料を注出することは可能です。

バリエーション: 飲料注出のロック

シロップレベルが低レベルに達すると、タッチスクリーンにメッセージが表示されます。フレーバー飲料の注出がブロックされています。

8.5.2 設定 (管理担当者)

設定> 「構成」 - 「一般」



主言語

Deutsch

ディスプレイ言語の切替え。

設定範囲: 保存されているすべての言語。

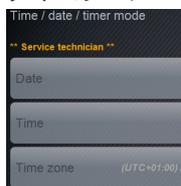
標準: 自由選択。

- ▶ フィールドで選択メニューを開きます。
 - 選択メニューが現れます。
- ▶ 任意の言語を選択します。
- ▶ フィールドで選択を保存します。
- ▶ フィールドを使用して、パラメータと「構成」設定を終了します。
 - マシンが再起動します。
 - 以前に選択した言語が表示されます。

すべての表示メッセージとパラメータ指定は、アクティブ化された言語で表示されます。

- ▶ 設定「構成」 - 「時刻 / 日付 / タイマーモード」を選択します。
 - すべてのパラメータが1つの設定に対してリストされています。

設定> 「構成」 - 「時刻 / 日付 / タイマーモード」

日付
時間
タイムゾーン

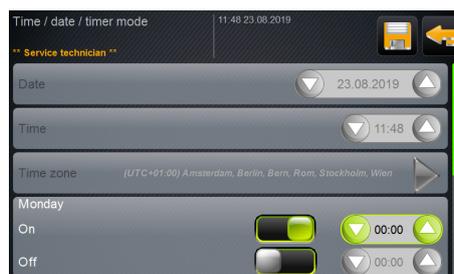
日付と時刻を含む事前設定されたタイムゾーンに関する情報。

設定範囲: 設定できません。

「サービス」 - 「試運転を開始」して、設定されたタイムゾーンを変更します。
の章参照。

標準: 国固有/ユーザー固有

タイムゾーンは、試運転プログラム中に選択されます。タイムゾーンを設定すると、選択したゾーンから時刻と日付が自動的に採用されます。



利用可能なタイムゾーン:

- アジア
- アフリカ
- オーストラリア
- ヨーロッパ
- 北米
- 南アメリカ

各タイムゾーンには、「中央ヨーロッパ時間(CET/MEZ)」など、さらに細分化されています。

設定 > 「構成」 - 「時刻 / 日付 / タイマーモード」



月曜日のオン / オフから
日曜日のオン / オフまで



自動スイッチオン/スイッチオフ時間のプログラミング。

設定範囲: 曜日 / スイッチオン時間 / スイッチオフ時間 / 時刻

標準: ユーザー固有

- ▶ フィールドを使用して、目的の平日のスイッチオン時間をアクティブにします。
 - 時刻設定ウィンドウがアクティブになります。
- ▶ フィールド で時刻を設定します (例: 07:00 (07:00AM))。
- ▶ フィールドを使用して、目的の平日のスイッチオフ時間をアクティブにします。
 - 時刻設定ウィンドウがアクティブになります。
- ▶ フィールド で時刻を設定します (例: 22:30 (10:30PM))。



選択したタイムゾーンに応じて、対応する時間形式 (24時間または12時間AM/PM) が自動的に変更されます。

8.5.3 サービス (管理担当者)

設定 > 「サービス」 - 「グラインダーサービス」 (粉砕度を手動で調整する場合)



「グラインダーサービス」設定は、確認後、グラインダーで次のディスプレイガイド付きサービス機能を開始します。

- 粉砕ゲージの交換
- グラインダーの編集
- グラインダーの校正



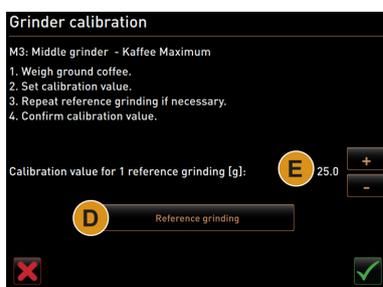
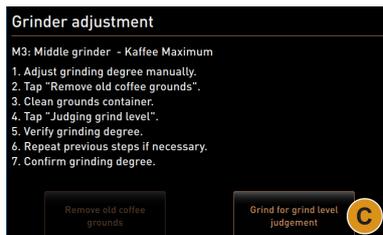
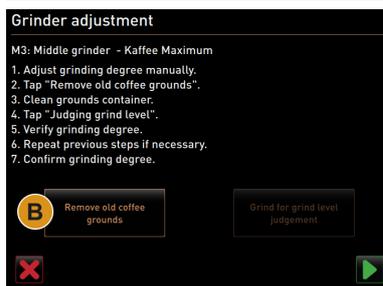
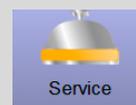
- ▶ 設定 > 「サービス」 - 「グラインダーサービス」を選択します。
 - 確認用ウィンドウが開きます。
- ▶ フィールドでグラインダーサービスを確認します。
 - グラインダーのサービス機能を利用できます。
- ▶ 目的のグラインダーのレジスター (左、右、中央) を選択します。



バリエーション: 粉砕ゲージの交換 [A]

- ▶ [A] [粉砕ゲージの交換] フィールドを選択します。
 - 粉砕ゲージの交換要求が表示されます。
- 粉砕ゲージを交換するには、次の取り付け手順を実行します。
- [A] 手動の粉砕度調整を取り外し、新しい粉砕ゲージを取り付けます。
 - [B] 抵抗を感じるまで、空のグラインダーを手で閉じます (粉砕ゲージ上の粉砕ゲージ)。
 - [C] グラインダーを45°(反時計回り) 開きます。
 - [D] 手動粉砕度調整を再度取り付けます。
 - [E] フィールドで「粉砕ゲージの交換」のインストール手順を完了します。
 - 「粉砕度調整の準備」の準備手順が表示されます。

設定 > 「サービス」 - 「グラインダーサービス」 (粉砕度を手動で調整する場合)



バリエーション：グラインダーの調整 [B + C]

- ▶ 「粉砕ゲージの交換」後も設定手順を続行するか、[グラインダーの調整] フィールドを直接選択してください。
 - 「粉砕度調整の準備」の準備手順が表示されます。
- ▶ カス受けを空にして、清掃し、再度挿入します。
- ▶ [▶] フィールドで使用済みカス受けを確認します。
- ▶ 豆の粉砕度を手動で設定します。
- ▶ 古いコーヒー粉を除去し、フィールド [B] を選択します。
 - 古い挽いたコーヒーは削除されます
 - [粉砕度評価用のための粉砕] [C] フィールドがアクティブになります。
- ▶ カス受けを再度清掃します
- ▶ [C] [粉砕度評価用のための粉砕] フィールドを選択します。
- ▶ 粉砕度を確認し、必要に応じて、粉砕度を設定する手順を繰り返すか、[▶] フィールドで設定した粉砕度を確認してください。
 - グラインダーを校正するための準備が表示されます。

バリエーション：グラインダーの校正 [D+E]

- ▶ 「グラインダーの調整」後も設定を続けるか、[グラインダーの校正] フィールドを直接選択してください。
 - 「校正」の準備手順が表示されます
- ▶ カス受けを空にして、清掃し、再度挿入します。
- ▶ [▶] フィールドで使用済みカス受けを確認します。
 - 参照粉砕はすぐに始まります。
- ▶ 必要に応じて、[参照粉砕] フィールドで別の参照粉砕をアクティブにします

複数の参照粉砕を行う場合、これから生じる粉砕コーヒーの総量を常に計量し、基準値として入力する必要があります。マシンは、トリガーされたすべての粉砕を自動的に検出し、それらを使用して正しい粉砕量を計算します。

- ▶ 参照粉砕の挽いたコーヒーの重さを量ります。
- ▶ 2つのフィールド [E] [+/-] を使用して、校正値 (決定された挽いたコーヒーの重量) を設定します。
- ▶ [✓] フィールドでグラインダーの校正を終了します。
 - 「グラインダーサービス」ウィンドウが再度表示されます。
 - これで、設定したグラインダーの操作準備が再び完了しました。

次の場合は、校正を実行する必要があります。

- マシンが新品であるか、または1年間の運用後。
- 粉砕レベルが変更された場合。
- グラインダーが開いている場合。
- 粉砕ゲージが交換される場合。
- コーヒーの種類が変わる場合。



自動グラインダー調整のためのグラインダーサービスでは、グラインダーの初期化と豆の粉碎度モーターによるグラインダーの調整も必要です。

設定 > 「サービス」 - 「グラインダーサービス」 (粉碎度を自動で調整する場合)



「グラインダーサービス」設定は、確認後、グラインダーで次のディスプレイガイド付きサービス機能を開始します。

- 粉碎ゲージの交換
- グラインダーの編集
- グラインダーの初期化
- グラインダーの校正

マシンには、自動グラインダー調整が装備されています。

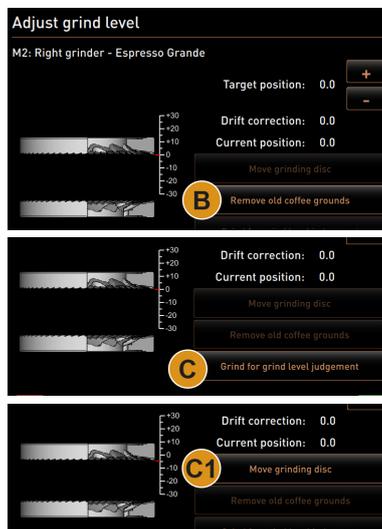


- ▶ 設定 > 「サービス」 - 「グラインダーサービス」を選択します。
 - 確認用ウィンドウが開きます。
- ▶ フィールドでグラインダーサービスを確認します。
 - グラインダーのサービス機能を利用できます。
- ▶ 目的のグラインダーのレジスター (左、右、中央) を選択します。



バリエーション： 粉碎ゲージの交換 [A]

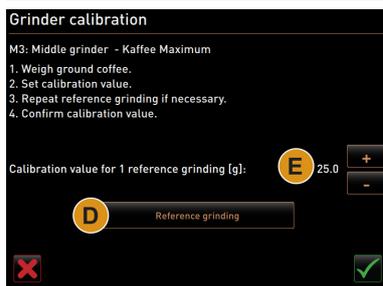
- ▶ [A] [粉碎ゲージの交換] フィールドを選択します。
 - 粉碎ゲージの交換要求が表示されます。
- 粉碎ゲージを交換するには、次の取り付け手順を実行します。
- [A] 豆の粉碎度モーターを取り外し、新しい粉碎ゲージを取付けます。
 - [B] 抵抗を感じるまで、空のグラインダーを手で閉じます (粉碎ゲージ上の粉碎ゲージ)。
 - [C] グラインダーを45°(反時計回り) 開きます。
 - [D] 豆の粉碎度モーターを再び取付けます。
 - [E] フィールドで「粉碎ゲージの交換」および「グラインダーの初期化」のインストール手順を確認します。
 - 「粉碎度調整の準備」の準備手順が表示されます。



バリエーション： グラインダーの調整 [B + C]

- ▶ 「粉碎ゲージの交換」後も設定手順を続行するか、[グラインダーの調整] フィールドを直接選択してください。
 - 「粉碎度調整の準備」の準備手順が表示されます。
- ▶ カス受けを空にして、清掃し、再度挿入します。
- ▶ フィールドで使用済みカス受けを確認します。
- ▶ 古いコーヒー粉を除去し、フィールド [B] を選択します。
 - 古いコーヒー粉が除去されます。待機します。
- ▶ [C] 「粉碎度評価用のための粉碎」フィールドを選択します。
 - 粉碎が実行されます。
- ▶ 2つのボタン [+]= より粗く、または [-]= より細かくをタップして、粉碎度を選択します。
 - 予告: 粉碎度調整は少しずつ (±1)行います。
- ▶ 「粉碎ゲージの移動」 [C1] フィールドで事前に設定した位置に粉碎ゲージを設定します。
- ▶ 粉碎度を確認し、必要に応じて、粉碎度を設定する手順を繰り返すか、 フィールドで設定した粉碎度を確認してください。
 - グラインダーを校正するための準備が表示されます。

設定 > 「サービス」 - 「グラインダーサービス」 (粉碎度を自動で調整する場合)



バリエーション：グラインダーの校正 [D+E]

- ▶ 「グラインダーの調整」後も設定を続けるか、[グラインダーの校正] フィールドを直接選択してください。
 - 「校正」の準備手順が表示されます
- ▶ カス受けを空にして、清掃し、再度挿入します。
- ▶ [▶] フィールドで使用済みカス受けを確認します。
 - 参照粉碎はすぐに始まります。
- ▶ 必要に応じて、[参照粉碎]フィールドで別の参照粉碎をアクティブにします

複数の参照粉碎を行う場合、これから生じる粉碎コーヒーの総量を常に計量し、基準値として入力する必要があります。マシンは、トリガーされたすべての粉碎を自動的に検出し、それらを使用して正しい粉碎量を計算します。

- ▶ 参照粉碎の挽いたコーヒーの重さを量ります。
- ▶ 2つのフィールド [E] [+/-] を使用して、校正値 (決定された挽いたコーヒーの重量) を設定します。
- ▶ フィールドでグラインダーの校正を終了します。
 - 「グラインダーサービス」ウィンドウが再度表示されます。
 - これで、設定したグラインダーの操作準備が再び完了しました。

次の場合は、校正を実行する必要があります。

- マシンが新品であるか、または1年間の運用後。
- 粉碎レベルが変更された場合。
- グラインダーが開いている場合。
- 粉碎ゲージが交換される場合。
- コーヒーの種類が変わる場合。



バリエーション：グラインダーの初期化

故障の後や、粉碎ゲージを交換した後は、自動粉碎度調整の初期化が必要です。

- ▶ デ스플레이ガイドによる指示を実行します。

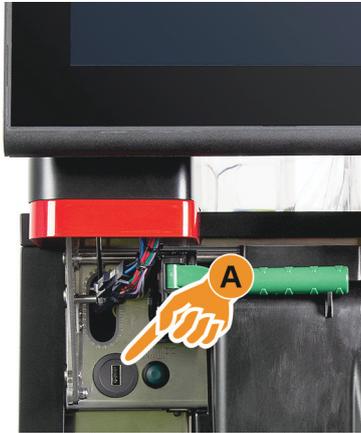
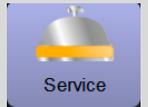
次のステップは初期化のために必要です：

- [A] 豆の粉碎度モーターを取り外し、新しい粉碎ゲージを取付けます。
- [B] 抵抗を感じるまで、空のグラインダーを手で閉じます (粉碎ゲージ上の粉碎ゲージ)。
- [C] グラインダーを45°(反時計回り) 開きます。
- [D] 豆の粉碎度モーターを再び取付けます。
- [E] [▶] フィールドでインストール手順「グラインダーの初期化」を確認します。



データベース全体のデータバックアップを USBスティック上で実行。

設定 > 「サービス」 - 「データベースのバックアップ」



- ▶ コントロールパネルを持ち上げます。
- ▶ USBスティックをUSBインターフェース [A] に挿入します。
- ▶ 設定「サービス」 - 「データベースのバックアップ」を選択します。
 - マシンのデータベースはUSBスティックに保存されます。
 - 保存されたデータベースのバージョンは、インストールされているマシンソフトウェアのバージョンと互換性があります。
 - 「データのバックアップが完了しました」という情報がディスプレイに表示されます。
- ▶ USBスティックを再度取り外します。
- ▶ コントロールパネルを閉じます。

データベースは、USBスティックのストレージ構造「Schaerer」 - 「SCA3」 - 「backup」 - 「database」 - 「sca3db.db3_20170623_112422」に保存されます。

予告: データベースは、タッチスクリーンに挿入されたSDメモリカードに5分ごとに自動的に保存されます。同時に、ストレージプロセスはメインボード上で直接行われます。USBスティックにデータベースを手動で保存する場合は、通常、更新前に実行する必要があります。「ダウングレード」時には、この保存されたデータベースバージョンは、古いマシンソフトウェアと再び互換性があります。

次のデータがUSBスティックに保存されます。

- マシン番号
- 飲料のレシピ
- ハードウェア設定
- すべてのメーター読み取り値

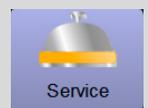


指示

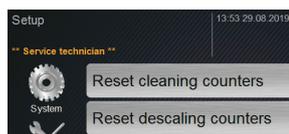
タッチスクリーンには、マシンデータを保存するためのSDメモリカードが含まれています。

- ▶ タッチスクリーンを交換する前に、データベースをUSBスティックに保存する必要があります。
- ▶ 以前に使用したSDメモリカードは、新しく挿入したタッチスクリーンに挿入できません。これにより、迅速な操作準備が可能になります。

設定 > 「サービス」 - 「カルキ抜きカウンターのリセット」

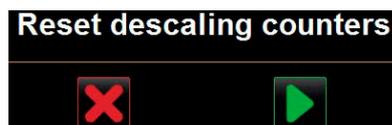


カルキ抜きカウンターをリセット



パラメータは、保留中のカルキ抜きをオフにします。

- ▶ 設定 > 「サービス」を選択します。
- ▶ 設定「サービス」 - 「カルキ抜きカウンターのリセット」を選択します。
 - 確認用ウィンドウが開きます。



- ▶ フィールドで「カルキ抜きカウンターのリセット」プロセスを確認します。
 - カルキ抜きカウンターがリセットされ、保留中のカルキ抜きが削除されます。
 - 次の自動カルキ抜きは、「システム」 - 「メンテナンス」設定の構成に従って行われます。



指示

カルキ抜きを行わないと、損傷や誤動作につながる可能性があります。

カウンターのリセットによって自動的に実行されなかったカルキ抜きは、迅速に実行し、それに応じて手動で開始する必要があります。



クリーニングまたはカルキ抜きをキャンセルした後、マシンのステータスはクリーニングまたはカルキ抜きモードのままになります。とにかくモードを終了できるようにするには、クリーニングまたはカルキ抜きフラグをリセットする必要があります。クリーニングまたはカルキ抜きプログラムは、[X]フィールドを使用してキャンセルできます。停電は、進行中のクリーニングまたはカルキ抜きも中断します。



警告

クリーニングまたはカルキ抜きのキャンセルによる洗浄剤およびカルキ除去剤の残留物は、健康上の問題につながる可能性があります。

クリーニングまたはカルキ抜きがキャンセルされた後は、飲料を注出することはできません。

完全に完了していないクリーニングは、クリーニングフラグがリセットされた後、すぐに再開する必要があります。

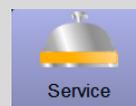


指示

不完全なクリーニングまたはカルキ抜きは、損傷や誤動作につながる可能性があります。

完全に完了していないカルキ抜きは、カルキ抜きフラグがリセットされた後、すぐに再開する必要があります。

設定 > 「サービス」 - 「カルキ抜き / クリーニングのリセット」

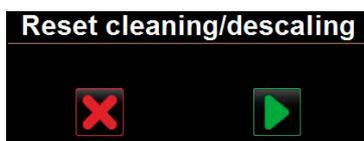


カルキ抜き クリーニングをリセットする



クリーニングまたはカルキ抜きフラグを削除します。キャンセルされたクリーニングまたはカルキ抜きはリセットされます。

- ▶ 設定 > 「サービス」を選択します。
- ▶ 設定「サービス」 - 「カルキ抜き/クリーニングのリセット」を選択します。
- ☑ 確認用ウィンドウが開きます。



- ▶ [▶] フィールドで「カルキ抜き クリーニングのリセット」プロセスを確認します。
- ☑ クリーニングおよびカルキ抜きフラグがリセットされ、保留中のカルキ抜きが削除されます。
- ☑ 次の自動クリーニングまたはカルキ抜きは、「システム」 - 「クリーニング」および「システム」 - 「メンテナンス」設定の構成に従ってのみ実行されます。
- ▶ 常にできるだけ早くクリーニングまたはカルキ抜きを再開してください。

8.5.4 情報 (管理担当者)



エラー報告の際には、これらの情報をサービス技術者に伝える必要があります。

設定 > 「情報」 - 「バージョンを表示する」



バージョンを表示する



インストールされているマシンソフトウェアのバージョンに関する情報を提供します。

設定範囲: なし (情報として提供)

標準: -

ここでは以下の情報を読み取ることができます:

- タッチパネルのソフトウェア バージョン
- 電源部のソフトウェア バージョン
- データバンクのバージョン
- BSP バージョン 会計
- Mac バージョン アドレス
- Qt バージョン (ソースコード)
- Qt バージョンのライセンス
- SQLiteバージョン
- 著作権ソフトウェアSCS

Versions		10:30 23.03.2018
** Service technician **		
Name	Version	
Software Touchpanel	SCS_4.10.5.ec80fb4_Sim (Created: 2019-11-26 08:03)	
Software Leistungsteil	0.0	
Version Datenbank	2068	
BSP Version	N/A	
MAC Adresse	54:EE:75:7A:D1:60	
Qt version	5.2.1 (Quellcode: info@schaerer.com)	
Qt license	GNU LGPL version 2.1	
SQLite Version	3.7.17	
Software SCA3	Copyright 2017 Schaerer Ltd., Switzerland. All rights reserved.	



飲料に含まれるすべての添加物は、このリストでは個別の「飲料」として表示されます。

設定 > 「情報」 - 「マシンカウンター」



マシンカウンター

Beverage
Total coffee beverages
Total milk beverages
Total powder beverages
Total sirup beverages

含まれる添加物に応じた飲料カウンターの概要。

設定範囲: なし (情報として提供)

標準: -

飲料「カフェ モカ」の添加物例:

- 1 添加物 = コーヒー
- 2 添加物 = 新鮮なミルクまたはトッピング
- 3 添加物 = チョコ

添加物は以下のように区別されています。

- コーヒー
- 新鮮なミルク
- チョコレまたはトッピング
- シロップ (フレーバー)
- 熱湯
- スチーム

Beverage	Total
Total coffee beverages	0
Total milk beverages	1
Total powder beverages	1
Total sirup beverages	0
Total hot water	0
Total steam	0



メニューカードに追加されたすべての飲料が一覧表示されます。

設定 > 「情報」 - 「飲料統計」



飲料統計

Beverage
Espresso
Espresso DECAF

注出された飲料に関する情報を提供します。

設定範囲: カウンターの読み取り値を個別にまたはまとめて削除します。

標準: ユーザ定義

バリエーション: 個別カウンターを削除する

- ▶ [A] 右の列の対応する飲料の小さなフィールド [X] を選択します。
 飲料カウンターは [0] に設定されています。

バリエーション: すべてのカウンターを削除する

- ▶ [B] ウィンドウ上部の大きなフィールド [X] は、リストされているすべての飲料カウンターをクリアにします。
 すべての飲料カウンターは [0] に設定されています。

Beverage	Beverage count
+ Espresso	1
+ Espresso DECAF	...
+ Coffee	...
+ Coffee	...

設定 > 「情報」 - 「クリーニングの統計」



クリーニングの統計

Cleaning statistics 08:55		
** Service technician **		
Date / time	Profile	
20.03.2017 11:59	Service technician	P
20.03.2017 11:59	Service technician	S

実行されたクリーニングに関する情報を提供します。

設定範囲: なし

標準: -

以下の情報が一覧表示されています。

- 日付および時刻
- プロフィール
- システム
- イベント

「イベント」欄には、実行、キャンセル、リセットされたクリーニングが表示されません。

Cleaning statistics 06:55 03.09.2019			
** Service technician **			
Date / time	Profile	System	Event
20.03.2017 11:59	Service technician	Powder system	Reset timestamps
20.03.2017 11:59	Service technician	Steam boiler rinsing	Reset timestamps
15.03.2017 15:05	Service technician	Coffee system	Reset timestamps
15.03.2017 15:05	Service technician	Milk system	Reset timestamps

設定 > 「情報」 - 「メンテナンスの統計」



メンテナンスの統計

Date/time	Profile	
08.03.2017 13:21	Service technician	D

実行されたメンテナンス作業 (カルキ抜き) に関する情報を提供します。

設定範囲: なし

標準: -

以下の情報が一覧表示されています。

- 日付および時刻
- プロフィール
- システム
- イベント

「イベント」欄には、実行、キャンセル、リセットされたカルキ抜きが表示されません。

Date/time	Profile	Maintenance	Event
08.03.2017 13:21	Service technician	Descaling	Done

設定 > 「情報」 - 「飲料注出統計」



飲料注出統計

Beverage	Date / time
Pot (5038)	19.12.2019 14:50:27
Espresso (5028)	19.12.2019 14:46:46
Cup sizes	Medium Single
Aborted	No
Duration	24.6s
Extraction time	1.6s
Beverage modified	No
Doppio (5034)	19.12.2019 14:44:36

含まれている飲料データのすべての飲料注出に関する情報を提供します。

設定範囲: [X] フィールドは、すべてのメーター読み取り値を削除します

標準: -

以下の飲料データが一覧表示されています。

- カップサイズ
- キャンセルした注出
- 注出時間
- 抽出時間
- 飲料が調整されました

「日付/時刻」欄には、飲料の注出の日時を入力します。さらに、「カップサイズ」などの値は、注出されたさまざまな飲料オプションについて一覧表示されています。

Beverage	Date / time
+ Pot (5038)	19.12.2019 14:50:27
- Espresso (5028)	19.12.2019 14:46:46
Cup sizes	Medium Single

設定 > 「情報」 - 「水の硬度に関する統計」



水の硬度に関する統計

Date / time
22.09.2016 15:09

以前に設定された水の硬度に関する情報を提供します。

設定範囲: なし

標準: -

以下の情報が一覧表示されています。

- 日付および時刻
- 水の硬度

水の硬度のすべての調整は、新しい項目によってリストアップされます。

Date / time	Water hardness [°dKH]
22.09.2016 15:09	9

設定 > 「情報」 - 「マシンのアカウントリング統計」



アカウントリング統計
マシン



統計は、販売の有無にかかわらず、注出された飲料の数、およびこれらの飲料の価格の合計に関する情報を提供します。

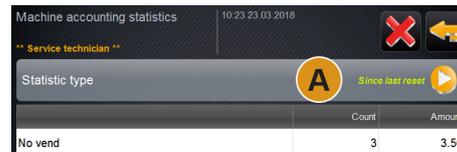
設定範囲: 前回のリセット以来 / 初期化以来

標準: -

バリエーション: 前回のリセット以来

「前回のリセット以来」の統計は削除できるので、これにより特定の時間の間カウンタを作動させることができます。

- ▶ [A] フィールドで選択リスト [A] を開きます。



- ▶ [前回のリセット以来] の統計を選択します。
- ▶ フィールド [X] 削除を選択します。
 確認の要求が表示されます。
- ▶ [▶] フィールドで確認します。



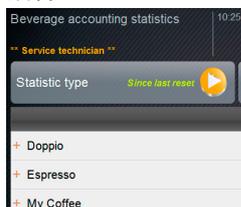
- 「前回のリセット以来」の統計が削除されます。

バリエーション: 初期化以来

「初期化以来」に設定されている統計は削除できません。

予告: 「初期化」とは、「試運転以降」を意味します。

設定 > 「情報」 - 「飲料のアカウントリング統計」

アカウントリング統計
飲料

統計は、注出されたすべての飲料とその設定、および飲料の数とその価格に関する情報を提供します。

デフォルト設定によると、ユーザー統計には「前回のリセット以来」のエントリーが表示されるが、「初期化以来」(試運転)の統計全体として表示されます。

設定範囲: 前回のリセット以来 / 初期化以来

次の販売タイプも利用できます。

- すべて
- 販売なし

販売タイプが「販売なし」の場合、すべての飲料が無料で表示されます。

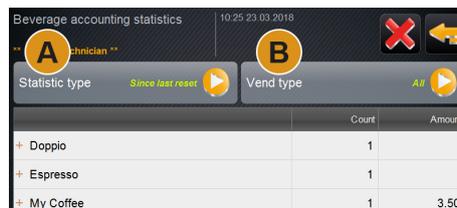
標準: -

統計タイプは、選択リスト [A] および販売タイプ [B] で事前設定できます。

バリエーション: 前回のリセット以来

「前回のリセット以来」の統計は削除できるので、これにより特定の時間の間カウンタを作動させることができます。

- ▶ [A] フィールドで選択リスト [A] または [B] を開きます。



- ▶ 希望する統計と販売タイプを選択します。
- ▶ [前回のリセット以来]の統計を選択します。
 - 販売タイプで選択した統計が表示されます。
- ▶ フィールド [X] 削除を選択します。
 - 確認の要求が表示されます。
- ▶ [G] フィールドで確認します。



- 「前回のリセット以来」の統計が削除されます。

バリエーション: 初期化以来

「初期化以来」に設定されている統計は削除できません。

予告: 「初期化」とは、「試運転以降」を意味します。

8.6 会計担当者プロフィール

情報: 「会計担当者」および「会計担当者 (縮小版)」のサービス機能は制限されています。

「サービスメニュー」のプロフィール [会計担当者] では、以下の機能を直接選択できます:

- すすぎの開始
- タッチスクリーンのクリーニング
- クイック情報 オン/オフにする
- 支払いシステム (会計担当) を使用している場合は、無料販売をオンにします
- スイッチを切る
- メンテナンス (カルキ抜き) を開始します
- 原料管理

「操作」 - 「サービスメニュー」の機能範囲。の章を参照。



[会計担当] プロフィールには、次の設定が含まれています。

- 設定
- 情報



設定にアクセスするための「操作」 - 「プロフィール [ログイン/ログアウト]」の章参照。



本章では、使用可能な設定の内容について説明します。

8.6.1 設定 (会計担当者および会計担当者(縮小版))

設定> 「構成」 - 「一般」



主言語

ディスプレイ言語の切替え。

Deutsch

設定範囲: 保存されているすべての言語。

標準: 自由選択。

- ▶ フィールドで選択メニューを開きます。
 - 選択メニューが現れます。
- ▶ 任意の言語を選択します。
- ▶ フィールドで選択を保存します。
- ▶ フィールドを使用して、パラメータと「構成」設定を終了します。
 - マシンが再起動します。
 - 以前に選択した言語が表示されます。

すべての表示メッセージとパラメータ指定は、アクティブ化された言語で表示されます。



名前や順序などのメニューカードの変更は、サービス技術者が行うことができます。メニューのドリンクは、「会計担当者」またはサービス技術者が作成できます。

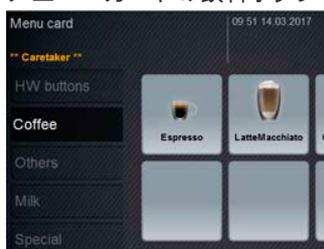


「会計担当者を使用した飲料の価格の調整」については、以下の説明を参照してください。

会計担当者を使用して飲料の価格を調整します (標準動作モード)



メニューカードの飲料ボタン



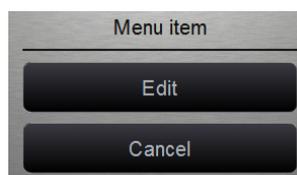
支払いシステムの有無にかかわらず飲料の価格を設定する

「構成」 - 「動作モード」 - 「メニューカード」の設定には、設定 [標準] が含まれています。

- ▶ フィールドを使用してサービスメニューを開きます。
- ▶ プロフィール [会計担当者] または [サービス技術者] でログインします。

「操作」 - 「サービスメニューの機能範囲」 - 「ログイン/ログアウト」の章を参照。

- ▶ フィールドを使用して設定を開きます。
- ▶ 「構成」 - 「メニューカード」の設定を選択します。
- ☑ 「標準」メニューカードが開きます。
- ▶ 希望の飲料ボタンを選択します。
- ☑ 「メニュー項目」コンテキストメニューが開きます。



- ▶ [編集] フィールドを選択します。
- ☑ 「メニューカード入力」ウィンドウが開きます。
- ☑ 個々の飲料のサイズは、飲料の構成に応じて個別にリストされています。

Cup	ID	PLU	0	1	2	3	
Medium Single	31	0	3.50	0.00	0.00	0.00	
Large Single	33	0	4.00	0.00	0.00	0.00	
Medium Double beverage	32	0	6.50	0.00	0.00	0.00	
Large Double beverage	34	0	7.50	0.00	0.00	0.00	

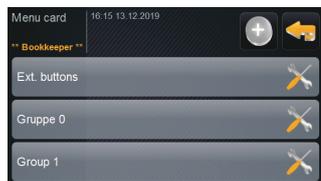
- ▶ 希望の飲料のサイズの フィールドを選択します。
- ☑ 「メニュー項目の編集」ウィンドウが開きます。
- ▶ 入力フィールドを使用して、価格表 [0]、[1]、[2]、および/または [3] に必要な飲料の価格を入力します。

「ダイヤルを使用した価格設定」については、以下を参照してください。

会計担当者を使用して飲料の価格を調整します (カスタム動作モード)



メニューカードの飲料ボタン



支払いシステムの有無にかかわらず飲料の価格を設定する

- 「構成」 - 「動作モード」 - 「メニューカード」の設定には、設定 [カスタム] が含まれています。
- ▶ フィールドを使用してサービスメニューを開きます。
- ▶ フィールド [会計担当者] または [サービス技術者] でログインします。
「操作」 - 「サービスメニューの機能範囲」 - 「ログイン/ログアウト」。の章を参照。
- ▶ フィールドを使用して設定を開きます。
- ▶ 「構成」 - 「メニューカード」の設定を選択します。
- ▶ 「カスタム」メニューカードが開きます。
- ▶ フィールドのリストから目的のメニューカードを選択します。
- ▶ メニューカードが開きます。

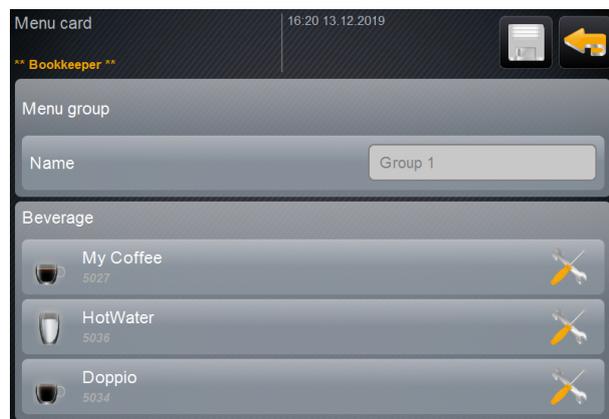


図: カスタムメニューカードのドリンク

- ▶ フィールド を選択します。
- ▶ 「メニューカード入力」ウィンドウが開きます。
- ▶ 個々の飲料のサイズは、飲料の構成に応じて個別にリストされています。



図: 価格表

- ▶ 希望の飲料のサイズの フィールド選択します。
- ▶ 「メニュー項目の編集」ウィンドウが開きます。
- ▶ 入力フィールドを使用して、価格表 [0]、[1]、[2]、および/または [3] に必要な飲料の価格を入力します。

会計担当者を使用して飲料の価格を調整します (カスタム動作モード)



ダイヤルによる価格設定

- ▶ 設定フィールドを選択します。
 - ダイヤルのあるウィンドウが開きます。
- ▶ ダイヤルまたはキーボードで必要な値を設定してください。

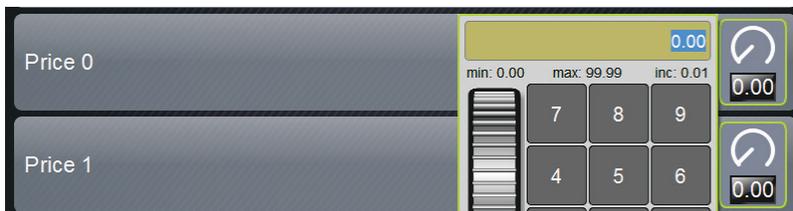


図: ダイヤル付きの飲料の価格入力フィールド。

- ▶  フィールドで設定を保存し、 フィールドでメニューカードまたはユーザーインターフェイスに戻ります。
 - 飲料フィールドが設定価格でユーザーインターフェイスに表示されるようになりました。
 - 飲料の選択中にコーヒーカップやマグカップのサイズを変更すると、飲料の価格が変わります。

飲料の選択中、飲料の価格は、後で選択されたオプションに従って常に更新されます。



[X] フィールドを使用して、支払い前であればいつでも飲料の選択をキャンセルできます。飲料の代金が支払われている場合、注文をキャンセルすることはできなくなります。

8.6.2 情報「会計担当者」 および 「会計担当者(縮小版)」



エラー報告の際には、これらの情報をサービス技術者に伝える必要があります。

設定 > 「情報」 - 「バージョンを表示する」



バージョンを表示する



インストールされているマシンソフトウェアのバージョンに関する情報を提供します。

設定範囲: なし (情報として提供)

標準: -

ここでは以下の情報を読み取ることができます:

- タッチパネルのソフトウェア バージョン
- 電源部のソフトウェア バージョン
- データバンクのバージョン
- BSP バージョン 会計
- Mac バージョン アドレス
- Qt バージョン (ソースコード)
- Qt バージョンのライセンス
- SQLiteバージョン
- 著作権ソフトウェアSCS

Versions		10:30 23.03.2018
** Service technician **		
Name	Version	
Software Touchpanel	SCS_4.10.5.ec80fb4_Sim (Created: 2019-11-26 08:03)	
Software Leistungsteil	0.0	
Version Datenbank	2068	
BSP Version	N/A	
MAC Adresse	54:EE:75:7A:D1:60	
Qt version	5.2.1 (Quellcode: info@schaerer.com)	
Qt license	GNU LGPL version 2.1	
SQLite Version	3.7.17	
Software SCA3	Copyright 2017 Schaerer Ltd., Switzerland. All rights reserved.	



メニューカードに追加されたすべての飲料が一覧表示されます。

設定 > 「情報」 - 「飲料統計」



飲料統計

Beverage statistics	15:54:27
** Service technician **	
Beverage	
+ Espresso	
+ Espresso DECAF	

注出された飲料に関する情報を提供します。

設定範囲: カウンターの読み取り値を個別にまたはまとめて削除します。

標準: ユーザ定義

バリエーション: 個別カウンターを削除する

- ▶ [A] 右の列の対応する飲料の小さなフィールド [X] を選択します。
 - 飲料カウンターは [0] に設定されています。

バリエーション: すべてのカウンターを削除する

- ▶ [B] ウィンドウ上部の大きなフィールド [X] は、リストされているすべての飲料カウンターをクリアにします。
 - すべての飲料カウンターは [0] に設定されています。



設定 > 「情報」 - 「飲料注出統計」



飲料注出統計

Dispensing statistics	06:48:09.01.2020
** Carstaker **	
Beverage	
+ Pot (5038)	19.12.2019 14:50:27
- Espresso (5028)	19.12.2019 14:46:46
Cup sizes	Medium Single
Aborted	No
Duration	24.6s
Extraction time	1.6s
Beverage modified	No
+ Doppio (5034)	19.12.2019 14:44:36

含まれている飲料データのすべての飲料注出に関する情報を提供します。

設定範囲: [X] フィールドは、すべてのメーター読み取り値を削除します

標準: -

以下の飲料データが一覧表示されています。

- カップサイズ
- キャンセルした注出
- 注出時間
- 抽出時間
- 飲料が調整されました

「日付/時刻」欄には、飲料の注出の日時を入力します。さらに、「カップサイズ」などの値は、注出されたさまざまな飲料オプションについて一覧表示されています。

Beverage	Date / time
+ Pot (5038)	19.12.2019 14:50:27
- Espresso (5028)	19.12.2019 14:46:46
Cup sizes	Medium Single

設定 > 「情報」 - 「マシンのアカウントリング統計」



アカウントリング統計
マシン



統計は、販売の有無にかかわらず、注出された飲料の数、およびこれらの飲料の価格の合計に関する情報を提供します。

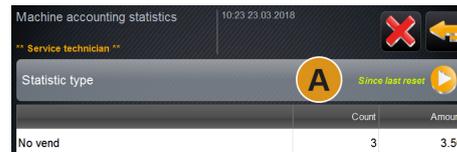
設定範囲: 前回のリセット以来 / 初期化以来

標準: -

バリエーション: 前回のリセット以来

「前回のリセット以来」の統計は削除できるので、これにより特定の時間の間カウンタを作動させることができます。

- ▶ [A] フィールドで選択リスト [A] を開きます。



- ▶ [前回のリセット以来] の統計を選択します。
- ▶ フィールド [X] 削除を選択します。
 確認の要求が表示されます。
- ▶ [▶] フィールドで確認します。



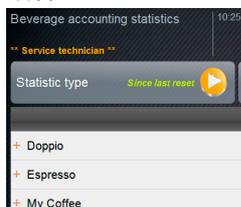
- 「前回のリセット以来」の統計が削除されます。

バリエーション: 初期化以来

「初期化以来」に設定されている統計は削除できません。

予告: 「初期化」とは、「試運転以降」を意味します。

設定 > 「情報」 - 「飲料のアカウントリング統計」

アカウントリング統計
飲料

統計は、注出されたすべての飲料とその設定、および飲料の数とその価格に関する情報を提供します。

デフォルト設定によると、ユーザー統計には「前回のリセット以来」のエントリが表示されるが、「初期化以来」(試運転)の統計全体として表示されます。

設定範囲: 前回のリセット以来 / 初期化以来
次の販売タイプも利用できます。

- すべて
- 販売なし

販売タイプが「販売なし」の場合、すべての飲料が無料で表示されます。

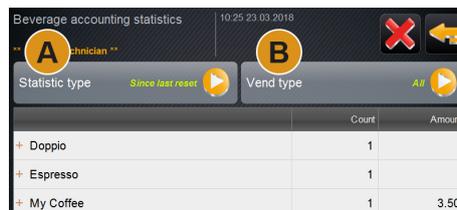
標準: -

統計タイプは、選択リスト [A] および販売タイプ [B] で事前設定できます。

バリエーション: 前回のリセット以来

「前回のリセット以来」の統計は削除できるので、これにより特定の時間の間カウンタを作動させることができます。

- ▶ [▶] フィールドで選択リスト [A] または [B] を開きます。



- ▶ 希望する統計と販売タイプを選択します。
- ▶ [前回のリセット以来]の統計を選択します。
 - 販売タイプで選択した統計が表示されます。
- ▶ フィールド [X] 削除を選択します。
 - 確認の要求が表示されます。
- ▶ [▶] フィールドで確認します。



- 「前回のリセット以来」の統計が削除されます。

バリエーション: 初期化以来

「初期化以来」に設定されている統計は削除できません。

予告: 「初期化」とは、「試運転以降」を意味します。

8.7 設備管理人プロフィール



情報: 「設備管理人」のサービス機能は限られています。
「サービスメニュー」の [設備管理人] プロフィールで直接選択できる機能は次のとおりです。

- すすぎの開始
- タッチスクリーンのクリーニング
- クイック情報 オン/オフにする
- スイッチを切る
- メンテナンス (カルキ抜き) を開始します
- 原料管理

「操作」 - 「サービスメニュー」の機能範囲。の章を参照。

[設備管理人] プロフィールには、次の設定が含まれています。

- 設定
- 情報



設定にアクセスするための「操作」 - 「プロフィール [ログイン/ログアウト]」。の章参照。



本章では、使用可能な設定の内容について説明します。

8.7.1 設定 (設備管理人)

設定> 「構成」 - 「一般」



主言語

ディスプレイ言語の切替え。

Deutsch 

設定範囲: 保存されているすべての言語。

標準: 自由選択。

- ▶  フィールドで選択メニューを開きます。
 - 選択メニューが現れます。
- ▶ 任意の言語を選択します。
- ▶  フィールドで選択を保存します。
- ▶  フィールドを使用して、パラメータと「構成」設定を終了します。
 - マシンが再起動します。
 - 以前に選択した言語が表示されます。

すべての表示メッセージとパラメータ指定は、アクティブ化された言語で表示されます。



名前や順序などのメニューカードの変更は、サービス技術者が行うことができます。メニューのドリンクは、「会計担当者」またはサービス技術者が作成できます。



「会計担当者を使用した飲料の価格の調整」については、以下の説明を参照してください。

会計担当者を使用して飲料の価格を調整します (標準動作モード)



メニューカードの飲料ボタン



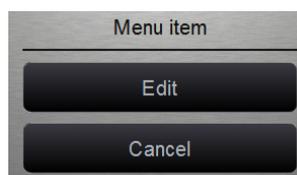
支払いシステムの有無にかかわらず飲料の価格を設定する

「構成」 - 「動作モード」 - 「メニューカード」の設定には、設定 [標準] が含まれています。

- ▶ フィールドを使用してサービスメニューを開きます。
- ▶ プロフィール [会計担当者] または [サービス技術者] でログインします。

「操作」 - 「サービスメニューの機能範囲」 - 「ログイン/ログアウト」の章を参照。

- ▶ フィールドを使用して設定を開きます。
- ▶ 「構成」 - 「メニューカード」の設定を選択します。
- ☑ 「標準」メニューカードが開きます。
- ▶ 希望の飲料ボタンを選択します。
- ☑ 「メニュー項目」コンテキストメニューが開きます。



- ▶ [編集] フィールドを選択します。
- ☑ 「メニューカード入力」ウィンドウが開きます。
- ☑ 個々の飲料のサイズは、飲料の構成に応じて個別にリストされています。

Cup	ID	PLU	0	1	2	3	
Medium Single	31	0	3.50	0.00	0.00	0.00	
Large Single	33	0	4.00	0.00	0.00	0.00	
Medium Double beverage	32	0	6.50	0.00	0.00	0.00	
Large Double beverage	34	0	7.50	0.00	0.00	0.00	

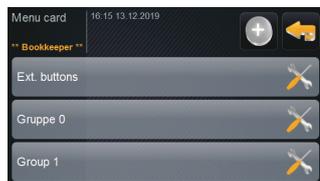
- ▶ 希望の飲料のサイズの フィールドを選択します。
- ☑ 「メニュー項目の編集」ウィンドウが開きます。
- ▶ 入力フィールドを使用して、価格表 [0]、[1]、[2]、および/または [3] に必要な飲料の価格を入力します。

「ダイヤルを使用した価格設定」については、以下を参照してください。

会計担当者を使用して飲料の価格を調整します (カスタム動作モード)



メニューカードの飲料ボタン



支払いシステムの有無にかかわらず飲料の価格を設定する

- 「構成」 - 「動作モード」 - 「メニューカード」の設定には、設定 [カスタム] が含まれています。
- ▶ フィールドを使用してサービスメニューを開きます。
- ▶ フィールド [会計担当者] または [サービス技術者] でログインします。
「操作」 - 「サービスメニューの機能範囲」 - 「ログイン/ログアウト」。の章を参照。
- ▶ フィールドを使用して設定を開きます。
- ▶ 「構成」 - 「メニューカード」の設定を選択します。
- ▶ 「カスタム」メニューカードが開きます。
- ▶ フィールドのリストから目的のメニューカードを選択します。
- ▶ メニューカードが開きます。

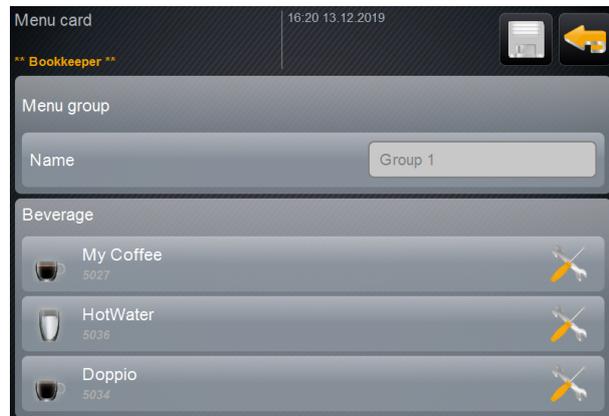


図: カスタムメニューカードのドリンク

- ▶ フィールド を選択します。
- ▶ 「メニューカード入力」ウィンドウが開きます。
- ▶ 個々の飲料のサイズは、飲料の構成に応じて個別にリストされています。



図: 価格表

- ▶ 希望の飲料のサイズの フィールド選択します。
- ▶ 「メニュー項目の編集」ウィンドウが開きます。
- ▶ 入力フィールドを使用して、価格表 [0]、[1]、[2]、および/または [3] に必要な飲料の価格を入力します。

会計担当者を使用して飲料の価格を調整します (カスタム動作モード)



ダイヤルによる価格設定

- ▶ 設定フィールドを選択します。
 - ☑ ダイヤルのあるウィンドウが開きます。
- ▶ ダイヤルまたはキーボードで必要な値を設定してください。



図: ダイヤル付きの飲料の価格入力フィールド。

- ▶  フィールドで設定を保存し、 フィールドでメニューカードまたはユーザーインターフェイスに戻ります。
 - ☑ 飲料フィールドが設定価格でユーザーインターフェイスに表示されるようになりました。
 - ☑ 飲料の選択中にコーヒーカップやマグカップのサイズを変更すると、飲料の価格が変わります。

飲料の選択中、飲料の価格は、後で選択されたオプションに従って常に更新されます。



[X] フィールドを使用して、支払い前であればいつでも飲料の選択をキャンセルできます。飲料の代金が支払われている場合、注文をキャンセルすることはできなくなります。

8.7.2 情報 (設備管理人)



エラー報告の際には、これらの情報をサービス技術者に伝える必要があります。

設定 > 「情報」 - 「バージョンを表示する」



バージョンを表示する



インストールされているマシンソフトウェアのバージョンに関する情報を提供します。

設定範囲: なし (情報として提供)

標準: -

ここでは以下の情報を読み取ることができます:

- タッチパネルのソフトウェア バージョン
- 電源部のソフトウェア バージョン
- データバンクのバージョン
- BSP バージョン 会計
- Mac バージョン アドレス
- Qt バージョン (ソースコード)
- Qt バージョンのライセンス
- SQLiteバージョン
- 著作権ソフトウェアSCS

Name	Version
Software Touchpanel	SCS_4.10.5.ec80fb4_Sim (Created: 2019-11-26 08:03)
Software Leistungsteil	0.0
Version Datenbank	2068
BSP Version	N/A
MAC Adresse	54:EE:75:7A:D1:60
Qt version	5.2.1 (Quellcode: info@schaerer.com)
Qt license	GNU LGPL version 2.1
SQLite Version	3.7.17
Software SCA3	Copyright 2017 Schaerer Ltd., Switzerland. All rights reserved.



飲料に含まれるすべての添加物は、このリストでは個別の「飲料」として表示されます。

設定 > 「情報」 - 「マシンカウンター」



マシンカウンター

Beverage
Total coffee beverages
Total milk beverages
Total powder beverages
Total sirup beverages

含まれる添加物に応じた飲料カウンターの概要。

設定範囲: なし (情報として提供)

標準: -

飲料「カフェ モカ」の添加物例:

- 1 添加物 = コーヒー
- 2 添加物 = 新鮮なミルクまたはトッピング
- 3 添加物 = チョコ

添加物は以下のように区別されています。

- コーヒー
- 新鮮なミルク
- チョコレまたはトッピング
- シロップ (フレーバー)
- 熱湯
- スチーム

Beverage	Total
Total coffee beverages	0
Total milk beverages	1
Total powder beverages	1
Total sirup beverages	0
Total hot water	0
Total steam	0



メニューカードに追加されたすべての飲料が一覧表示されます。

設定 > 「情報」 - 「飲料統計」



飲料統計

Beverage
+ Espresso
+ Espresso DECAF

注出された飲料に関する情報を提供します。

設定範囲: カウンターの読み取り値を個別にまたはまとめて削除します。

標準: ユーザ定義

バリエーション: 個別カウンターを削除する

- ▶ [A] 右の列の対応する飲料の小さなフィールド [X] を選択します。
 - 飲料カウンターは [0] に設定されています。

バリエーション: すべてのカウンターを削除する

- ▶ [B] ウィンドウ上部の大きなフィールド [X] は、リストされているすべての飲料カウンターをクリアにします。
 - すべての飲料カウンターは [0] に設定されています。

Beverage	Beverage count
+ Espresso	1 [X]
+ Espresso DECAF	[X]
+ Coffee	[X]
+ Coffee	[X]

設定 > 「情報」 - 「クリーニングの統計」



クリーニングの統計

Cleaning statistics 06:55		
** Service technician **		
Date / time	Profile	
20.03.2017 11:59	Service technician	P
20.03.2017 11:59	Service technician	S

実行されたクリーニングに関する情報を提供します。

設定範囲: なし

標準: -

以下の情報が一覧表示されています。

- 日付および時刻
- プロフィール
- システム
- イベント

「イベント」欄には、実行、キャンセル、リセットされたクリーニングが表示されません。

Cleaning statistics 06:55 03.09.2019			
** Service technician **			
Date / time	Profile	System	Event
20.03.2017 11:59	Service technician	Powder system	Reset timestamps
20.03.2017 11:59	Service technician	Steam boiler rinsing	Reset timestamps
15.03.2017 15:05	Service technician	Coffee system	Reset timestamps
15.03.2017 15:05	Service technician	Milk system	Reset timestamps

設定 > 「情報」 - 「飲料注出統計」



飲料注出統計

Dispensing statistics 08:08 09.01.2020	
** Carestar **	
Beverage	Date / time
+ Pot (5038)	19.12.2019 14:50:27
- Espresso (5028)	19.12.2019 14:46:46
Cup sizes	Medium Single
Aborted	No
Duration	24.6s
Extraction time	1.6s
Beverage modified	No
+ Doppio (5034)	19.12.2019 14:44:36

含まれている飲料データのすべての飲料注出に関する情報を提供します。

設定範囲: フィールドは、すべてのメーター読み取り値を削除します

標準: -

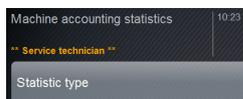
以下の飲料データが一覧表示されています。

- カップサイズ
- キャンセルした注出
- 注出時間
- 抽出時間
- 飲料が調整されました

「日付/時刻」欄には、飲料の注出の日時を入力します。さらに、「カップサイズ」などの値は、注出されたさまざまな飲料オプションについて一覧表示されています。

Beverage	Date / time
+ Pot (5038)	19.12.2019 14:50:27
- Espresso (5028)	19.12.2019 14:46:46
Cup sizes	Medium Single

設定 > 「情報」 - 「マシンのアカウンティング統計」

アカウンティング統計
マシン

統計は、販売の有無にかかわらず、注出された飲料の数、およびこれらの飲料の価格の合計に関する情報を提供します。

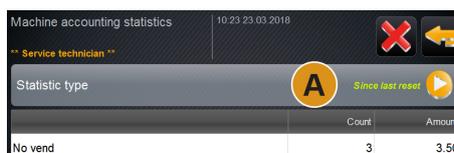
設定範囲: 前回のリセット以来 / 初期化以来

標準: -

バリエーション: 前回のリセット以来

「前回のリセット以来」の統計は削除できるので、これにより特定の時間の間カウンタを作動させることができます。

- ▶ [▶] フィールドで選択リスト [A] を開きます。



- ▶ [前回のリセット以来] の統計を選択します。
- ▶ フィールド [X] 削除を選択します。
 - 確認の要求が表示されます。
- ▶ [▶] フィールドで確認します。

Reset page?



- 「前回のリセット以来」の統計が削除されます。

バリエーション: 初期化以来

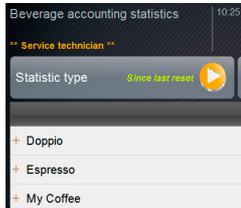
「初期化以来」に設定されている統計は削除できません。

予告: 「初期化」とは、「試運転以降」を意味します。

設定 > 「情報」 - 「飲料のアカウント統計」



アカウント統計
飲料



統計は、注出されたすべての飲料とその設定、および飲料の数とその価格に関する情報を提供します。

デフォルト設定によると、ユーザー統計には「前回のリセット以来」のエントリが表示されるが、「初期化以来」(試運転)の統計全体として表示されます。

設定範囲: 前回のリセット以来 / 初期化以来
次の販売タイプも利用できます。

- すべて
- 販売なし

販売タイプが「販売なし」の場合、すべての飲料が無料で表示されます。

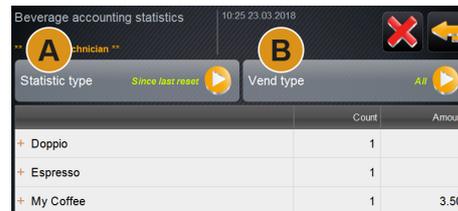
標準: -

統計タイプは、選択リスト [A] および販売タイプ [B] で事前設定できます。

バリエーション: 前回のリセット以来

「前回のリセット以来」の統計は削除できるので、これにより特定の時間の間力ウンターを作動させることができます。

- ▶ [▶] フィールドで選択リスト [A] または [B] を開きます。



- ▶ 希望する統計と販売タイプを選択します。
- ▶ [前回のリセット以来]の統計を選択します。
 - 販売タイプで選択した統計が表示されます。
- ▶ フィールド [X] 削除を選択します。
 - 確認の要求が表示されます。
- ▶ [▶] フィールドで確認します。



- 「前回のリセット以来」の統計が削除されます。

バリエーション: 初期化以来

「初期化以来」に設定されている統計は削除できません。

予告: 「初期化」とは、「試運転以降」を意味します。

8.8 品質管理マネージャープロフィール



情報: 「品質管理マネージャー」のサービス機能は限られています。
[品質管理マネージャー]プロフィール内の「サービスメニュー」からは、以下の機能を直接選択することができます:

- すすぎの開始
- タッチスクリーンのクリーニング
- クイック情報 オン/オフにする
- スイッチを切る
- メンテナンス (カルキ抜き) を開始します
- 原料管理

「操作」 - 「サービスメニュー」の機能範囲。の章を参照。



[品質管理マネージャー]プロフィールには、次の設定が含まれていません。

- 設定
- 情報



設定にアクセスするための「操作」 - 「プロフィール [ログイン/ログアウト]」。の章参照。



本章では、使用可能な設定の内容について説明します。

8.8.1 設定 (品質管理マネージャー)

設定> 「構成」 - 「一般」



主言語

Deutsch

ディスプレイ言語の切替え。

設定範囲: 保存されているすべての言語。

標準: 自由選択。

- ▶ フィールドで選択メニューを開きます。
 - 選択メニューが現れます。
- ▶ 任意の言語を選択します。
- ▶ フィールドで選択を保存します。
- ▶ フィールドを使用して、パラメータと「構成」設定を終了します。
 - マシンが再起動します。
 - 以前に選択した言語が表示されます。

すべての表示メッセージとパラメータ指定は、アクティブ化された言語で表示されます。



名前や順序などのメニューカードの変更は、サービス技術者が行うことができます。メニューのドリンクは、「会計担当者」またはサービス技術者が作成できます。



「会計担当者を使用した飲料の価格の調整」については、以下の説明を参照してください。

8.8.2 情報 (品質管理マネージャー)



エラー報告の際には、これらの情報をサービス技術者に伝える必要があります。

設定 > 「情報」 - 「バージョンを表示する」



バージョンを表示する



インストールされているマシンソフトウェアのバージョンに関する情報を提供します。

設定範囲: なし (情報として提供)

標準: -

ここでは以下の情報を読み取ることができます:

- タッチパネルのソフトウェア バージョン
- 電源部のソフトウェア バージョン
- データバンクのバージョン
- BSP バージョン 会計
- Mac バージョン アドレス
- Qt バージョン (ソースコード)
- Qt バージョンのライセンス
- SQLiteバージョン
- 著作権ソフトウェアSCS

Name	Version
Software Touchpanel	SCS_4.10.5.ec80fb4_Sim (Created: 2019-11-26 08:03)
Software Leistungsteil	0.0
Version Datenbank	2068
BSP Version	N/A
MAC Adresse	54:EE:75:7A:D1:60
Qt version	5.2.1 (Quellcode: info@schaerer.com)
Qt license	GNU LGPL version 2.1
SQLite Version	3.7.17
Software SCA3	Copyright 2017 Schaefer Ltd., Switzerland. All rights reserved.

設定 > 「情報」 - 「クリーニングの統計」



クリーニングの統計

Date / time	Profile	
20.03.2017 11:59	Service technician	P
20.03.2017 11:59	Service technician	S

実行されたクリーニングに関する情報を提供します。

設定範囲: なし

標準: -

以下の情報が一覧表示されています。

- 日付および時刻
- プロフィール
- システム
- イベント

「イベント」欄には、実行、キャンセル、リセットされたクリーニングが表示されません。

Date / time	Profile	System	Event
20.03.2017 11:59	Service technician	Powder system	Reset timestamps
20.03.2017 11:59	Service technician	Steam boiler rinsing	Reset timestamps
15.03.2017 15:05	Service technician	Coffee system	Reset timestamps
15.03.2017 15:05	Service technician	Milk system	Reset timestamps

8.9 マシン担当者プロフィール



情報: 「マシン担当者」のサービス機能は制限されています。
[マシン担当者] プロフィール内の「サービスメニュー」からは、以下の機能を直接選択することができます:

- すすぎの開始
- タッチスクリーンのクリーニング
- クイック情報 オン/オフにします。
- スイッチを切る
- クリーニング (マシン/ Flavour Point) を開始します
- メンテナンス (カルキ抜き) を開始します
- 原料管理

「操作」 - 「サービスメニュー」の機能範囲。の章を参照。



[マシン担当者] プロフィールには、次の設定が含まれています。

- 設定
- 情報



設定にアクセスするための「操作」 - 「プロフィール [ログイン/ログアウト]」。の章参照。



本章では、使用可能な設定の内容について説明します。

8.9.1 設定 (マシン担当者)

設定 > 「構成」 - 「一般」



主言語

Deutsch

ディスプレイ言語の切替え。

設定範囲: 保存されているすべての言語。

標準: 自由選択。

- ▶ フィールドで選択メニューを開きます。
 - 選択メニューが現れます。
- ▶ 任意の言語を選択します。
- ▶ フィールドで選択を保存します。
- ▶ フィールドを使用して、パラメータと「構成」設定を終了します。
 - マシンが再起動します。
 - 以前に選択した言語が表示されます。

すべての表示メッセージとパラメータ指定は、アクティブ化された言語で表示されます。



名前や順序などのメニューカードの変更は、サービス技術者が行うことができます。メニューのドリンクは、「会計担当者」またはサービス技術者が作成できます。



「会計担当者を使用した飲料の価格の調整」については、以下の説明を参照してください。

8.9.2 情報 (マシン担当者)



エラー報告の際には、これらの情報をサービス技術者に伝える必要があります。

設定 > 「情報」 - 「バージョンを表示する」



バージョンを表示する



インストールされているマシンソフトウェアのバージョンに関する情報を提供します。

設定範囲: なし (情報として提供)

標準: -

ここでは以下の情報を読み取ることができます:

- タッチパネルのソフトウェア バージョン
- 電源部のソフトウェア バージョン
- データバンクのバージョン
- BSP バージョン 会計
- Mac バージョン アドレス
- Qt バージョン (ソースコード)
- Qt バージョンのライセンス
- SQLiteバージョン
- 著作権ソフトウェアSCS

Name	Version
Software Touchpanel	SCS_4.10.5.ec80fb4_Sim (Created: 2019-11-26 08:03)
Software Leistungsteil	0.0
Version Datenbank	2068
BSP Version	N/A
MAC Adresse	54:EE:75:7A:D1:60
Qt version	5.2.1 (Quellcode: info@schaerer.com)
Qt license	GNU LGPL version 2.1
SQLite Version	3.7.17
Software SCA3	Copyright 2017 Schaerer Ltd., Switzerland. All rights reserved.

9 障害の除去

9.1 通知モード

9.1.1 エラーメッセージの説明

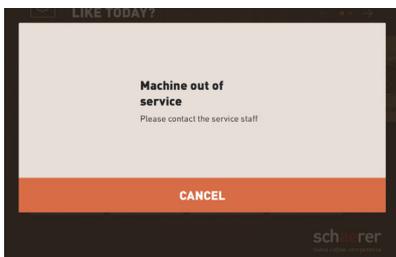


図: 「ゲストモード」の「シンプル」でのエラーメッセージ

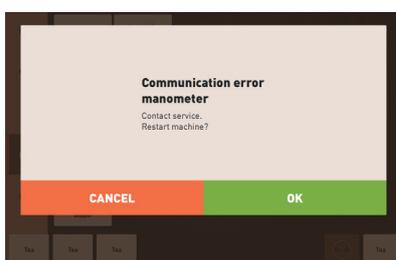


図: 「パーソナルモード」の「特定」でのエラーメッセージ



図: 「パーソナルモード」の「特定」でのエラーメッセージ



図: 保留中のエラーメッセージが表示されたサービスメニュー

エラーメッセージは選択したユーザーインターフェイスに応じて表示されます。

バリエーション: ゲストモード「シンプル」

- 動作モードでは、ユーザーインターフェイス「ゲストモード」が有効です。
 - エラーメッセージが表示された場合、サービス担当者がメッセージを承認するまで、コーヒーマシンは運転を停止します。
 - 「サービス担当者にお知らせください」というプロンプトが表示されます。
 - エラーメッセージを承認できません。
- ▶ サービス担当者にお知らせください。

バリエーション: 「特定」パーソナルモードまたはレギュラーユーザーモード

- 動作モードでは、ユーザーインターフェイス「パーソナルモードまたはレギュラーユーザーモード」が有効です。
 - エラーメッセージが表示された場合、コーヒーマシンは一時運転を停止します。
 - 「再起動」または「サービス担当者にお知らせください」というプロンプトが表示されます。
 - 一部のエラーメッセージを承認できます。
- ▶ アクション要求に従い承認するか、または [OK] ボタンを押して再起動します。
- 保留中のエラー (例: 「カス受けがありません」) が承認されました。マシンは再度操作可能状態です。
 - マシンは再起動し、再度操作可能状態になります。
 - 場合によっては、エラーメッセージを承認できません。
- ▶ 保留中のエラーメッセージが解決されず、リセットできなかった場合は、サービス技術者に連絡してください。

バリエーション: サービスメニューのエラーメッセージ

- サービスメニューが開きます。
- ▶ サービスメニュー フィールド (左図を参照) を選択します。
- サービスメニューが開き、保留中のすべてのエラーメッセージが表示されます。

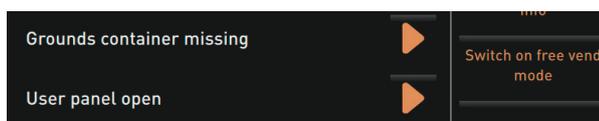


図: 「サービスメニュー」内のエラー/障害メッセージの一覧表示

- ▶  フィールドからエラーメッセージを開きます。
- ▶ 表示された指示を実行し、必要に応じて [OK] で承認します。



対応する装備を備えたマシンでは、保留中のエラーメッセージをコーヒーマシンのLEDカラーバーを点灯して知らせる機能が追加されています。

9.2 故障

9.2.1 メッセージが保留中の操作準備



保留中の赤いエラー/障害メッセージが発生した場合、要求された処置が行われるまで、飲み物の注出がストップされます。

- ▶ 「サービスメニュー」でその他の保留中のエラーメッセージを選択し、以下に説明する方法に従って修正します。

- それでもエラーメッセージが消えない場合、障害が発生している可能性があります。
- ▶ サービスパートナーに連絡してください (www.schaerer.com を参照のこと)。

9.2.2 サービスメニューの保留中のエラーメッセージ



カラーマーキングのないコントロールパネル [サービスメニュー] は、完全な操作準備ができていることを通知します。



オレンジ色のカラーマーキングが付いたコントロールパネル [サービスメニュー] は、操作準備中の保留中の情報または今後のアクション要求に関する情報を提供します。

- ☑️ すぐにアクションが必要になります。



赤い色のカラーマーキングが付いたコントロールパネル [サービスメニュー] は、保留中のエラーメッセージ、クリーニング、またはメンテナンスに関する情報を提供します。

- ☑️ アクションが必要です。

保留中のエラーメッセージ、情報、またはアクション要求は、「サービスメニュー」に一覧表示されます。

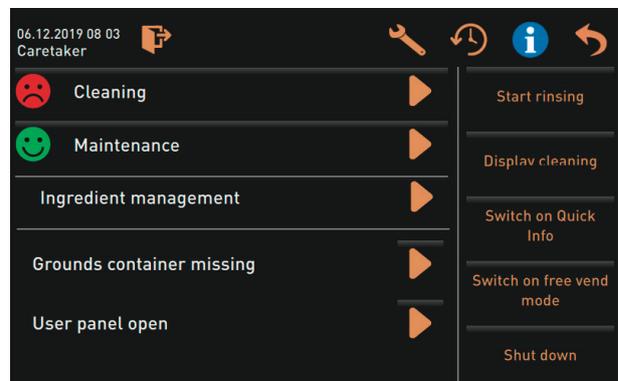


図: エラーメッセージが表示された「サービスメニュー」ウィンドウ

9.3 表示されるテキスト

障害 種類	エラー 状態	項目 優先度	ディスプレイメッセージ	原因	除去
		■	注意: 廃水出口の詰まりは、浸水につながる可能性があります。	廃水にコーヒーの残留物。	▶ 廃水出口と雫受けに詰まりがないか点検してください。
		■	会計システムが完全に初期化されるまでお待ちください。	プロセスの初期化	▶ 会計システムが初期化を完了するまでお待ちください。
		■	テレメトリーリンクを待つかまたはサービスに連絡してください。	「コーヒーリンク」の表示は保留中	▶ テレメトリーを起動してください。 ▶ 故障が直らない場合: サービスパートナーに連絡してください。
	■		抽出ユニットのロータリエンコーダのエラー	マシンの初期化中に、抽出ユニットのエンコーダモーターが認識されませんでした。	▶ マシンを再起動してください。 ▶ 故障が直らない場合: サービスパートナーに連絡してください。
	■		豆の粉砕度自動修正エラー 中央、左または右	自動粉砕度調整モーター	▶ 粉砕度の設定をキャンセルします。 ▶ マシンを再起動してください。 ▶ 故障が直らない場合: サービスパートナーに連絡してください。

障害	エラー 要求	注意事項	ディスプレイメッセージ	原因	除去
	■		マシン設定のエラー	ソフトウェアとマシンハードウェアの不一致	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ハードウェア検出を再起動してください。 ▶ マシンを再起動してください。 ▶ 故障が直らない場合: サービスパートナーに連絡してください。
	■		スチームノズルの温度センサー中断	スチームノズルの温度センサーが閉まっています	<ul style="list-style-type: none"> ▶ マシンを再起動してください。 ▶ 故障が直らない場合: サービスパートナーに連絡してください。
	■		スチームノズルの温度センサーのショート	スチームノズルの温度センサー	<ul style="list-style-type: none"> ▶ マシンを再起動してください。 ▶ 故障が直らない場合: サービスパートナーに連絡してください。
	■		カルキ抜き / クリーニングをリセットする	保留中のクリーニング / カルキ抜き	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「サービスマニュー」でクリーニング/カルキ抜きを行ってください。 ▶ 「サービスマニュー」でクリーニング/カルキ抜きを確認してください。
	■		ミルクがまもなく空です	ミルクコンテナのミルクレベルが低い	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ミルクコンテナを時々充填してください。
	■		ミルクが空です	ミルクコンテナのミルクレベルが空か低すぎる	<ul style="list-style-type: none"> ▶ すぐにミルクコンテナに充填してください。 ▶ 新鮮なミルクのコンテナを取り外します。 ▶ コンテナを入念にクリーニングします。 ▶ 容器に新鮮で予冷したミルク $\pm 5^{\circ}\text{C}$ を充填し、マシンに戻します。
	■		Flavour Point (シロップシステム) 1-4 空	ボトル 1-4 空の Flavour (シロップ) レベル	<ul style="list-style-type: none"> ▶ サーマメニューでプロセス「Flavour 1-4」を開始します。 ▶ 表示されたプロンプトに従います。 ▶ ホースを取り外して清掃します。 ▶ ホースを再接続し、[ポンプの始動]フィールドでシロップポンプをアクティブにします。
	■		カス受けはいっぱいです	カス受けには、約60~70の「コーヒーケーキ」が入っています。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ カス受けを空にします。 ▶ カス受けを洗い流し、こすって乾かします。 ▶ カス受けを再び取り付けます。
	■		カス受けがまもなくいっぱいです	カス受けには、まもなく約60~70の「コーヒーケーキ」が入ります。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ カス受けを時々空にしてください。
	■		カス受けを挿入する	カス受けがありません。カス受けがマシンに完全に挿入されていません。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ カス受けをマシンに正しく挿入します。
	■		コントロールパネルを閉じます	コントロールパネルが開いたままか、または完全に閉じていません。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ カチッとほまるまでコントロールパネルを下へ押します。
	■		外部飲料水タンクへの充填 (オプション)	外部飲料水タンク (オプション) の充填レベルが低すぎます。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ レベル監視を飲料水タンクから取り外します。飲料水タンクを真水ですすぎ、それを充填します。レベル監視を再度挿入します。
	■		外部飲料水タンクはまもなく空になります (オプション)	外部飲料水タンク (オプション) の充填レベルが低いです。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 飲料水タンクを時々充填してください。

障害	エラー	原因	除去
■		<p>ディスプレイメッセージ</p> <p>廃水タンクを空にする (オプション)</p>	<p>外部廃水タンクの充填レベルに達しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 廃水タンクからレベル監視を取り外します。 ▶ 廃水タンクを空にします。 ▶ 廃水タンクをすすぎます。 ▶ レベルモニターを再度挿入します。
■		<p>グラインダー中央 (標準)、グラインダー右 (オプション)、過負荷またはブロック</p>	<p>高すぎる電流値 (>8 A) が、定義された期間にわたって測定されました。マシンは再び粉碎を5回開始しようとする、 「グラインダー左または右が過負荷になりました」というメッセージが表示されます。この状態で再度飲料が要求され、問題が解決しない場合、メッセージは 「グラインダー中央または右/ブロックされています」 に変わります。飲料の注出はストップされています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ マシンの電源を切ります。 ▶ グラインダーがブロックされていないか点検し、異物がある場合にはこれを取り除きます。 ▶ マシンを再起動してください。 ▶ エラーが再度表示される場合、故障は直りません。サービスパートナーに連絡してください。
■		<p>コーヒー豆を補充する (中央グラインダーが空です)</p>	<p>中央のコーヒー豆ホッパーは空です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ コーヒー豆ホッパーを補充します。
■		<p>コーヒー豆を補充する (右グラインダーは空です)</p>	<p>右のコーヒー豆ホッパーは空です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ コーヒー豆ホッパーを補充します。
■		<p>手動投入口にコーヒー粉を入れます</p>	<p>手動投入口にコーヒー粉が投入されていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 中央のコーヒー豆ホッパーの手動投入口のフタが開いています。 ▶ コーヒー粉を入れます。 ▶ 手動投入口のフタを閉めます。
■		<p>チョコレートまたはミルクパウダーを1のコンテナに充填します (1のパウダーホッパーは空)</p>	<p>1のパウダーホッパーは空です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 最初のパウダーコンテナを補充します。
■		<p>チョコレートまたはミルクパウダーを2の容器を充填します (2のパウダーホッパーは空)</p>	<p>2のパウダーホッパーは空です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 2番目のパウダーコンテナを補充します。
■		<p>お茶またはコーヒー用の熱湯ボイラー温度が高すぎる</p>	<p>水の供給が中断されます。</p> <p>マシンが過熱しています。</p> <p>SSR が故障しています。</p> <p>Klixon が作動しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 外部飲料水タンク (オプション) のレベルまたは給排水管接続の状態を確認してください。 ▶ マシンを電源から外して冷却してください。 ▶ 故障が直らない場合: サービスパートナーに連絡してください。

障害	エラー	要求事項	ディスプレイメッセージ	原因	除去
■			スチームボイラーの過熱	<p>水の供給が中断されます。</p> <p>スチームシステムが目詰まりしています。</p> <p>マシンが過熱しています。</p> <p>SSR が故障しています。 Klixon が作動しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 外部飲料水タンク (オプション) のレベルまたは給排水管接続の状態を確認してください。 ▶ 飲料注出口とスチームシステムを点検し、クリーニングしてください。 ▶ マシンを電源から外して冷却してください。 ▶ 故障が直らない場合: サービスパートナーに連絡してください。
■			<p>熱湯の温度が低すぎます</p> <p>スチームボイラーの温度が低すぎます</p>	<p>加熱段階。</p> <p>加熱時にエラーが発生しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ マシンが加熱されるまでお待ちください。 ▶ マシンを電源から外してください。 ▶ マシンを再び接続し、電源を入れます。
■			熱湯ボイラー タイムアウト ヒーター スチームボイラー ヒーター タイムアウト	暖房はオンになっていますが、目標温度は5分以内に達しませんでした。	▶ 故障が直らない場合: サービスパートナーに連絡してください。
■			熱湯ボイラー NTC がショートしています スチームボイラー NTC がショートしています	マザーボードによって抵抗が検知されません。最高温度 (約 150°C) が測定されました。飲料の注出はストップされています。	▶ 故障が直らない場合: サービスパートナーに連絡してください。
■			熱湯ボイラー NTC が中断しています スチームボイラー NTC オープン	温度センサーが中断しています。最低温度が測定されました。	▶ 故障が直らない場合: サービスパートナーに連絡してください。
■			抽出ユニットの過電流	抽出ユニットのモーターで過電流が検知されました。	▶ 故障が直らない場合: サービスパートナーに連絡してください。
■			抽出ユニットの無効電流	抽出ユニットが「作動」していない場合でも、最小限の待機電流が通っています。そうでない場合は、エラーが発生しています。原因としては抽出ユニット、配電盤、またはケーブル接続が考えられます。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 抽出ユニットがブロックされていないか点検してください。 ▶ エラーが続く場合: サービスパートナーに連絡してください。
■			カルキ抜きカートリッジを挿入します	カルキ抜きプロセスに必要なスケール除去剤	<ul style="list-style-type: none"> ▶ カルキ抜きカートリッジを挿入します。 ▶ カルキ抜きの後、ディスプレイにプロンプトが表示されたら、カートリッジを取り外します。

故障 現象	エラー 状態	原因 説明	ディスプレイメッセ ージ	原因	除去
■			タイムアウト 抽出ユニット	抽出ユニットには「基本位置」のスイッチがありません。抽出シリンダーの位置は電流値の測定によって検知されます。次のピーク値が検出されます。上下の位置 次のタイムアウトが定義されています。抽出ユニットが移動してから、10 秒以内に電流ピークが検出されない場合、「抽出ユニットのタイムアウト」が表示されます。	▶ 故障が直らない場合: サービスパートナーに連絡してください。
■			水の流れの異常	コーヒー製品の分配中、流量計は定義された最小回転数よりも少なく回転します。高い確率で給水システム全体のどこかがブロック/部分的にブロックされています。	▶ 飲料水タンクのレベル、または給排水管接続の状態を点検してください。 ▶ 内部もしくは外部飲料水タンクを点検してください (フィルターが詰まると流量が減少します)。 ▶ 上部ピストンがブロックされているか、部分的に固着していないか点検します。 ▶ 挽き具合を点検します。 情報: 粉碎設定が細かすぎると、水の流れが妨げられたり、完全に遮断されたりする可能性があります。 ▶ エラーが続く場合: サービスパートナーに連絡してください。
■			スチーム供給 エラー	レベルセンサーがスチームボイラー内のレベルが低くなっていることを検知しました。ボイラーの補充が試みられました。ただし、レベルプローブは60秒以内に水を検出しませんでした。補充プロセスがキャンセルされます。スチームを必要とする飲料の注出がストップされます。	▶ 故障が直らない場合: サービスパートナーに連絡してください。
■			Modbus 処理エラー BP	電源ユニットとタッチスクリーン間の通信エラー。	▶ 故障が直らない場合: サービスパートナーに連絡してください。
■			Modbus 処理エラー MV	圧力計とタッチスクリーン間の通信エラー。	▶ 故障が直らない場合: サービスパートナーに連絡してください。
■			Modbus 処理エラー MR	冷却ユニットとタッチスクリーン間の通信エラー。	▶ 冷却ユニットとマシンの配線を確認してください。 ▶ 故障が直らない場合: サービスパートナーに連絡してください。
■			支払いシステムエラー	支払いシステムとタッチスクリーン間の通信エラー。	▶ マシンを再起動してください。 ▶ 故障が直らない場合: サービスパートナーに連絡してください。

障害 優先 度	エラー 要求 事項	ディスプレイメッセ ージ	原因	除去
■		マシンが稼動していません	飲料を分配しない場合は、セルフサービスモードに設定します。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ それに応じて、パラメータ設定「設定」 - 「タイマー操作」を設定します。 ▶ 故障が直らない場合: サービスパートナーに連絡してください。
■		マシンが稼動していません	さまざまな理由で飲料を分配しない場合は、セルフサービスモードに設定します。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ コーヒー豆、牛乳、チョコレートパウダー、ミルクパウダーなどの製品を確認してください。 ▶ 冷却ユニットの温度を確認してください。 ▶ 保留中のクリーニングまたはカルキ抜きを実行します。 ▶ 故障が直らない場合: サービスパートナーに連絡してください。
■		通信エラー (各種)	ソフトウェアならびにHCU電源部、Flavour Point、抽出ユニット、圧力計などのさまざまなモジュール間との通信エラー。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ マシンを再起動してください。 ▶ 故障が直らない場合: サービスパートナーに連絡してください。

9.4 メッセージのない障害

障害	原因	除去
ディスプレイ 暗い	<ul style="list-style-type: none"> • マシンが電源に接続されていません • マシンの電源が入っていません 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ マシンが電源に接続されているか確認してください。 ▶ マシンの電源が入っているか確認してください。 ▶ 故障が直らない場合: サービスパートナーに連絡してください。
ミルクなし	<ul style="list-style-type: none"> • ミルクコンテナは空です • ミルクシステムが詰まっています • ミルクシステムが誤って無効になっている 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ミルクコンテナがいっぱいかどうかを確認します。 ▶ コーヒーマシンの制御ケーブルから冷却ユニットへのケーブル接続を確認します。 ▶ 毎日のクリーニングを行います。 ▶ 故障が直らない場合: サービスパートナーに連絡してください。
シロップなし (Flavour Point)	<ul style="list-style-type: none"> • シロップボトルは空です • Flavour Pointシステムが詰まっています • Flavour Pointシステムが誤って無効になっている 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ シロップボトルがいっぱいかどうかを確認します。 ▶ コーヒーマシンの制御ケーブルからFlavour Pointへのケーブル接続を確認します。 ▶ クリーニングホース Flavour Pointシステム。 ▶ 故障が直らない場合: サービスパートナーに連絡してください。
ミルク フォームなし	<ul style="list-style-type: none"> • ミルクコンテナは空です • ミルクシステムが詰まっています • ミルクシステムが誤って無効になっている 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ミルクコンテナがいっぱいかどうかを確認します。 ▶ 毎日のクリーニングを行います。 ▶ 故障が直らない場合: サービスパートナーに連絡してください。

10 予防措置

10.1 洗剤

10.1.1 用途



中毒の危険! 洗剤は、不適切に使用すると中毒を引き起こす可能性があります。

必ず以下の項目を厳守してください。

- ▶ 洗剤は子供や関係者以外の人物の手の届かない場所に置いてください。
- ▶ 洗剤を飲み込まないでください。
- ▶ 洗剤は決してその他の化学物質や酸と混合しないでください。
- ▶ ミルクコンテナには決して洗剤を使用しないでください。
- ▶ 飲料水タンク (内部/外部) には決して洗剤を使用しないでください。
- ▶ 洗剤およびカルキ抜きはそれぞれ指定の用途にのみ使用してください (ラベルを参照)。
- ▶ 洗剤使用中は飲食を行わないでください。
- ▶ 洗剤使用中はしっかりと換気が行われていることに注意してください。
- ▶ 洗剤使用中は保護手袋を着用してください。
- ▶ 洗剤使用後はすぐに丁寧に手を洗ってください。



洗剤使用前には、パッケージの情報に注意深く目を通してください。安全データシートが添付されていない場合、販売会社 (洗剤のパッケージを参照) にこれを請求することができます。

10.1.2 保管

必ず以下の項目を厳守してください。

- 子供や関係者以外の人物の手の届かない場所に保管してください。
- 低温で光が当たらず、湿度の低い場所に保管してください。
- 酸とは分けて保管してください。
- 購入したパッケージのまま保管してください。
- 洗剤は別々に保管してください。
- 食品や嗜好品とは分けて保管してください。
- 化学物質 (洗剤) の保管に関する現地の法規制が適用されます。

10.1.3 廃棄

利用が不可能な場合、洗剤とそのパッケージを現地の法規制に従って廃棄してください。

10.1.4 緊急連絡先

洗剤メーカー (洗剤のラベル参照) に緊急時の連絡先 (毒物に関する情報センター) の電話番号を尋ねます。国内にそのような機関がない場合、以下の標を参照してください:

スイス毒物情報センター

スイス国外からの電話	+41(0)44 251 51 51
スイス国内からの電話	145
インターネット	www.toxi.ch

10.2 衛生規則

10.2.1 水



注意



健康に影響を及ぼすおそれ! 水の不適切な取り扱いにより、健康に影響を及ぼすおそれがあります!

必ず以下の項目を厳守してください。

- ▶ 水には汚れや細菌がないことが必要です。
- ▶ マシンには浸透水もしくはその他の刺激的な水を接続しないでください。
- ▶ 炭酸塩硬度は4 ~ 6°dKH (ドイツ炭酸硬度) (ドイツ炭酸塩硬度) もしくは8 ~ 12°fKH (フランス炭酸硬度) を上回らないでください。
- ▶ また、総硬度は常に炭酸塩硬度を上回らなければなりません。
- ▶ 最小炭酸塩の硬度は4°dKH (ドイツ炭酸硬度) または8°fKH (フランス炭酸硬度) です。
- ▶ 1ℓ当たりの最大塩素は50 mg です。
- ▶ pH値は6.5 ~ 7の間でなければなりません (pH値中性)。

飲料水タンク (内部/外部) 付きマシン:

- ▶ 飲料水タンクには毎日新鮮な水を入れてください。
- ▶ 水を入れる前には、飲料水タンクを丁寧にすすぎます。



注意



健康に影響を及ぼすおそれ! コーヒーの不適切な取り扱いにより、健康に影響を及ぼすおそれがあります!

必ず以下の項目を厳守してください。

- ▶ パッケージを開く前に損傷がないか点検します。
- ▶ コーヒー豆は必ず1日に必要な量だけをマシンにセットします。
- ▶ コーヒー豆投入後はコーヒー豆ケースのカバーをすぐに閉めます。
- ▶ コーヒーは乾燥した低温で暗い場所に保管してください。
- ▶ コーヒーは洗剤とは分けて保管してください。
- ▶ 古い商品からまず消費します (「先に使うことで先になくなる」)。
- ▶ 開けられたパッケージは常にしっかりと閉め、中身が新鮮に保たれ、汚れが混入しないようにしてください。

10.2.2 ミルク

**注意**

健康に影響を及ぼすおそれ! ミルクの不適切な取り扱いにより、健康に影響を及ぼすおそれがあります!

必ず以下の項目を厳守してください。

- ▶ 生乳は使用しないでください。
- ▶ 低温殺菌されたもの、またはUHTミルクのみを使用してください。
- ▶ ホモミルクのみを使用してください。
- ▶ 事前に冷却された温度が 3~5°C のミルクを使用してください。
- ▶ ミルクを伴う作業では保護手袋を着用してください。
- ▶ ミルクは購入時のパッケージから直接使用してください。
- ▶ 絶対に後からミルクを補充しないでください。コンテナはミルクを充填する前に常に丁寧に洗浄してください。
- ▶ パッケージを開く前に損傷がないか点検します。
- ▶ ミルクは必ず 1 日に必要な量だけをマシンにセットします。
- ▶ ミルクを入れた後は、ミルクコンテナのカバーと冷却ユニット (内部/外部) をすぐに閉めます。
- ▶ ミルクは乾燥した、低温 (最大7°C) で暗い場所に保管してください。
- ▶ ミルクは洗剤とは分けて保管してください。
- ▶ 古い商品からまず消費します (「先に使うことで先になくなる」)。
- ▶ 賞味期限切れ前には消費してください。
- ▶ 開けられたパッケージは常にしっかりと閉め、ミルクが新鮮に保たれ、汚れが混入しないようにしてください。

10.2.3 マシン用パウダー

**注意**

健康に影響を及ぼすおそれ! マシン用パウダーの不適切な取り扱いにより、健康に影響を及ぼすおそれがあります!

必ず以下の項目を厳守してください。

- ▶ パッケージを開く前に損傷がないか点検します。
- ▶ マシン用パウダーは必ず 1 日に必要な量だけをマシンにセットします。
- ▶ パウダー補充後はパウダーホッパーの蓋をすぐに閉めてください。
- ▶ マシン用パウダーは乾燥した低温で暗い場所に保管してください。
- ▶ マシン用パウダーは洗剤とは分けて保管してください。
- ▶ 古い商品からまず消費します (「先に使うことで先になくなる」)。
- ▶ 賞味期限切れ前には消費してください。
- ▶ 開けられたパッケージは常にしっかりと閉め、中身が新鮮に保たれ、汚れが混入しないようにしてください。

10.2.4 シロップ フレーバー (Flavour Point)

**注意**

健康に影響を及ぼすおそれ! シロップの不適切な取り扱いにより、健康に影響を及ぼすおそれがあります。

必ず以下の項目を厳守してください。

- ▶ シロップは購入時のパッケージから直接使用してください。
- ▶ パッケージを開く前に損傷がないか点検します。
- ▶ シロップ補充後はFlavour Pointをすぐに閉めてください。
- ▶ シロップは乾燥した、低温で暗い場所に保管してください。
- ▶ シロップは洗剤とは分けて保管してください。
- ▶ 古い商品からまず消費します (「先に使うことで先になくなる」)。
- ▶ 賞味期限切れ前には消費してください。
- ▶ 開けられたパッケージは常にしっかりと閉め、ミルクが新鮮に保たれ、汚れが混入しないようにしてください。

11 保証

11.1 使用会社の義務

11.1.1 用途

オペレーターは、安全装置がSchaerer AGサービスパートナー、その代理人、またはその他の許可された担当者によって定期的にメンテナンスおよび検査されていることを確認する必要があります。重大な欠陥は、30日以内に書面でSchaerer AGに報告する必要があります!

隠れた欠陥の場合、この期間はインストール (作業レポート、ハンドオーバープロトコル) から12か月ですが、ツーフイル (Zuchwil) の工場を離れてから18か月以内です。安全バルブ、安全サーモスタット、ボイラーなどの安全関連部品は絶対に修理しないでください。安全関連のコンポーネントを交換する必要があります!

次のメンテナンス間隔が適用されます。

- 24か月後に安全バルブ 5 bar および 12 bar を交換してください。
- ボイラー (スチーム発生器、瞬間給湯器) を24か月ごとに点検してください。必要に応じて交換してください。ボイラーは48か月後に交換する必要があります。



これらの取扱説明書のメンテナンス間隔の詳細については、「サービスとメンテナンス」 - 「メンテナンスルーチン」を参照してください。の章参照。

11.2 保証および損害賠償請求

以下のいずれか、または複数の原因によって生じた人的および物的損傷における保証および損害賠償請求は、この対象外となります。

- 機器が適切に使用されなかった場合。
- 機器および付属のオプション機器の取付け、試運転、操作、クリーニングおよびメンテナンスが不適切な場合。
- メンテナンス間隔が守られなかった場合:
- 安全装置の故障、不適切な取付け、安全および保護装置が機能していない状態での機器の使用。
- 取扱説明書内のマシンの保管、取付け、試運転、使用およびメンテナンスについての安全に関する注意事項が守られなかった場合。
- 欠陥のない状態で機器が使用されなかった場合。
- 不適切な修理が行われた場合。
- シェーラー社製オリジナル交換パーツでないものが使用された場合。
- シェーラー社によって推奨されていない洗剤が使用された場合。
- 異物の混入、事故、破壊行為および大きな力が加わるなどの惨事。
- マシンに物を挿入したり、ハウジングが開かれた場合。

指定されたメンテナンスおよび整備インターバルが遵守され、当社または当社公認のサプライヤーから購入した純正交換部品が使用される場合のみに限り当社が保証し、適切な場合補償請求を受けるものとします。